

# 令和6年度第1回静岡市歯と口腔の健康づくり推進会議

日時：令和6年7月23日(火)19:15~20:45

場所：静岡市役所静岡庁舎新館3階 ちやきつと 茶木魚

## 次 第

### 1 開 会

### 2 報 告

### 3 議 題

- (1) 歯と口腔の健康づくり推進計画対象事業 R5実績報告、R6実施計画について
- (2) 令和7年度静岡市歯と口に関するアンケート調査について
- (3) その他

### 4 閉 会

#### 【資料一覧】

資料 1-1 静岡市歯と口腔の健康づくり推進計画 R5年度実績・R6年度計画（進行管理）

資料 1-2 静岡市歯と口腔の健康づくり推進計画（令和3~8年度）指標の進捗状況

資料 2-1 令和7年度 歯と口に関するアンケート調査について

資料 2-2 歯と口に関するアンケート調査項目（案）

参考資料 令和元年度 歯と口に関するアンケート調査報告書

## 静岡市歯と口腔の健康づくり推進会議委員名簿

任期 令和5年6月1日～令和7年5月31日

令和6年7月23日現在

	所属団体	職名	名前(敬称略) ◎:会長、○:副会長	出欠 (予定)	参加方法
1	国立保健医療科学院	客員研究員	あんどう ゆういち ◎ 安藤 雄一	○	リモート
2	静岡市静岡歯科医師会	会長	しみず としや ○ 清水 寿哉	○	会場
3	静岡県歯科衛生士会	理事	もちづき あやの 望月 彩乃	○	会場
4	静岡市静岡医師会	会長	すずき けんいちろう 鈴木 研一郎	○	会場
5	清水薬剤師会	副会長	もぎ よしみ 茂木 嘉	○	リモート
6	静岡市私立保育園長会	理事	ほりえ まゆみ 堀江 まゆみ	○	会場
7	静岡市校長会	校長	おだ やすこ 小田 泰子	○	リモート
8	静岡市障害者協会	会長	まきの よしひろ 牧野 善裕	○	リモート
9	清水介護保険事業者連絡会	運営委員	あおき ひろみ 青木 浩巳	×	
10	静岡市食生活改善推進協議会	会長	わたなべ りょうこ 渡邊 良子	○	リモート
11	静岡商工会議所	常務理事	まつうら たかゆき 松浦 高之	○	会場
12	全国健康保険協会 静岡支部	企画総務部長	こんどう こずえ 近藤 こずえ	○	リモート
13	市民		ちくくみこ 知久 久美子	○	リモート
14	市民		てらさき ゆりこ 寺崎 夕里子	○	リモート
15	市民		よねもち えみ 米持 恵美	○	リモート

オブザーバー	静岡市清水歯科医師会	会長	つちや なおゆき 土谷 尚之	×	
	静岡市清水医師会	理事	なるしま みちき 成島 道樹	×	
	静岡市薬剤師会	副会長	さかい みふみ 坂井 美文	○	リモート

# 静岡市歯と口腔の健康づくり推進計画

- 令和5年度実績・令和6年度計画(進行管理) -

令和6年7月現在

## 計画に登載の指標及び事業数(R5年度中間評価・中間見直し後)

基本方針	分野	指標数	事業数
1:乳幼児期から高齢期までの歯科疾患の特性に応じた取組	乳幼児期(0~5歳)	7	9
	学童期(6~12歳)	4	3
	思春期(13~19歳)	10	1※再掲
	成人期(20~64歳)	21	5
	高齢期(65歳以上)	15※うち8再掲	7※うち4再掲
2:障がい児・者、要介護者、妊産婦など特別な配慮が必要な人に対する取組	障がい児・者	7	9
	要介護者	2	3
	妊産婦	2	2
3:災害時における健康被害の予防及び歯科保健医療提供体制の整備	災害時における健康被害の予防	2	4※再掲
	災害時における歯科保健医療提供体制整備	1	2
4:持続可能な歯と口の健康づくりの推進のための環境整備・関係機関の連携強化	市民が学校や事業所等のあらゆる場面において歯と口の健康づくりを推進できる環境整備	7※うち3再掲	8※うち1再掲
	関係機関との連携強化	-	-
5:科学的根拠に基づいた歯科保健施策の展開		-	-
計	-	78	53

※再掲を除いた指標数は67,事業数は43

## 令和5年度の指標及び事業の評価基準

### <指標の評価基準>

評価区分	内容
改善(↑)	改善傾向にある(ベースライン値と比べ+3%以上)
維持(→)	変わらない(ベースライン値と比べ±3%未満)
悪化(↓)	計画策定時の目標値と比べ悪化した(ベースライン値と比べ-3%以下)

### <事業の評価基準>

評価区分	定量的な指標 (例:○回実施)	定性的な指標 (例:実施が継続されている)
S(期待を上回る)	105%以上	-
A(期待どおり)	90~105%未満	概ね目標を達成しており、取組が有効な場合
B(期待を下回る)	70~90%未満	目標の達成に向けて一層の努力が必要な場合
C(期待を大きく下回る)	70%未満	現在の取組では有効性に問題がある場合
-	評価困難	※災害や感染症等やむを得ない事情で影響があった事業

次ページ以降のグラフ線については次のとおりです。

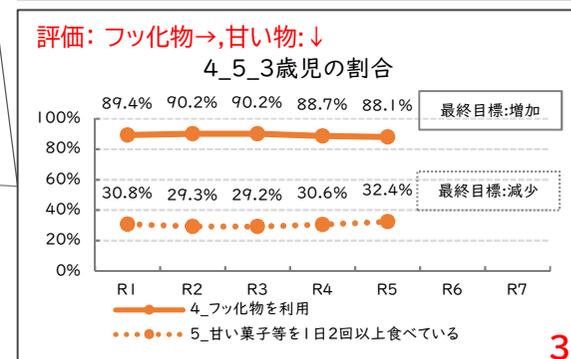
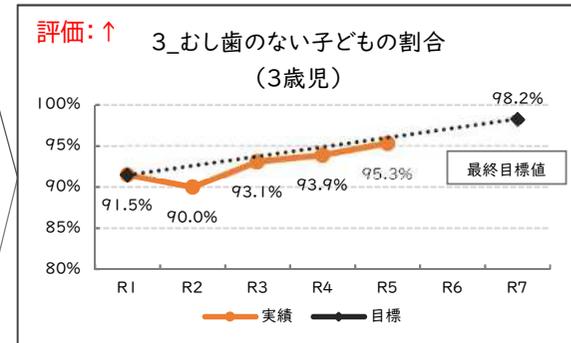
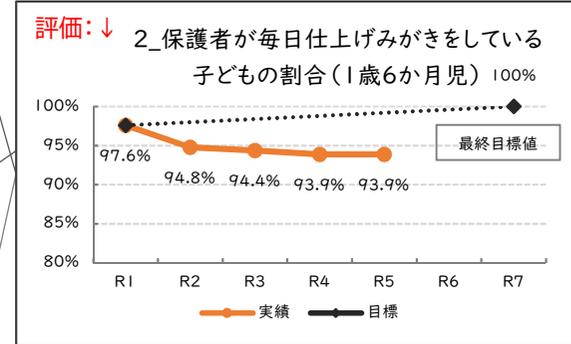
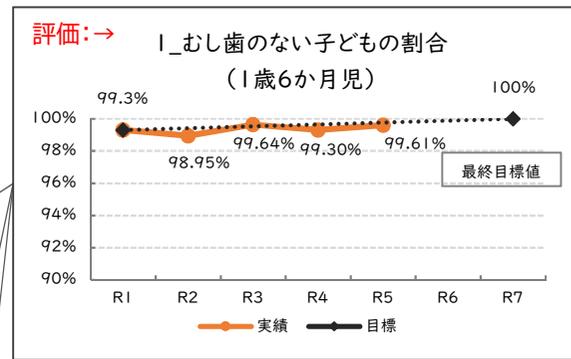
実線 = 最終目標が増加のもの

点線 = 最終目標が減少のもの

(1)乳幼児期(0～6歳) - ①

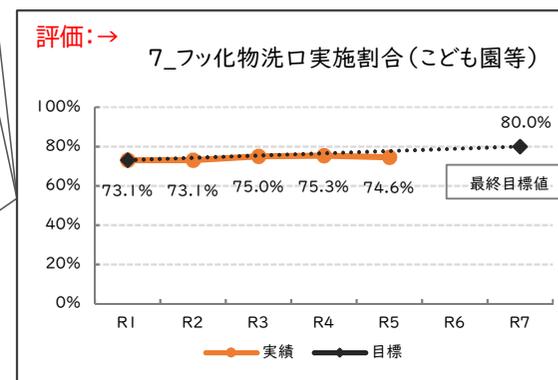
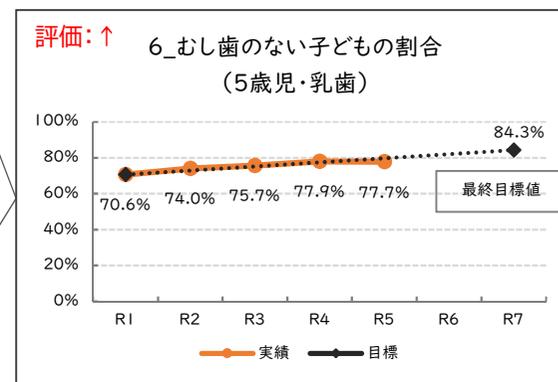
事業名 (担当課)	事業概要	令和5年度の実績 令和6年度の取組方針	R6年度実施計画 (評価指標)
1歳頃のむし歯予防事業 (健康づくり推進課)	歯と口に関する正しい知識を普及し、乳歯のむし歯予防の行動変容を促すこと等を目的に8か月～1歳2か月頃の親子を対象に教室を実施する。動画(オンデマンド型)を用いた情報発信を行う。	計画:年43回600人参加,動画配信1本⇒実績:年43回参加者515人,動画配信2本  広報紙やSNSを活用し、事業の周知をすることにより、教室の参加者及び動画の視聴回数の増加を図る。	教室 年50回、参加者600人  広報紙やSNSを活用した事業の周知  動画配信 2本以上
評価: A			
乳幼児むし歯予防教室 (健康づくり推進課)	心身の成長、発達が急速に進む乳幼児のむし歯を予防し、健康の保持・増進と健やかな成長の促進を図るため、未就学児に対し、歯科医師による歯科健診と歯科衛生士による歯科保健指導を実施する。	計画:年52回、参加者1,400組⇒実績:年52回、参加者1,047組※参加者数が期待を下回ったため、B評価。  教室参加をきっかけに、かかりつけ歯科医を持つ児が増えるよう取り組む。参加者数が減少傾向にあるため、関係団体と教室の方向性を協議する。	年50回開催  参加者数 1,350組
評価: B			
あそび・子育ておしゃべりサロン (子ども未来課)	認定こども園・保育園に歯科衛生士を派遣し、未就園児(0～2歳)と保護者を対象に歯科保健講座を実施する。	計画:44園500人以上⇒実績:公立こども園33園、参加者379人※実施希望のない園があり、期待を下回った。開催した園については、歯科保健に関する正しい知識提供をすることができた。未実施園に働きかけを行い、地域の身近な場所(こども園)において、子育て中の親が気軽に相談でき、歯科保健に対する正しい知識を得ることができる機会を提供する。	公立こども園44園及び多くの私立こども園・保育園で実施。参加者数(公立こども園)500人以上※子育て支援センター事業による公立こども園(子育て支援センター)への派遣も含む。
評価: B			
1歳6か月児・3歳児健康診査・歯科相談 (健康づくり推進課)	母子保健法に基づく歯科健康診査及び歯科保健指導を実施する。	計画:必要な児に対する指導(相談)の実施⇒実績:1歳6か月792人、3歳366人  保健師、栄養士等と連携を図りながら引き続き実施する。必要に応じて、来所や電話によるフォローを実施する。	必要な児に対する指導(相談)の実施 来所や電話による個別フォロー
評価: A			

※その他、子育てサロン・子育てトークからの依頼により未就園児と保護者を対象に「所外育児教室(健康づくり推進課)」を実施。計画:依頼により実施⇒実績18回142人でA評価。令和6年度計画:依頼により実施



(1)乳幼児期(0~6歳) - ②

事業名 (担当課)	事業概要	令和5年度の実績 令和6年度の取組方針	R6年度実施計画 (評価指標)
歯みがき巡回指導 (健康づくり推進課)  評価: A	幼児期における歯科保健の正しい知識を普及し、幼児の健康の保持・増進を図るため、希望するこども園・保育園・幼稚園の4,5歳児に対し、巡回指導を行う。	計画:希望する全園に実施(実施率90%以上)⇒実績:希望園165園の全園に実施。 (181園中、希望園165園へ実施のため実施率91.1%)  希望する全園に実施し、園児や保育者、保護者に向けて歯科保健に対する正しい知識を普及啓発していく。	希望園に対し、全園実施  実施率90%以上  フッ化物洗口の正しい知識を普及
集団フッ化物洗口法によるむし歯予防事業 (健康づくり推進課)  評価: A	永久歯の歯質強化とむし歯の半減を目指した歯の健康づくりを推進する。「歯みがき巡回指導」等を通じ、施設に対して集団フッ化物洗口法に関する正しい知識を普及し、実施拡大に向けて取り組む。	計画:希望園に対し、全園実施。未実施園に向けた推進⇒実績:135園、5,234人に実施。未実施園に向けた推進。フッ化物洗口の正しい知識を普及。  希望する全園に実施し、関係課・関係団体とフッ化物洗口の実施拡大に向けた検討を行う。	希望園に対し、全園実施  未実施園に向けた推進  フッ化物洗口の正しい知識を普及
子どもの歯と口の健康づくり研修会 (健康づくり推進課)  評価: B	こども園等の保育教諭等を対象に、むし歯予防や食べる機能についてなど、歯科保健の正しい知識を普及することを目的にオンデマンド配信等による情報発信を行う。	計画:こども園等に受講者を募りオンデマンド配信⇒実績:オンデマンドによる動画配信4本。①乳幼児期のむし歯予防や食生活、②乳幼児期の歯列・口腔機能の発達、③障害者歯科保健センターの紹介、④歯みがきのポイント・フッ化物洗口、参加者 31園80人 ※オンデマンド配信は初であったため、受講者を募り実施したが、希望園は全体の2割弱であったため、B評価。  令和5年度に配信した動画をすべての園に閲覧してもらうよう全園に配信及び資料提供を行う。	オンデマンドにより歯と口の健康に関する啓発動画を全園に配信  閲覧回数190回以上

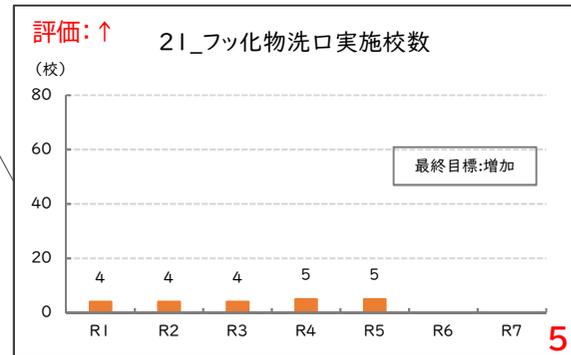
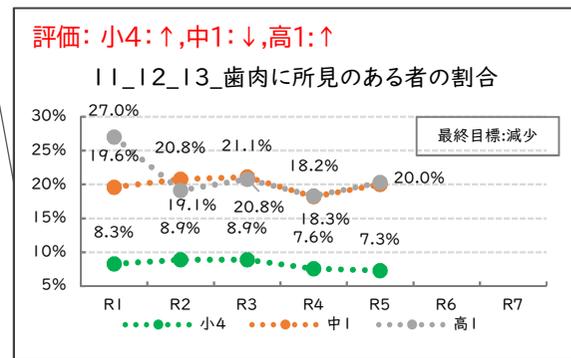
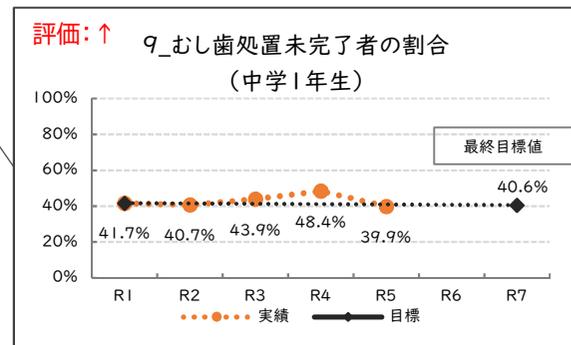
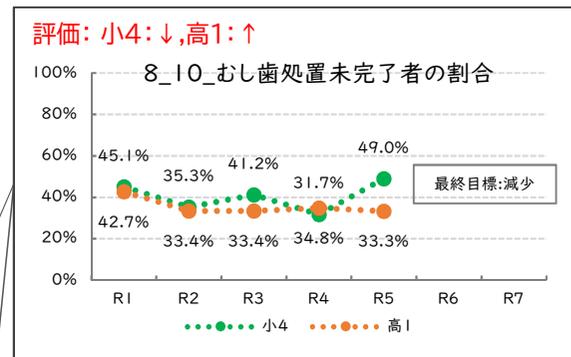


基本方針1

乳幼児期から高齢期までの歯科疾患の特性に応じた取組

(2)学童期(7~12歳)・(3)思春期(13~19歳) - ①

事業名 (担当課)	事業概要	令和5年度の実績 令和6年度の取組方針	R6年度実施計画 (評価指標)
学童向け「歯」の教室 (健康づくり推進課)	永久歯が萌出開始し、永久歯列が完成していく大切な時期に、歯科疾患の予防の必要性及び歯科保健に対する正しい知識を普及することを目的とした体験型教室を開催する。	計画:年2回実施、参加者30人⇒実績:「こどもクリエイティブタウンま・あ・る」にて年2回実施(歯科衛生士体験1回32人、歯科医師体験1回20人)	年2回実施 参加者85人
評価: A		体験型の内容を引き続き実施し、参加者の意識と知識の向上を目指す。	
集団フッ化物洗口法によるむし歯予防事業 (健康づくり推進課)	永久歯の歯質強化とむし歯の半減を目指した歯の健康づくりを推進していく。施設に対して集団フッ化物洗口法に関する正しい知識を普及し、実施拡大に向けて取り組む。	計画:葵区・駿河区 4校実施、清水区 2校実施⇒実績:葵区・駿河区 3校実施、清水区 2校の実施。※予定を下回ったため、B評価。実施校の増加に向けて更なる働きかけが必要。	葵区・駿河区 3校実施 清水区 2校実施
評価: B		養護教諭等と連携を図りながら、実施方法等を検討していく。	

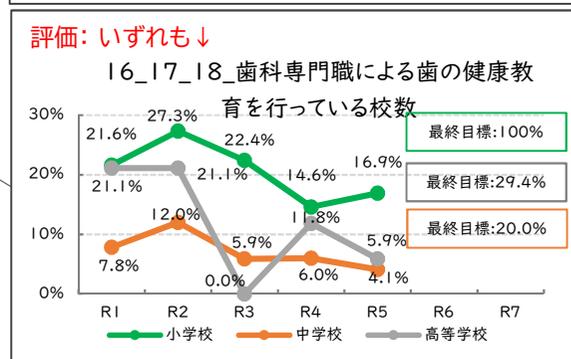
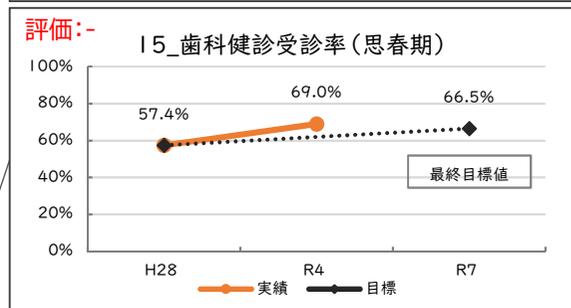
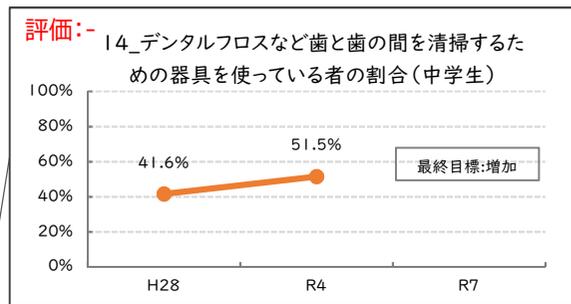


基本方針1

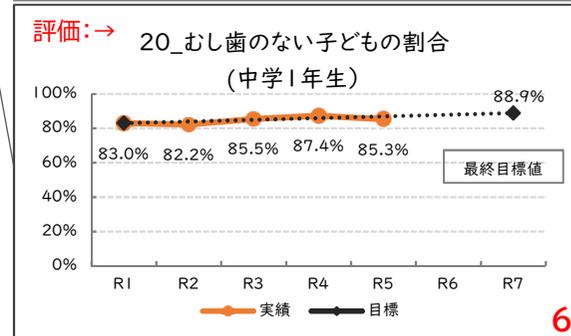
乳幼児期から高齢期までの歯科疾患の特性に応じた取組

(2)学童期(7~12歳)・(3)思春期(13~19歳) - ②

事業名 (担当課)	事業概要	令和6年度取組方針	R6年度実施計画 (評価指標)
<p>【新規】</p> <p>学童期・思春期の歯科口腔保健支援事業 (健康づくり推進課)</p>	<p>小中高校生の歯科口腔保健の推進を図るために児童や生徒、その保護者に情報提供を行うほか、関連する職種を対象とした研修会を行う。</p>	<p>学校関係者向け歯と口の健康に関する啓発動画等を作成することで、学童期・思春期の歯科保健に関する正しい知識を普及啓発していく。</p>	<p>学校関係者向け啓発動画の作成</p> <p>学校関係者が活用できる媒体の作成、公開</p> <p>学校歯科医向け研修会の実施1回</p> <p>全校に案内送付</p>



【指標19】※最終評価まで調査実施なし  
フッ化物を利用している中学生・高校生の割合 69.4%(R1)→増加(R7)



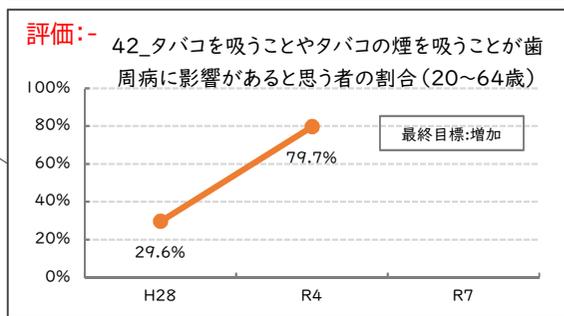
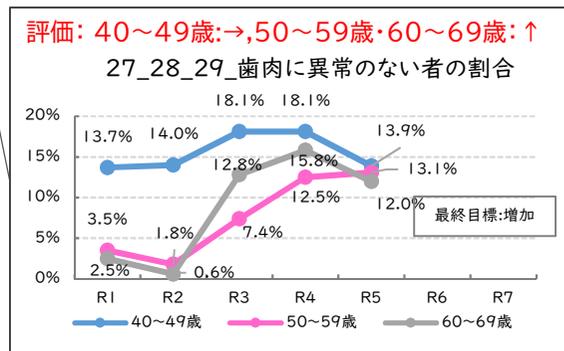
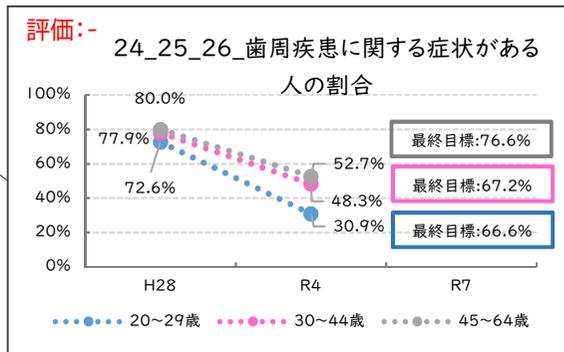
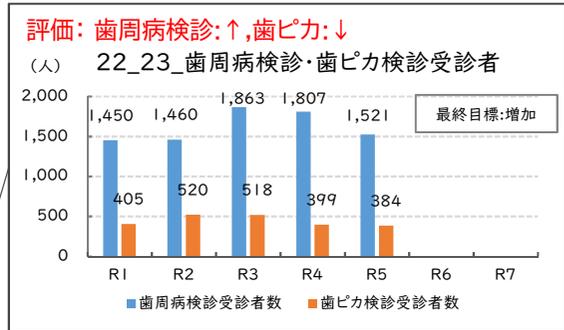
基本方針1

乳幼児期から高齢期までの歯科疾患の特性に応じた取組

(4)成人期(20~64歳) - ①

事業名 (担当課)	事業概要	令和5年度の実績 令和6年度の取組方針	R6年度実施計画 (評価指標)
歯周病検診 ☆トリプル健診(集団) 含む (健康づくり推進課)	健康増進法に基づき実施する歯科健診。国では、40、50、60、70歳の節目年齢での実施を推奨しているが、本市では40歳以上の職場で健診機会のない者と対象を広げている。初年度にあたる40歳全員と特定健康診査、市の大腸がん検診の両方を受診した希望者には無料受診券を送付。また、医師会等が実施するサンデーレディース健診※の場で集団歯周病検診(トリプル健診)を実施。今後、国の方針に合わせ、20歳、30歳に対象を拡大予定。	計画:①40歳受診券送付7,800枚、②特定健診×大腸がん検診受診者への受診券送付6,000枚、③サンデーレディース健診の場で歯周病検診3回実施、④受診者数:前年度比増(歯周病検診1,807人、うち40歳399人、特定×大腸714人) ⇒実績:①7,873枚 384名受診、②9,395枚 489名受診、③3回 90名受診、④歯周病検診 1,521名受診 ※受診者数が期待を下回ったため、B評価。	①受診券送付枚数 40歳:7,600枚 特定×大腸:100枚 ②3回実施 ③周知啓発の実施 ④受診者数前年度比増
禁煙支援事業 (健康づくり推進課)	たばこの有害成分が歯周組織を著しく破壊し、歯周病を急速に悪化させるリスク因子であることがわかってきていることから、たばこをやめたい人がやめられるように、禁煙治療を終了した方に対して治療費の補助事業を実施する。また、禁煙終了者に対するアンケート調査を行い、体験談による啓発を行う。	計画:補助事業の実施、リーフレットの配布4,000枚、申請件数50件⇒実績:リーフレットの配布:2,000枚 申請件数:46件(交付対象:25件)※申請件数定員50名に対し、申請46件で前年比25件増であったため、A評価。	補助事業の実施 リーフレットの配布 3,100枚 申請件数 50件

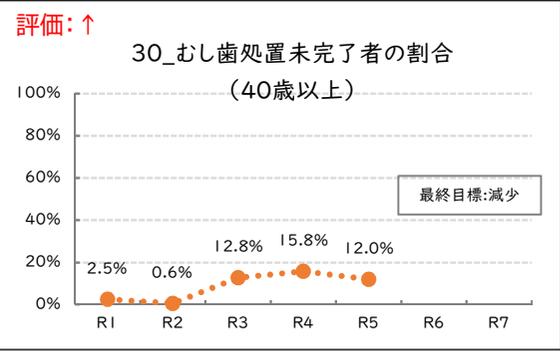
※女性特有のがん予防を目的に、特定健診とがん検診(子宮頸がん・乳がん)を日曜日に受けられる健診。



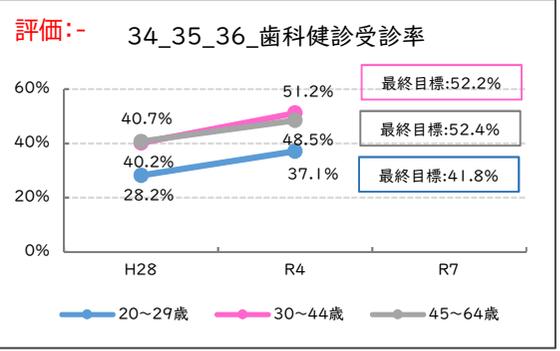
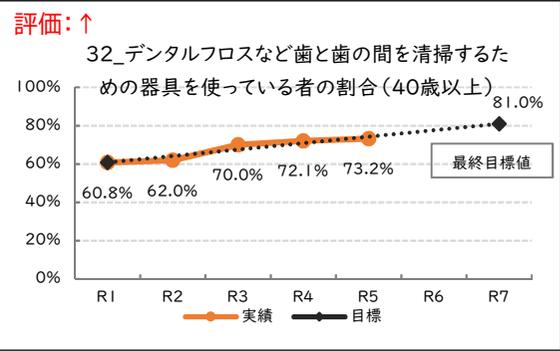
(4)成人期(20~64歳) - ②

事業名 (担当課)	事業概要	令和5年度の実績 令和6年度の取組方針	R6年度実施計画 (評価指標)
【新規】 歯科健診受診勧奨 (健康づくり推進課)	特定健康診査の間診票で「噛めない」と回答しているものの、歯科医院を受診されていない者に対し、歯科健診の受診勧奨を行う。	特定健康診査の間診票で「歯や歯ぐき、かみあわせなど気になる部分があり、かみにくいことがある」「ほとんどかめない」と回答しているが、歯科受診のレセプト情報がない方に歯科受診勧奨通知を送付し、歯科受診につなげる。	勧奨通知の送付約1,200人
歯と口の健康に関する普及啓発事業 (健康づくり推進課)	6月4日~10日の歯と口の健康週間や11月8日のいい歯の日に合わせ啓発展示や広報紙への掲載、SNSを活用した情報発信等を行う。	計画:庁舎での展示 2か所、関連機関のイベント 2回、若年層(主に20歳代・30歳代)を対象に歯科受診の重要性について理解を進めるための動画制作 1本 →実績:庁舎での展示2か所、関連機関のイベント2回、若年層対象とした歯科受診を促すための動画制作・配信1本  庁内フロアスペースでの展示、庁内放送、のぼり旗、横断幕掲揚等を行い、市民の目に止まるような啓発を行う。関連団体により、市民参加型のイベントを実施する。また、若年層(特に20歳代・30歳代)を対象に歯科受診の重要性について理解を進めるための動画を制作、同動画をSNS(LINE,X(旧Twitter))を活用して、啓発を実施する。	庁舎での展示 2か所 関連機関のイベント 2回 啓発動画制作1本

評価: A



【指標31】※最終評価まで調査実施なし  
フッ化物を利用している40歳以上の割合 37.8%(R1)→増加(R7)



【指標37】※最終評価まで調査実施なし  
かかりつけ歯科医を持っている40~64歳の割合 76.0%(R1)→90.7%(R7)

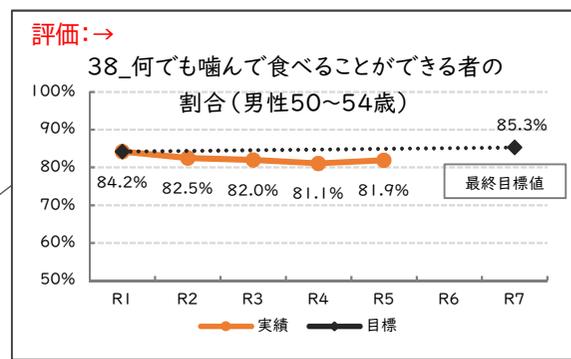
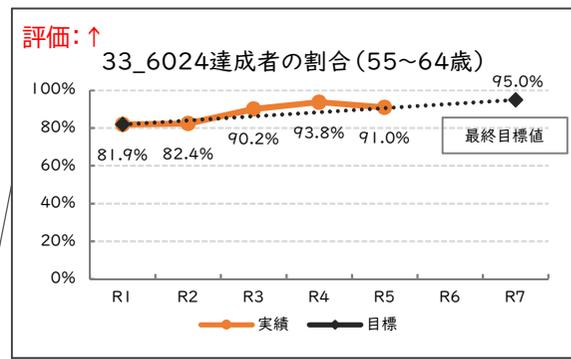
基本方針 1

乳幼児期から高齢期までの歯科疾患の特性に応じた取組

(4)成人期(20~64歳) - ③

事業名 (担当課)	事業概要	令和5年度の実績 令和6年度の取組方針	R6年度実施計画 (評価指標)
オーラルフレイル普及啓発事業 (健康づくり推進課)	市民がオーラルフレイルについて正しく理解できるよう啓発リーフレットの作成・配布や講演会等を実施する。	<p>計画:リーフレット作成・配布4,000枚、講演会1回開催 ⇒実績:むせをテーマとしたリーフレットの作成、配布:6,000枚、市民向け講演会1回開催</p> <p>40代、50代を対象としたリーフレットを作成し、歯科医師会や医師会等の関係団体や市民に広く周知するとともに、市民を対象とした講演会を行う。</p>	<p>リーフレット作成・配布 4,000枚</p> <p>講演会 1回開催</p>

評価: A



【指標39】※最終評価まで調査実施なし  
オーラルフレイルを知っている40歳以上の割合 11.5%(R1)→25.0%(R7)

【指標40】※最終評価まで調査実施なし  
歯っぴー☆スマイル体操を知っている40歳以上の割合 37.9%(R1)→増加(R7)

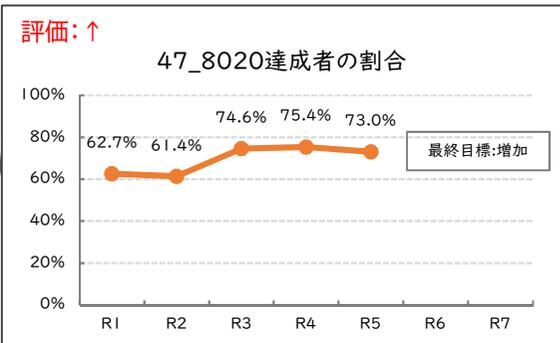
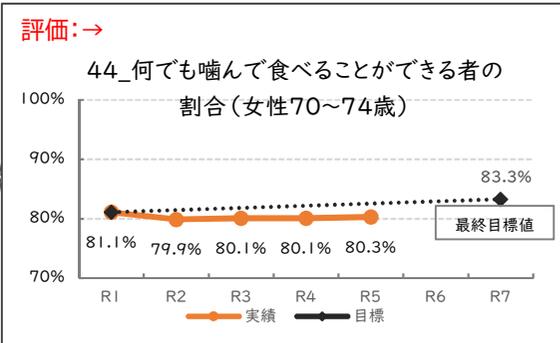
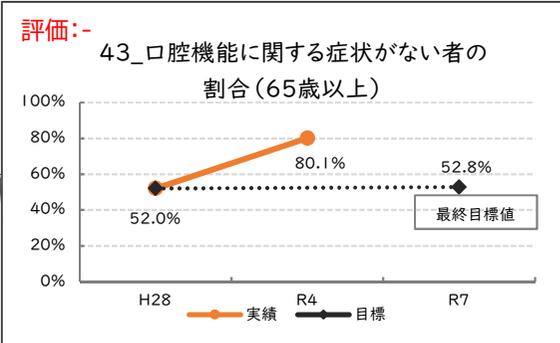
【指標41】※最終評価まで調査実施なし  
8020運動を知っている40歳以上の割合 51.4%(R1)→増加(R7)

基本方針1

乳幼児期から高齢期までの歯科疾患の特性に応じた取組

(5) 高齢期(65歳以上) - ①

事業名 (担当課)	事業概要	令和5年度の実績 令和6年度の方針	R6年度実施計画 (評価指標)
歯つらつ健口講座 (健康づくり推進課)  評価: A	高齢者の集う地域などにおいて、口腔機能の向上について講話と体操の紹介を行い、参加者がより身近な視点で理解し、日常生活や地域の活動の中で実践出来るよう支援する。	計画: 20回開催⇒実績: 22回実施 591人※希望数が増えたため、調整し対応  実施回数を25回に増やし、これまで希望のなかった地域にも働きかけ、オーラルフレイル予防等の重要性を広く啓発していく。	25回実施
オーラルフレイル普及啓発事業 (健康づくり推進課)  ※再掲  評価: A	市民がオーラルフレイルについて正しく理解できるように啓発リーフレットの作成・配布や講演会等を実施する。	計画: リーフレット作成・配布4,000枚、講演会1回開催 ⇒実績: むせをテーマとしたリーフレットの作成、配布: 6,000枚、市民向け講演会1回開催  40,50代対象のリーフレットを作成し、歯科医師会や医師会、保険者等の関係団体を通じて市民に広く周知するとともに、講演会を開催する。	リーフレット作成・配布 4,000枚  講演会 1回開催
口腔機能向上事業 (健康づくり推進課)  評価: C	オーラルフレイル(口の機能低下)が見られる方に対し、個々に合わせた改善プログラムを作成、支援することで、口の機能を改善・維持し、その先にあるフレイルや要介護状態となることを予防し、活動的で生きがいのある生活を送れるよう支援する。	計画: 依頼により実施 ⇒実績: 依頼がなかったため、実施なし※更なる事業周知が必要のため、C評価。  地域包括支援センターから対象者の紹介により実施する。地域包括支援センターにお口の機能の維持向上の重要性啓発リーフレットとあわせ事業紹介チラシを配付し、事業周知を行う。	事業の周知  依頼により実施
高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施 (健康づくり推進課)  評価: -  ※令和3年度開始。計画登載はR6年度より	高齢者に対する個別支援(ハイリスクアプローチ)と通いの場等への積極的関与(ポピュレーションアプローチ)を実施することで、フレイルのおそれがある高齢者を包括的に支援する。	KDBを活用したデータ分析により地域の健康課題を明確にし、事業を実施。通いの場等の健康教育を歯科分5会場以上に拡大して実施。	【ハイリスクアプローチ】対象者への個別支援指導率80%以上 【ポピュレーションアプローチ】通いの場等健康教育への関与5会場以上実施



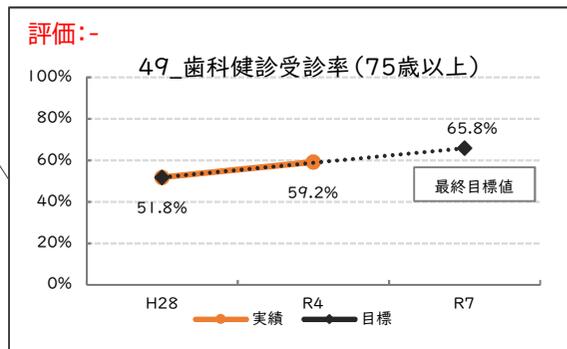
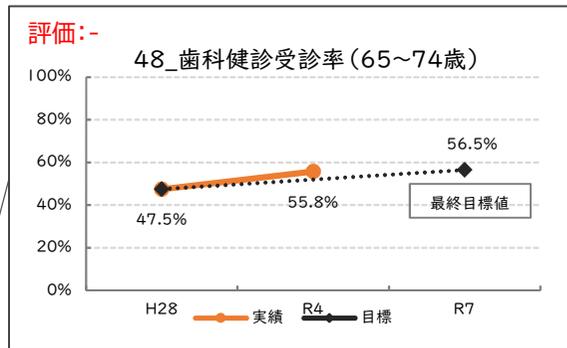
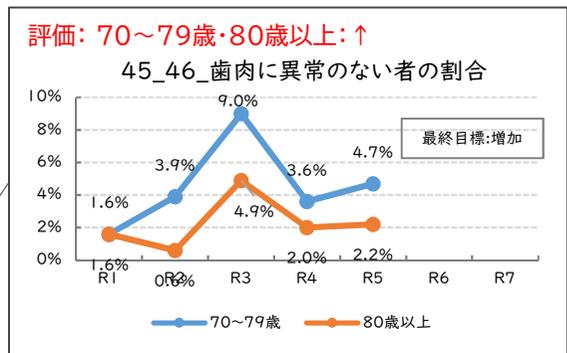
(5) 高齢期(65歳以上) - ②

事業名 (担当課)	事業概要	令和5年度の実績 令和6年度の取組方針	R6年度実施計画 (評価指標)
歯周病検診 ☆トリプル健診(集団) 含む (健康づくり推進課)  ※再掲  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">評価: B</div>	健康増進法に基づき実施する歯科健診。国では、40、50、60、70歳の節目年齢での実施を推奨しているが、本市では40歳以上の職場で健診機会のない者と対象を広げている。初年度にあたる40歳全員と特定健康診査、市の大腸がん検診の両方を受診した希望者には無料受診券を送付。また、医師会等が実施するサンデーレディース健診※1の場で集団歯周病検診(トリプル健診)を実施。今後、国の方針に合わせ、20歳、30歳に対象を拡大予定。	計画:①特定健診×大腸がん検診受診者への受診券送付6,000枚、②サンデーレディース健診の場で歯周病検診3回実施、③受診者数:前年度比増(歯周病検診1,807人、うち特定×大腸714人) ⇒実績:①9,395枚 489名受診、②3回 90名受診、③歯周病検診 1,521名受診 ※受診者数が期待を下回ったため、B評価。	①受診券送付枚数 特定×大腸:100枚 ②3回実施 ③周知啓発の実施 ④受診者数前年度比増

※女性特有のがん予防を目的に、特定健診とがん検診(子宮頸がん・乳がん)を日曜日に受けられる健診。

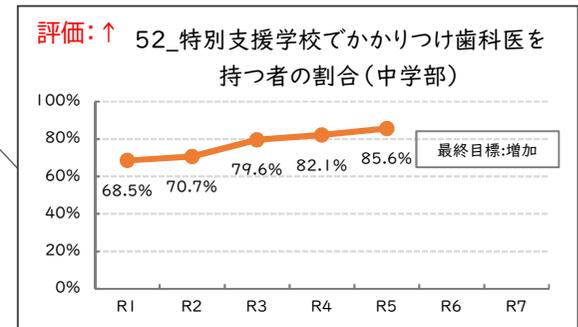
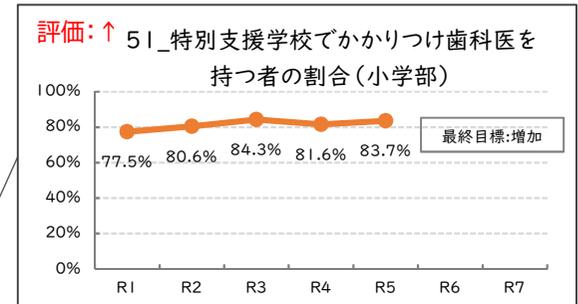
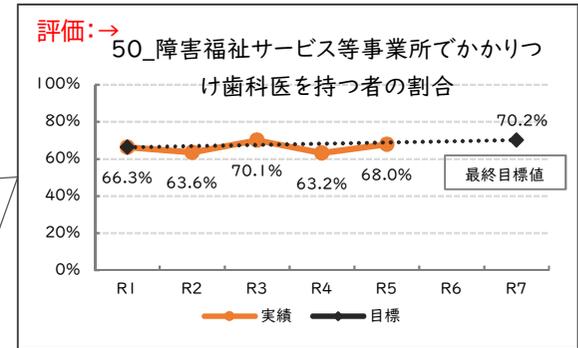
歯と口の健康に関する普及啓発事業 (健康づくり推進課)  ※再掲  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">評価: A</div>	6月4日~10日の歯と口の健康週間や11月8日のいい歯の日に合わせ啓発展示や広報紙への掲載、SNSを活用した情報発信等を行う。	計画:庁舎での展示 2か所、関連機関のイベント 2回、 ⇒実績:庁舎での展示2か所、関連機関のイベント2回 庁内フロアスペースでの展示、庁内放送、のぼり旗、横断幕掲揚等を行い、市民の目に止まるような啓発を行う。関連団体により、市民参加型のイベントを実施する。	庁舎での展示 2か所  関連機関のイベント 2回
--	---	---	--------------------------------

※その他、「歯科相談(健康づくり推進課)」を実施。計画:依頼により実施⇒実績 乳幼児5件,学童・思春期2件,成人数38件,高齢期16件でA評価。令和6年度計画:依頼により実施

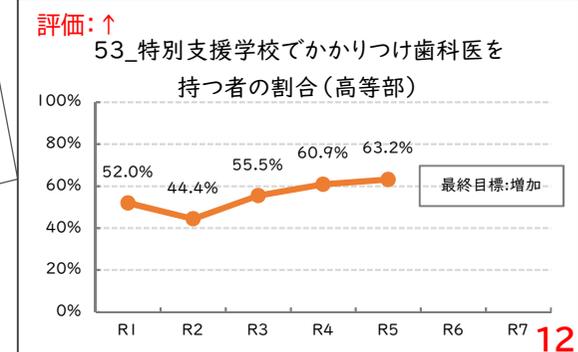


(1)障がい児・者 - ①

事業名 (担当課)	事業概要	令和5年度の実績 令和6年度の方針	R6年度実施計画 (評価指標)
障害福祉サービス等事業所歯科健診 (健康づくり推進課)	かかりつけ歯科医を持つことの啓発として、通所の障害福祉サービス等事業所利用者を対象に歯科健診を実施する。	計画:79か所実施⇒実績:76か所実施 歯科健診後の受診勧奨を利用者と家族に行うとともに、事業所職員とも連携し、かかりつけ歯科医をもつことの重要性について啓発を行う。	障害福祉サービス等事業所 51か所
障害福祉サービス等事業所歯科保健活動 (健康づくり推進課)	かかりつけ歯科医を持つもつことの啓発として、通所の障害福祉サービス等事業所利用者を対象に歯みがき支援等の歯科保健活動を実施する。	計画:55か所実施⇒実績:52か所実施 歯科保健活動において利用者に支援を行うとともに、事業所職員とも連携し、かかりつけ歯科医をもつことの重要性について啓発を行う。	障害福祉サービス等事業所 38か所
障害者歯科保健センター職員派遣等 (健康づくり推進課)	障がいのある人の歯と口の健康を向上することを目的に、障害者歯科保健センターの職員を派遣し、障がいのある人の保護者や支援者に対する講話や、特別支援学校の児童生徒に歯みがき支援等の歯科保健活動を実施する。	計画:保護者、支援者への講話13回、特別支援学校等への歯科保健活動23回⇒実績:講話14回、歯科保健活動25回  特別支援学校等へ職員を派遣し、児童生徒、保護者、支援者等にかかりつけ歯科医をもつことの重要性の啓発を行う。	希望のあった特別支援学校等の保護者、支援者への講話 12回  希望のあった特別支援学校等への歯科保健活動 24回
学童期(思春期)歯科保健活動 (健康づくり推進課)	かかりつけ歯科医を持つことの啓発として、放課後等デイサービス利用者を対象に歯みがき支援等の歯科保健活動を実施する。	計画:41か所実施⇒実績:36か所実施 利用者に歯科保健支援を行うとともに、事業所職員とも連携し、かかりつけ歯科医をもつことの重要性の啓発を行う。	放課後等デイサービス事業所 24か所
普及啓発事業 (健康づくり推進課)	障がいのある人者や支援者に対して通信を配布し、歯科保健に関する情報提供を行う。	計画:通信配布105か所、登録医一覧表配布・センター案内リーフレット配布594か所⇒実績:通信117か所、登録医一覧表・案内リーフレット配布:630か所 通信はライフステージに合わせた内容で作成する。登録医一覧表等は障害福祉企画課と連携しメールにて送付する。	通信配布 105か所 登録医一覧表配布 630か所 センター案内リーフレット配布 630か所



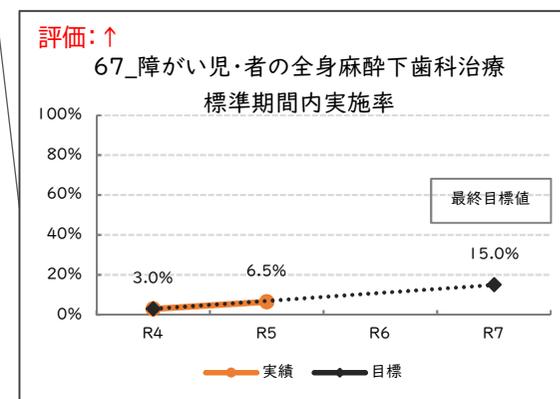
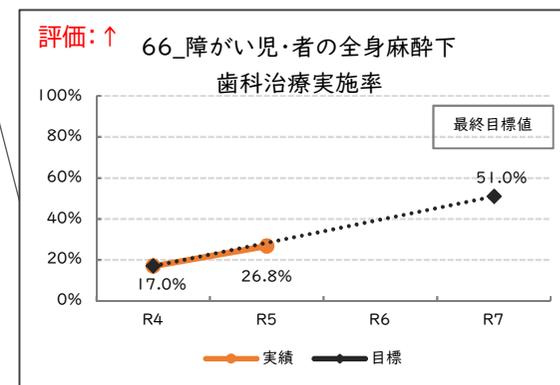
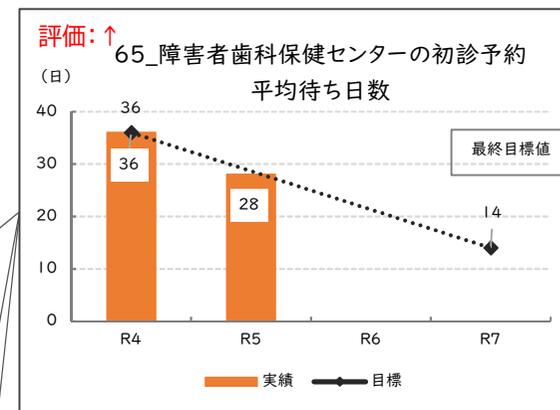
(再掲)【指標15】歯科健診受診率(思春期)



(1)障がい児・者 - ②

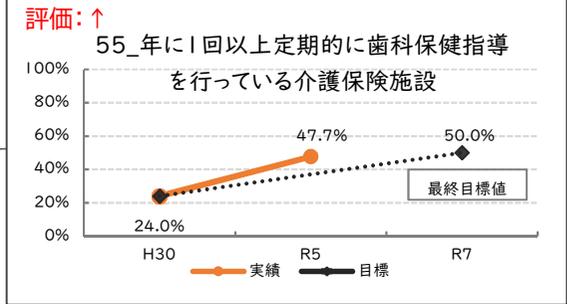
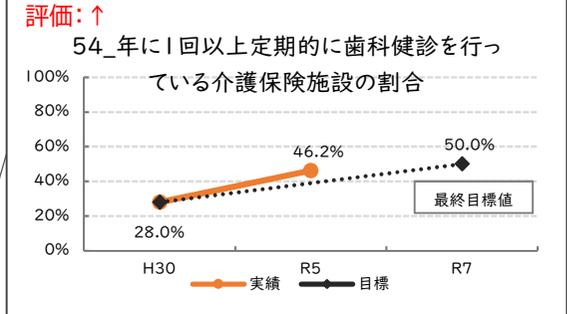
事業名 (担当課)	事業概要	令和5年度の実績 令和6年度の取組方針	R6年度実施計画 (評価指標)
歯科診療事業 (健康づくり推進課)	障がい者歯科保健センターにおいて一般の歯科医院では、治療が困難な人の歯科治療及び全身麻酔下での歯科治療を実施。その他、食環境支援として、小児の摂食外来、障害福祉サービス等事業所に対しての摂食相談や食環境支援を行う。	計画:①初診予約待ち30日、②全身麻酔実施回数30回、③摂食外来35人、④事業所摂食相談7回⇒実績:①28日、②33回、③41人、④8回 ※①初診予約日を設定し待ち日数を短縮、②全身麻酔の協力病院数を増やしたことにより回数が増加、③④は予定を上回り実施した。	初診予約平均待ち日数 21日  障がい児・者の全身麻酔下歯科治療実施率 32%  障がい児・者の全身麻酔下歯科治療標準期間内実施率 10%
研修事業 (健康づくり推進課)	障がいのある人に関わる支援者への研修会の開催し、障がいのある人の歯科保健の重要性を啓発していく。 ・障がい者歯科臨床研修会(登録医研修会) ・保健活動従事歯科衛生士向け研修会 ・事業所職員向け研修会	計画:4回開催⇒実績:4回開催  障がいのある人が住み慣れた地域でかかりつけ歯科医をもつことができる環境整備として、より実践的な登録医研修会を開催する。	開催回数 4回
地域連携推進事業 (健康づくり推進課)	障がいのある人者を支える関係者(歯科医療、医療、教育、福祉、行政、家族等)が障がいのある人の歯科保健を推進するための協議を行い、連携を図る会議を開催。歯科医師会との連携により登録医の増加を目指す。	計画:障がい者歯科保健推進会議 2回、登録医数 235人⇒実績:障がい者歯科保健推進会議 2回、登録医数 234人  歯と口腔の健康づくり推進会議と連携し開催する。登録医制度の見直しを図る。	障がい者歯科保健推進会議 2回  登録医要綱改定の素案作成

※その他、電話等で歯と口に関する相談に対応する「歯と口の相談事業(健康づくり推進課)」を実施。  
計画:相談の実施⇒実績 相談の実施55件でA評価。令和6年度計画:相談の実施

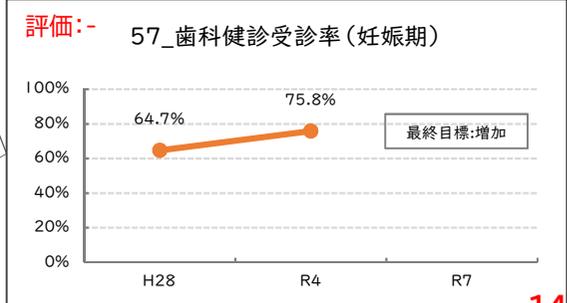
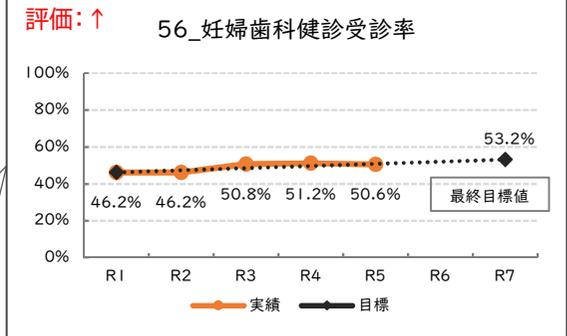


(2)要介護者

事業名 (担当課)	事業概要	令和5年度の実績 令和6年度の取組方針	R6年度実施計画 (評価指標)
訪問歯科診療支援事業 (健康づくり推進課)  評価: A	歯科医院への通院が困難な要介護高齢者等が、在宅において必要な歯科診療を受けられるよう支援する。	計画: 回覧板、市HP等による事業周知実施、往診の実施 ⇒実績: 回覧板、市HP等による事業周知実施、往診実人数: 148人 回覧板や市HP等の媒体を活用して、市民や介護関連職種に対し、事業の周知を行う。	回覧板や市HP等による事業周知実施  訪問歯科診療の実施
高齢者施設訪問歯科健診事業 (健康づくり推進課)  評価: A	介護施設に入所する要介護高齢者を対象とした歯科健診事業を行う。施設職員向け研修会もあわせて実施する。	計画: ①歯科健診施設3か所、②職員向け研修会施設3か所 ⇒実績: ①3か所、②3か所 各施設の状況や要望に応じて、歯科健診、職員向け研修会を行い、施設入所者の口腔衛生の保持増進を図る。	歯科健診施設3か所  職員向け研修会施設3か所
訪問口腔衛生指導 (健康づくり推進課)  評価: A	介護が必要な高齢者等の家庭へ歯科衛生士が訪問し、口腔ケア等の必要な指導・助言を行う。	計画: 口腔ケア方法等の実施 ⇒実績: 口腔ケア方法等の実施99回158人  希望する本人及び家族に対し、口腔ケア方法等の指導を行う。	口腔ケア方法等の指導の実施



(再掲)【指標43】口腔機能に関する症状がない人の割合



(3)妊産婦

事業名 (担当課)	事業概要	令和5年度の実績 令和6年度の取組方針	R6年度実施計画 (評価指標)
妊婦歯科健診 (子ども家庭課)  評価: A	ホルモンバランスの変化やつわりなどによる食生活の乱れ等により、口腔内状況の悪化しやすい時期に、歯科医師による健診及び適切な歯科保健指導の機会を提供する。	計画: 歯周病のリスク周知、受診率の向上 52.6% ⇒実績: 受診者数 1,841人 受診率 50.6%  更なる受診率向上のために、母子健康手帳交付時の啓発を効果的に行う。	歯周病のリスク周知 (母子健康手帳交付時)  受診率の向上 受診率 51.2%
オンデマンド型マタニティ教室(歯科)(健康づくり推進課)  評価: A	妊婦と生まれてくる子どもの歯の健康の保持増進を図ることを目的に情報のオンデマンド配信を行う。	計画: ①オンデマンド型教室3回実施 ②来所型教室10回実施 ⇒実績: ①3回実施 ②10回実施  Zoomによる動画配信をすることにより対象者への利便性を高める。	オンデマンド型教室3回実施

(1)災害時における健康被害の予防

事業名 (担当課)	事業概要	令和5年度の実績 令和6年度の取組方針	R6年度実施計画 (評価指標)
歯つらつ健口講座 (健康づくり推進課) ※再掲 評価: A	高齢者の集う地域などにおいて、口腔機能の向上の重要性の講話をする際に災害時の口腔ケアや非常持ち出し袋に歯ブラシ等を入れておくことの重要性を啓発する。	計画:20回実施⇒実績:22回実施、591人 災害時に用意しておきたい口腔ケアグッズや水が不足している時の口腔ケア方法の資料を配布する。	25回実施
障害福祉サービス等事業所歯科保健活動 (健康づくり推進課) ※再掲 評価: A	かかりつけ歯科医を持つもつことの啓発として、通所の障害福祉サービス等事業所利用者を対象に歯みがき支援等の歯科保健活動を実施する。災害時の口腔ケアや非常持ち出し袋に歯ブラシ等を入れておくことの重要性について啓発する。	計画:55か所に配布⇒実績:52か所に配布 災害時における健康被害の予防に関する知識の普及啓発として、障害福祉サービス等事業所利用者を対象に情報紙を配布する。	配布事業所38か所

【指標58】※最終評価まで調査実施なし  
災害時の非常持ち出し袋の中にハブラシや液体歯みがきが入っている者の割合  
22.3%(R1)→増加(R7)

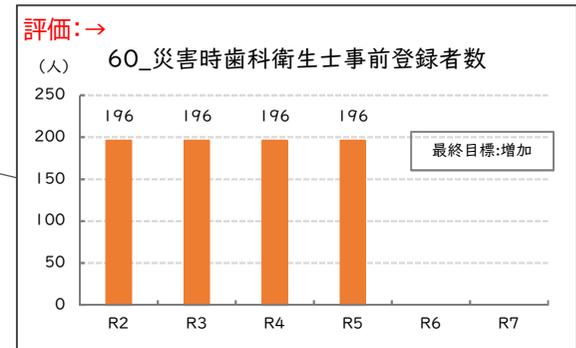
【指標59】※最終評価まで調査実施なし  
災害時に十分な口腔ケアができないと誤嚥性肺炎になる可能性があることを知っている者の割合  
42.8%(R1)→増加(R7)

※その他、「学童期(思春期)歯科保健活動 ※再掲(24か所)」、「障害者歯科保健センター職員派遣等 ※再掲(4か所)」(ともに担当は健康づくり推進課)にて資料配布

(2)災害時における保健医療提供体制の整備

事業名 (担当課)	事業概要	令和5年度の実績 令和6年度の取組方針	R6年度実施計画 (評価指標)
災害時歯科保健医療活動研修会 (健康づくり推進課) 評価: C	災害時医療救護体制(歯科体制)について理解し、大規模災害発生時に具体的なイメージを持ち、歯科保健活動にあたる歯科専門職を養成する。	計画:1回実施⇒実績:実施なし ※グループワーク中心の研修会であり、新型コロナウイルス感染症の影響により実施方法の変更を検討したが実施できなかった。 リモート併用の研修会とする。	研修会実施1回

※その他、12月の第1日曜日に歯科対策班、歯科医師会災害対策本部を立ち上げ、協働で訓練を行う「防災訓練(健康づくり推進課)」を実施。計画:歯科医師会との共同訓練を2か所で実施⇒実績:2か所で実施しA評価。令和6年度計画:協働訓練を2か所(静岡・清水)で実施



(1)市民が学校や事業所等のあらゆる場面において歯と口の健康づくりを推進できる環境整備

事業名 (担当課)	事業概要	令和5年度の実績 令和6年度の取組方針	R6年度実施計画 (評価指標)
世界禁煙デー・禁煙週間普及啓発事業 (健康づくり推進課)	5月31日の世界禁煙デーに、タバコの害に関する知識や受動喫煙防止について、普及啓発を行う。5月31日～6月6日の禁煙週間に静岡庁舎、清水庁舎にてタバコの害に関する知識や受動喫煙防止についてのパネル展示を実施。喫煙が歯周病に与える悪影響について周知を図る。	計画:①世界禁煙デー街頭キャンペーンの実施(啓発セット2000配布)、②静岡・清水庁舎にて禁煙週間啓発実施 ⇒実績:①タバコと健康、喫煙が歯周病に与える悪影響に関するチラシを含む啓発セットを2000配布、②計画どおりパネル展示を実施した他、公共施設等へのポスター掲示、庁内放送による啓発を実施実施規模やメインターゲットは同様に実施。啓発の内容は、国の提示する禁煙週間テーマも踏まえながら見直しを行う。	①世界禁煙デー街頭キャンペーンの実施(啓発セット2000セット配布)  ②静岡・清水庁舎にて禁煙週間啓発実施(パネル展示2か所)
食育ボランティア人材養成講座※ (健康づくり推進課)	静岡シチズンカレッジ「こ・こ・に」の講座として、食の「大切さ」や「楽しさ」の普及を目的に、栄養士から食に関する知識や、健康運動指導士から自宅でできる簡単な体操などについて、楽しく学ぶ。旧食生活改善推進員養成講座も兼ねており、受講後は食に関するボランティアとして活動する。	計画:食育ボランティア人材養成数20人⇒実績:食育ボランティア人材養成数27人  地域で活躍する食育ボランティア人材の増加と市と連携して活動する「静岡市食生活改善推進協議会」の推進員数を増やし、市民の食育活動を支援する。	食育ボランティア人材養成数20人
職域への口腔保健促進事業 (健康づくり推進課)	従業員が歯科健診を受診しづらい中小規模の事業所に歯科医師・歯科衛生士を派遣し、歯科健診・歯科保健指導を行うことにより、歯科口腔保健の重要性の気付きを促し、かかりつけ歯科医における継続的な歯科受診につなげる。	計画:健診等実施 6か所⇒実績:健診等実施 6か所  実施会場を10か所に増やし、歯科健診・歯科保健指導を行うことで、かかりつけ歯科医における継続的な歯科受診につなげる。	健診等実施 10か所

評価: A

評価: A

評価: A

※ 食と口の健康は密接に関係することから本計画の行政の取組として掲載

※その他、「健康増進普及月間健康づくり普及啓発事業」、「食育普及啓発事業」、「静岡市食育応援団事業」、「受動喫煙防止対策」(いずれも担当は健康づくり推進課)を実施。いずれもA評価。

(再掲)【指標24】歯周疾患に関する症状がある人の割合(20～29歳)、【指標25】歯周疾患に関する症状がある人の割合(30～44歳)、【指標26】歯周疾患に関する症状の割合(45～64歳)

(再掲)【指標38】何でも噛んで食べることができる者の割合(男性50～54歳)、【指標44】何でも噛んで食べることができる者の割合(男性50～54歳)

【指標61】※最終評価まで調査実施なし  
歯科健診を実施している49人以下の事業所の割合 1.4%(R1)→増加(R7)

【指標62】※最終評価まで調査実施なし  
歯科健診を実施している50人以上の事業所の割合 3.0%(R1)→増加(R7)

【指標63】※最終評価まで調査実施なし  
従業員の歯の病気について把握している49人以下の事業所の割合 6.3%(R1)→増加(R7)

【指標64】※最終評価まで調査実施なし  
従業員の歯の病気について把握している50人以上の事業所の割合 4.0%(R1)→増加(R7)

静岡県歯と口腔の健康づくり推進計画(令和3～8年度)指標の進捗状況

資料 1-2

ベースライン値からの評価方法

改善(↑):改善傾向にある(ベースライン値と比べ+3%以上)  
 維持(→):変わらない(ベースライン値と比べ±3%未満)  
 悪化(↓):計画策定時の目標値と比べ悪化した(ベースライン値と比べ-3%以下)

表中の色セルの詳細

■ 中間評価時に「悪化」のため、最終目標値を「増加・減少」から数値に再設定した指標  
 ■ 中間評価時に最終目標値を達成したため、R7最終目標値を上方修正した指標  
 ■ 中間評価時に新たに設定した指標  
 ■ 令和5年度実績が未確定で暫定値(令和6年6月21日現在)を入力した指標

中間評価の結果

	達成	改善	維持	悪化	計	評価外
項目数	10	28	7	7	52	12
割合	19.2%	53.8%	13.5%	13.5%	100%	—

令和5年度の結果

	改善	維持	悪化	計	評価外
項目数	25	10	7	42	25
割合	59.5%	23.8%	16.7%	100%	—

基本方針	No.	指標名	調査対象	調査属性(調査頻度)	ベースライン値(年度)	計画策定から中間見直しまで(R3～R5年度)					中間見直し後(R6～R8年度)						
						R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	ベースライン値からの評価	当初最終目標値	R5年度実績	ベースライン値からの評価	R5実績/ベースライン値	R5年度実績/ベースライン値	±3%未満	R7最終目標値	
1	(1)	1	むし歯のない子どもの割合	1歳6か月児	乳幼児歯科健康診査結果(毎年)	99.3%(R1)	98.95%	99.64%	99.30%	維持	100%	###	→	1.0031	0.31%	○	100%
1	(1)	2	保護者が毎日仕上げみがきをしている子どもの割合	1歳6か月児	1歳6か月児健康診査(毎年)	97.6%(R1)	94.8%	94.4%	93.9%	悪化	100%	93.9%	↓	0.9621	3.79%	×	100%
1	(1)	3	むし歯のない子どもの割合	3歳児	乳幼児歯科健康診査結果(毎年)	91.5%(R1)	90.0%	93.1%	93.9%	維持	98.2%	95.3%	↑	1.0415	4.15%	×	98.2%
1	(1)	4	フッ化物を利用している子どもの割合	3歳児	3歳児健康診査(毎年)	89.4%(R1)	90.2%	90.2%	88.7%	維持	増加	88.1%	→	0.9855	1.45%	○	増加
1	(1)	5	甘い菓子等を1日2回以上食べている子どもの割合	3歳児	3歳児健康診査(毎年)	30.8%(R1)	29.3%	29.2%	30.6%	維持	減少	32.4%	↓	1.0519	5.19%	×	減少
1	(1)	6	むし歯のない子どもの割合	5歳児(乳歯)	静岡県5歳児歯科調査結果(毎年)	70.6%(R1)	74.0%	75.7%	77.9%	達成	77.7%	77.7%	↑	1.1006	10.06%	×	84.3%
1	(1)	7	フッ化物洗口実施割合	こども園・保育園・幼稚園	健康づくり推進課調査(毎年)	73.1%(R2)	73.1%	75.0%	75.3%	改善	80.0%	74.6%	→	1.0205	2.05%	○	80.0%
1	(2)	8	むし歯処置未了者の割合	小学4年生	学校歯科保健調査(毎年)	45.1%(R1)	35.3%	41.2%	31.7%	改善	減少	49.0%	↓	1.0865	8.65%	×	減少
1	(3)	9	むし歯処置未了者の割合	中学1年生	学校歯科保健調査(毎年)	41.7%(R1)	40.7%	43.9%	48.4%	悪化	減少	39.9%	↑	0.9568	4.32%	×	40.6%
1	(3)	10	むし歯処置未了者の割合	高校1年生	学校歯科保健調査(毎年)	42.7%(R1)	33.4%	33.4%	34.8%	改善	減少	33.3%	↑	0.7799	22.01%	×	減少
1	(2)	11	歯肉に所見のある者の割合	小学4年生	学校歯科保健調査(毎年)	8.3%(R1)	8.9%	8.9%	7.6%	改善	減少	7.3%	↑	0.8795	12.05%	×	減少
1	(3)	12	歯肉に所見のある者の割合	中学1年生	学校歯科保健調査(毎年)	19.6%(R1)	20.8%	21.1%	18.2%	改善	減少	20.0%	→	1.0204	2.04%	○	減少
1	(3)	13	歯肉に所見のある者の割合	高校1年生	学校歯科保健調査(毎年)	27.0%(R1)	19.1%	20.8%	18.3%	改善	減少	20.3%	↑	0.7519	24.81%	×	減少
1	(3)	14	デンタルフロスなど歯と歯の間を清掃するための器具を使っている者の割合	中学生	健康に関する意識・生活アンケート調査(燃漫計画調査年)	41.6%(H28)	-	-	51.5%	改善	増加	-	-	-	-	×	増加
1	(3)	15	歯科健診受診率	思春期	健康に関する意識・生活アンケート調査(燃漫計画調査年)	57.4%(H28)	-	-	69.0%	改善	66.5%	-	-	-	-	×	66.5%
1	(2)	16	歯科専門職による歯の健康教育を行っている校数	小学校	学校歯科保健調査(毎年)	19/88校 21.6%(R1)	27.3%	22.4%	14.6%	悪化	全校	16.9%	↓	0.7824	21.76%	×	100%
1	(3)	17	歯科専門職による歯の健康教育を行っている校数	中学校	学校歯科保健調査(毎年)	4/51校 7.8%(R1)	12.0%	5.9%	6.0%	悪化	増加	4.1%	↓	0.5256	47.44%	×	20.0%
1	(3)	18	歯科専門職による歯の健康教育を行っている校数	高等学校	学校歯科保健調査(毎年)	4/19校 21.1%(R1)	21.1%	0.0%	11.8%	悪化	増加	5.9%	↓	0.2796	72.04%	×	29.4%
1	(3)	19	フッ化物を利用している者の割合	中学生 高校生	歯と口に関するアンケート調査(歯科保健調査年)	69.4%(R1)	-	-	-	-	増加	-	-	-	-	-	増加
1	(3)	20	むし歯のない子どもの割合	中学1年生	学校歯科保健調査(毎年)	83.0%(R1)	82.2%	85.5%	87.4%	達成	85.0%	85.3%	→	1.0277	2.77%	○	88.9%
1	(3)	21	フッ化物洗口実施校数	小学校	健康づくり推進課調査(毎年)	4/88校 4.5%(R2)	4/86校 4.6%	4/86校 4.6%	5/82校 6.0%	改善	増加	6.00%	↑	1.3333	33.33%	×	増加
1	(4)	22	歯周病検診受診者数	40歳以上	歯周病検診結果(毎年)	1,450人(R1)	1,460人	1,863人	1,807人	改善	増加	1,521人	↑	1.0490	4.90%	×	増加
1	(4)	23	歯ピカ検診受診者数	40歳	歯周病検診結果(毎年)	405人(R1)	520人	518人	399人	維持	増加	384人	↓	0.9481	5.19%	×	増加
1	(4)	24	歯周疾患に関する症状がある人の割合	20～29歳	健康に関する意識・生活アンケート調査(燃漫計画調査年)	72.6%(H28)	-	-	30.9%	改善	66.6%	-	-	-	-	×	66.6%
1	(4)	25	歯周疾患に関する症状がある人の割合	30～44歳	健康に関する意識・生活アンケート調査(燃漫計画調査年)	77.9%(H28)	-	-	48.3%	改善	67.2%	-	-	-	-	×	67.2%
1	(4)	26	歯周疾患に関する症状がある人の割合	45～64歳	健康に関する意識・生活アンケート調査(燃漫計画調査年)	80.0%(H28)	-	-	52.7%	改善	76.6%	-	-	-	-	×	76.6%
1	(4)	27	歯肉に異常のない者の割合	40～49歳	歯周病検診結果(毎年)	13.7%(R1)	14.0%	18.1%	18.1%	改善	増加	13.9%	→	1.0146	1.46%	○	増加
1	(4)	28	歯肉に異常のない者の割合	50～59歳	歯周病検診結果(毎年)	3.5%(R1)	1.8%	7.4%	12.5%	改善	増加	13.1%	↑	3.7429	274.29%	×	増加
1	(4)	29	歯肉に異常のない者の割合	60～69歳	歯周病検診結果(毎年)	2.5%(R1)	0.6%	12.8%	15.8%	改善	増加	12.0%	↑	4.8000	380.00%	×	増加
1	(4)	30	むし歯処置未了者の割合	40歳以上	歯周病検診結果(毎年)	39.2%(R1)	44.1%	35.5%	36.5%	改善	減少	36.2%	↑	0.9235	7.65%	×	減少
1	(4)	31	フッ化物を利用している者の割合	40歳以上	歯と口に関するアンケート調査(歯科保健調査年)	37.8%(R1)	-	-	-	-	増加	-	-	-	-	-	増加
1	(4)	32	デンタルフロスなど歯と歯の間を清掃するための器具を使っている者の割合	40歳以上	歯周病検診結果(毎年)	60.8%(R1)	62.0%	70.0%	72.1%	達成	65.8%	73.2%	↑	1.2039	20.39%	×	81.0%
1	(4)	33	6024達成者の割合	55～64歳	歯周病検診結果(毎年)	81.9%(R1)	82.4%	90.2%	93.8%	達成	82.6%	91.0%	↑	1.1111	11.11%	×	95.0%
1	(4)	34	歯科健診受診率	20～29歳	健康に関する意識・生活アンケート調査(燃漫計画調査年)	28.2%(H28)	-	-	37.1%	改善	41.8%	-	-	-	-	×	41.8%
1	(4)	35	歯科健診受診率	30～44歳	健康に関する意識・生活アンケート調査(燃漫計画調査年)	40.2%(H28)	-	-	51.2%	改善	52.2%	-	-	-	-	×	52.2%
1	(4)	36	歯科健診受診率	45～64歳	健康に関する意識・生活アンケート調査(燃漫計画調査年)	40.7%(H28)	-	-	48.5%	改善	52.4%	-	-	-	-	×	52.4%
1	(4)	37	かかりつけ歯科医を持つ者の割合	40～64歳	歯と口に関するアンケート調査(歯科保健調査年)	76.0%(R1)	-	-	-	-	90.7%	-	-	-	-	-	90.7%
1	(4)	38	何でも噛んで食べることができる者の割合	男性 50～54歳	特定健康診査質問票(毎年)	84.2%(R1)	82.5%	82.0%	81.1%	悪化	85.3%	81.9%	→	0.9727	2.73%	○	85.3%
1	(4)	39	オーラルフレイルを知っている者の割合	40歳以上	歯と口に関するアンケート調査(歯科保健調査年)	11.5%(R1)	-	-	-	-	25.0%	-	-	-	-	-	25.0%
1	(4)	40	歯つびー☆スマイル体操を知っている者の割合	40歳以上	歯と口に関するアンケート調査(歯科保健調査年)	37.9%(R1)	-	-	-	-	増加	-	-	-	-	-	増加
1	(4)	41	「8020運動」の認知度	40歳以上	歯と口に関するアンケート調査(歯科保健調査年)	51.4%(R1)	-	-	-	-	増加	-	-	-	-	-	増加
1	(4)	42	タバコを吸うことやタバコの煙を吸うことが歯周病に影響があると思う者の割合	20～64歳	健康に関する意識・生活アンケート調査(燃漫計画調査年)	29.6%(H28)	-	-	79.7%	改善	増加	-	-	-	-	-	増加
1	(5)	43	口腔機能に関する症状がない人の割合	65歳以上	健康に関する意識・生活アンケート調査(燃漫計画調査年)	52.0%(H28)	-	-	80.1%	達成	52.8%	-	-	-	-	-	52.8%
1	(5)	44	何でも噛んで食べることができる者の割合	女性 70～74歳	特定健康診査質問票(毎年)	81.1%(R1)	79.9%	80.1%	80.1%	維持	83.3%	80.3%	→	0.9901	0.99%	○	83.3%
1	(5)	45	歯肉に異常のない者の割合	70～79歳	歯周病検診結果(毎年)	1.6%(R1)	3.9%	9.0%	3.6%	改善	増加	4.7%	↑	2.9375	193.75%	×	増加
1	(5)	46	歯肉に異常のない者の割合	80歳以上	歯周病検診結果(毎年)	1.6%(R1)	0.6%	4.9%	2.0%	改善	増加	2.2%	↑	1.3750	37.50%	×	増加
1	(5)	47	8020達成者の割合	75～84歳	歯周病検診結果(毎年)	62.7%(R1)	61.4%	74.6%	75.4%	改善	増加	73.0%	↑	1.1643	16.43%	×	増加
1	(5)	48	歯科健診受診率	65～74歳	健康に関する意識・生活アンケート調査(燃漫計画調査年)	47.5%(H28)	-	-	55.8%	改善	56.5%	-	-	-	-	×	56.5%
1	(5)	49	歯科健診受診率	75歳以上	健康に関する意識・生活アンケート調査(燃漫計画調査年)	51.8%(H28)	-	-	59.2%	改善	65.8%	-	-	-	-	×	65.8%
2	(1)	50	障害福祉サービス事業所等でのかかりつけ歯科医を持つ者の割合	障害福祉サービス事業所利用者	障害者歯科保健センターアンケート(毎年)	66.3%(R1)	63.6%	70.1%	63.2%	悪化	増加	68.0%	→	1.0256	2.56%	○	70.2%
2	(1)	51	特別支援学校でかかりつけ歯科医を持つ者の割合	特別支援学校小学部	障害者歯科保健センターアンケート(毎年)	77.5%(R1)	80.6%	84.3%	81.6%	改善	増加	83.7%	↑	1.0800	8.00%	×	増加
2	(1)	52	特別支援学校でかかりつけ歯科医を持つ者の割合	特別支援学校中学部	障害者歯科保健センターアンケート(毎年)	68.5%(R1)	70.7%	79.6%	82.1%	改善	増加	85.6%	↑	1.2496	24.96%	×	増加
2	(1)	53	特別支援学校でかかりつけ歯科医を持つ者の割合	特別支援学校高等部	障害者歯科保健センターアンケート(毎年)	52.0%(R1)	44.4%	55.5%	60.9%	改善	増加	63.2%	↑	1.2154	21.54%	×	増加
2	(2)	54	定期的に歯科健診を行っている介護保険施設の割合	介護保険施設(特養・老健・介護療養型医療施設)	介護保険施設アンケート(随時)	28.0%(H30)	-	-	-	-	50.0%	46.2%	↑	1.6500	65.00%	×	50.0%
2	(2)	55	定期的に歯科専門職による歯科保健指導を行っている介護保険施設の割合	介護保険施設(特養・老健・介護療養型医療施設)	介護保険施設アンケート(随時)	24.0%(H30)	-	-	-	-	50.0%	47.7%	↑	1.9875	98.75%	×	50.0%
2	(3)	56	妊婦歯科健診受診率	妊婦	妊婦歯科健康診査(毎年)	46.2%(R1)	46.2%	50.8%	51.2%	達成	50.0%	50.6%	↑	1.0952	9.52%	×	53.2%
2	(3)	57	歯科健診受診率	妊婦期	健康に関する意識・生活アンケート調査(燃漫計画調査年)	64.7%(H28)	-	-	75.8%	改善	増加	-	-	-	-	×	増加
3	(1)	58	非常時の「非常持ち出し袋」の中に歯ブラシや液体歯みがきが入っている者の割合	全世代	歯と口に関するアンケート調査(歯科保健調査年)	22.3%(R1)	-	-	-	-	増加	-	-	-	-	-	増加
3	(1)	59	災害時に十分な口腔ケアができないと誤嚥性肺炎になる可能性があることを知っている者の割合	全世代	歯と口に関するアンケート調査(歯科保健調査年)	42.8%(R1)	-	-	-	-	増加	-	-	-	-	-	増加
3	(2)	60	災害時歯科衛生士事前登録者数	市内在住または在勤の歯科衛生士	健康づくり推進課(毎年)	196人(R2)	196人	196人	196人	維持	増加	196人	→	1.0000	0.00%	○	増加
4	(1)	61	歯科健診を実施している事業所の割合	49人以下の事業所	歯と口に関するアンケート調査(歯科保健調査年)	1.4%(R1)	-	-	-	-	増加	-	-	-	-	-	増加
4	(1)	62	歯科健診を実施している事業所の割合	50人以上の事業所	歯と口に関するアンケート調査(歯科保健調査年)	3.0%(R1)	-	-	-	-	増加	-	-	-	-	-	増加
4	(1)	63	従業員の歯の病気に気づいている事業所の割合	49人以下の事業所	歯と口に関するアンケート調査(歯科保健調査年)	6.3%(R1)	-	-	-	-	増加	-	-	-	-	-	増加
4	(1)	64	従業員の歯の病気に気づいている事業所の割合	50人以上の事業所	歯と口に関するアンケート調査(歯科保健調査年)	4.0%(R1)	-	-	-	-	増加	-	-	-	-	-	増加
2	(1)	65	[R5追加] 障害者歯科保健センターの初診予約平均待ち日数	障がい児・者	障害者歯科保健センター調査(毎年)	36日(R4)	-	-	-	-							

## 令和7年度歯と口に関するアンケート調査について

調査目的	令和8年度に実施する「静岡市歯と口腔の健康づくり推進計画(令和3～8年度)」の最終評価、次期計画策定の基礎資料として、市民や事業所の歯と口の健康に関する意識、生活実態等を把握することを目的とする。
調査方法	郵送配付・郵送回収(またはオンラインによる回答)を予定
対象先	①静岡市民向け調査(無作為抽出。1歳以上) ②静岡市内事業所向け調査
調査種別 調査数	①1～12歳(410人 保護者が記入)、12～19歳(430人)、20～64歳(2,460人)、65歳以上(1,200人)の計4,500人 ②農林水産業(1)、製造業(48)、建設業(47)、卸売・小売業(139)、運輸・通信業(17)、サービス業(160)、宿泊・飲食業(17)、医療・福祉(23)、その他(48)の計500先
【参考】前回調査期間	令和元年8月5日～8月21日
【参考】前回有効回収率	①38.6%、②48.6%
【参考】前回設問数	①35問、②21問
調査間隔	約6～7年(令和元年度、令和7年度、令和12年度予定)

## 今後のスケジュール:

年度	R6									R7											
月	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
会議	①						②			①						②					
内容	・アンケート市民向け(案)、事業所向け(案)の協議						・市民向け・事業所向け(修正案)の協議			(・市民向け・事業所向け最終案の報告)						(・アンケートの報告)					
アンケート	内容決め →									業務委託(予定) ← 実施 → 業務完了報告											





歯と口に関するアンケート調査(市民向け)項目(案) - 令和7年度(案)設問順 -

資料2-2

歯と口腔の健康づくり推進計画(令和3~8年度)との関連 ※基本方針の●=H31に記載した項目に関連するもの、★=R7に追加予定の項目に該当するもの														今回(令和7年度実施)案							
大区分	小区分	基本方針1 乳幼・学童・思春・成人				基本方針2 高齢・障が・要介・妊産・入院・被産				3	4	指標 への	指標 名	対応	設問	対象	設問内容	回答形式	回答選択		
基礎情報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	×	-	継続(前回同様)	1	全年代	このアンケートの記入者は、封筒の宛名にお名前が記載されている「ご本人」ですか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	本人代理人
基礎情報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	×	-	継続(一部変更)	2	全年代	今年(2025年)4月1日時点のご本人の年齢に1つ✓を付けてください。	単一	1~5歳(未就学児) 6~11歳(小学生) 12~17歳(中学生・高校生) 18~29歳 30~39歳 40~64歳 65~74歳 75歳以上
基礎情報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	×	-	継続(前回同様)	3	全年代	ご本人の性別に1つ✓を付けてください。	単一	男性 女性 その他
基礎情報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	×	-	継続(前回同様)	4	全年代	ご本人の居住地に1つ✓を付けてください。	単一	葵区 駿河区 清水区 その他
自己関心度	-	●	●	●	●	●	-	-	-	-	-	-	-	×	-	継続(一部変更)	5	全世代	ご本人は、この1年(2024年●月~2025年●月)で、歯科医院に行きましたか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	行った 行ってない
自己関心度	-	●	●	●	●	●	-	-	-	-	-	-	-	×	-	継続(前回同様)	6	全年代	前問で「行った」を選んだ方に伺います。ご本人が歯科医院に行った理由あるいは目的である病名や治療、健診など、該当するものに全部✓を付けてください。	複数(該当するものすべて)	むし歯 歯周病 入れ歯 歯並び・かみ合わせ 口内炎 歯痛や歯石の除去 歯科健診 その他
かかりつけ歯科医	-	●	●	●	●	●	-	-	-	-	-	-	-	○	-	継続(前回同様)	7	全年代	ご本人は、歯や口に関して治療や相談ができる歯科医(いわゆる「かかりつけ歯科医」)がいますか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	いる いない
かかりつけ歯科医	-	●	●	●	●	●	-	-	-	-	-	-	-	×	-	継続(前回同様)	8	前問で「いない」と回答のみ	前問で「いない」を選んだ方に伺います。「かかりつけ歯科医」がない理由として該当するものに全部✓を付けてください。	複数(該当するものすべて)	歯や口のことで困っていないから 近くに歯科医院がないから 近くに良い歯科医院がないから 歯科医院が苦手だから 歯科医院の選び方がわからないから その他
歯科健診	-	-	-	★	★	★	-	-	-	-	-	-	-	○	-	新規(健康に関する意識アンケート調査から移行)	9	全世代	ご本人は、年に1回以上定期的に歯科健診を受けていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	受けている 受けていない
歯科健診	-	●	●	●	●	●	-	-	-	-	-	-	-	×	-	継続(前回同様)	10	前問で「健診を受けていない」と回答のみ	前問で「歯科健診を受けていない」を選んだ方に伺います。ご本人は、どのような条件が整えば、歯科健診に行こうと思えますか。該当するものに全部✓を付けてください。	複数(該当するものすべて)	通常の健康診断や人間ドックで歯科の項目があれば行く 個人負担が軽ければ行く(金銭面?精神面?) 早朝や夜間であれば行く 土曜日や日曜日の昼間であれば行く 待ち時間が少なければ行く 最初から行くつもりはない
自己関心度	口腔衛生	●	●	●	●	●	-	-	-	-	-	-	-	×	-	継続(前回同様)	11	全年代	ご本人は、「歯みがき」をしますか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	1日3回以上 1日2回 1日1回 ときどきしない日がある ほとんどしない
自己関心度	口腔衛生	●	●	●	●	●	-	-	-	-	-	-	-	×	-	継続(一部変更)	12	全世代	ご本人は、デンタルフロス(糸)や歯間ブラシなど、歯と歯の隙を清掃するための器具を使っていますか。	単一	ほぼ毎日使っている 時々使っている 使っていない
自己関心度	口腔衛生	●	●	●	●	●	-	-	-	-	-	-	-	×	-	継続(一部変更)	13	全世代	ご本人は、歯みがきやデンタルフロス(糸)より、歯間ブラシを使用している際に出血することはありますか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	毎回出血する ときどき出血する 出血しない
自己関心度	口腔衛生	●	●	●	●	●	-	-	-	-	-	-	-	○	-	継続(前回同様)	14	全年代	ご本人は、むし歯予防のために、フッ素を使った製品などで歯のケアをしていますか。該当するものに全部✓を付けてください。	単一	歯科医院でフッ素を塗ってもらう フッ素入りうがい液を使っている フッ素入りの歯みがき剤を使っている 利用していない
自己関心度	災害	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	○	-	継続(前回同様)	15	全年代	ご本人のお宅では、非常時の「非常持ち出し袋」の中に、歯ブラシや液体歯みがきが入っていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	入っている 入っていない 非常持ち出し袋がない
自己関心度	口腔衛生	●	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	×	-	継続(前回同様)	16	小学生以下	ご本人の歯みがきは、どのようにしていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	自分ひとりでみがく 自分でみがいた後に、家族がみがく 自分でみがかず、家族がみがく ほとんどみがかない
自己関心度	口腔衛生	●	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	×	-	継続(前回同様)	17	前問で「自分でみがいた後に、家族がみがく」と「自分でみがかず、家族がみがく」を選んだ方に伺います。家族がみがくのは、週に何回くらいですか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	毎日 週に5~6回 週に3~4回 週に1~2回	
自己関心度	口腔衛生	●	●	●	-	-	-	-	-	-	-	●	●	×	-	継続(一部変更)	18	小学生・中学生・高校生	園や学校で実施する歯科健診を受けてご本人が治療を勧められた場合、どのくらいの期間で歯科医院に行きますか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	勧められたらすぐに行く 既存の予定を調整して早く行く 痛みを感じたら行く 痛みが我慢できなくなったら行く 行かない
自己関心度	口腔衛生	●	●	●	-	-	-	-	-	-	-	●	●	×	-	継続(前回同様)	19	小学生・中学生・高校生	園や学校で昼食後、歯みがきをしていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	毎回みがいている 週に3~4回みがいている 週に1~2回みがいている 歯みがきはしていない 園や学校に行っていない
知識	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	×	-	継続(一部変更)	20	中学生・高校生以上	ご本人は、「歯みがき」や「むし歯」に関する知識を知りたい時、どこから情報を入れますか。該当するものに全部✓を付けてください。	複数(該当するものすべて)	こども園・保育園・幼稚園・学校 勤務先 市役所・区役所・保健福祉センター 新聞・雑誌 テレビ ラジオ ホームページ SNS※ 歯科医院 家族・知人 その他(※) ※:フェイスブックやラインなど、インターネットを介した情報交換ツール ※:SNSを細分化する?

歯と口腔の健康づくり推進計画(令和3～8年度)との関連 ※基本方針の●=H31に登場した項目に関連するもの、★=R7に追加予定の項目に該当するもの												今回(令和7年度実施)案									
大区分	小区分	基本方針1			基本方針2			3	4	指標への	指標名	対応	設問	対象	設問内容	回答形式	回答選択				
		乳幼	学童	思春	成人	高齢	障がい	要介	妊産	入院	被災	災害	環境	連携							
自己関心度	口腔衛生	-	-	★	★	★	-	-	-	-	-	-	-	-	○	新規(健康に関する意識・生活アンケート調査から移行)	21	18歳以上	ご本人は、歯や口に関する症状がありますか。	単一	ある ない
自己関心度	口腔衛生	-	-	-	★	★	-	-	-	-	-	-	-	-	○	新規(健康に関する意識・生活アンケート調査から移行)	22	18歳以上(「歯や口に関する症状」である」と回答のみ)	下記のような症状がありますか。	複数	【歯周疾患に関すること】 歯をみがいた時、血がでる 歯のすき間の広がり 歯が長く伸びた感じがする 歯が浮くような感じ、または歯ぐきがムズムズする 歯ぐきの腫れ 口のねばつき 歯が時々しみる 口臭 歯ぐきから膿がでる 歯のくらくつき 歯垢、歯石 【口腔機能に関すること】 口が渇く 食事中にむせる 飲み込みにくい 噛むのが大変
知識	歯肉炎・歯周病	-	-	-	●	●	-	●	-	-	-	-	-	-	×	継続(前回同様)	23	18歳以上	ご本人は、「歯周病」がいろいろな病気(糖尿病、糖尿病、高血圧、心筋梗塞、狭心症、低体重児出産など)の症状を悪化させる場合があることを知っていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	知っている 知らない
知識	歯肉炎・歯周病	-	-	★	★	★	-	-	-	-	-	-	-	-	○	新規(健康に関する意識・生活アンケート調査から移行)	24	18歳以上	タバコを吸うことやタバコの煙を吸うことが歯周病に影響があると知っていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	はい いいえ
知識	歯肉炎・歯周病	-	-	-	●	●	-	-	-	-	-	-	-	-	×	継続(一部変更)	25	18歳以上	ご本人は、静岡市が40歳以上の市民を対象に低額で実施している「歯周病検診」を知っていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	市の検診を知っており、受診したことがある 市の検診を知っているが、受診したことはない 市の検診は知らない 市の検診は知らないが、全額自費で受診している
知識	フレイル(オーラルフレイル)	-	-	-	●	●	-	-	-	-	-	●	-	-	○	「8020運動」の認知(40歳以上)	26	18歳以上	ご本人は、歯と口に関係する「8020(はちまるにいまる)運動」という取り組みを知っていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	知っている 知らない
知識	フレイル(オーラルフレイル)	-	-	-	●	●	-	-	-	-	-	-	-	-	○	オーラルフレイルを知っている者の割合(40歳以上)	27	18歳以上	ご本人は、「オーラルフレイル」という言葉を聞いたことがありますか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	聞いたことがある 聞いたことがない
自己関心度	フレイル(オーラルフレイル)	-	-	-	●	●	-	-	-	-	-	-	-	-	×	継続(前回同様)	28	18歳以上	ご本人は、何でもかんで食べることができず、該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	何でもかんで食べることができる 一部かめない食べ物がある かめない食べ物が多い かんで食べることができない
知識	フレイル(オーラルフレイル)	-	-	-	●	●	-	-	-	-	-	-	-	-	×	継続(前回同様)	29	18歳以上	ご本人は、歯と口が健康な状態を保てないと、誤嚥(ごえん)性肺炎や認知症の症状を悪化させる場合があることを知っていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	知っている 知らない
知識	フレイル(オーラルフレイル)	-	-	-	●	●	-	-	-	-	-	-	-	-	○	「歯っぴー☆スマイル体操」を知っている者の割合(40歳以上)	30	18歳以上	ご本人は、むせの予防や唾液の分泌を促進させるために、くちびる、頬、舌などを動かす体操があることを知っていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	知っている 知らない
知識?	障がい児・者	-	-	-	-	-	★	-	-	-	-	-	-	-	×	新規(2障がい児・者)	31	18歳以上	静岡市では、障がいのある方が住み慣れた地域でかかりつけ歯科医を持ち、安心して歯科治療を受けられる環境を整えています。誰もが安心・安全に歯科医院を受診できると思いますか。該当するものに1つ✓を付けてください。	複数	
知識	訪問歯科	-	-	-	●	●	-	●	-	-	-	-	-	-	×	継続(前回同様)	32	18歳以上	ご本人は、寝たきりなどで歯科医院への通院が困難な場合に、歯科医師や歯科衛生士が訪問し、歯のケアや治療をすることができると知っていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	知っている 知らない
知識	入院患者	-	-	-	-	-	-	-	★	-	-	-	-	-	×	新規(2入院患者)	33	18歳以上	ご本人は、全身麻酔を伴う手術を受ける前後に歯科治療や口腔ケアを受けることで、肺炎などの合併症を予防し、入院日数が短くなることを知っていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	知っている 知らない
知識	災害	-	-	-	●	●	-	●	-	-	●	●	-	-	○	継続(前回同様だが対象のみ変更)	34	18歳以上	ご本人は、「災害時に十分な口腔ケアができないと誤嚥性肺炎になる可能性があることを知っている者の割合(全世代)」を知っていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。 ※飲み込む力や咳をする力が弱くなることで、食べ物や唾液などが誤って気管に入り、発症する肺炎	単一	知っている 知らない
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	×	継続(前回同様)	35	全年代	本市が取り組む、歯や口の健康づくりについて、普及、感知られていることがあれば、ご自由にお書きください。	自由記載	例、幼稚園や保育園の段階で、歯みがきやうがいを習慣化させてほしい。
歯科健診	-	●	●	●	●	●	-	-	-	-	-	-	-	-	×	検診中	問9で「受けている」と回答のみ	ご本人は、「歯科健診」をご自分で受けていますか。該当するものに全部✓を付けてください。	複数(該当するものすべて)	検診先 勤務先の指定する歯科医院 かかりつけの歯科医院 自宅や入所施設 保健福祉センター 健診を受けていない	
知識	口腔衛生	●	●	●	●	●	-	-	-	-	-	●	-	-	×	検診中	ご本人は、「むし歯や歯周病が口臭の原因になる場合がある」とことを知っていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	知っている 知らない		
自己関心度	フレイル(オーラルフレイル)	●	●	●	●	●	-	-	-	-	-	●	-	-	×	検診中	ご本人は、1日1食以上、家族や友人とともに食事しますか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	ほぼ毎日する 週に3～5日 週に1～2日 ほとんどしない		
自己関心度	歯肉炎・歯周病	-	-	-	●	●	-	-	-	-	-	-	-	-	×	検診中	ご本人は、これまでに歯科検診などで歯科医師から「歯肉炎」や「歯周病」と診断されたことがありますか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	診断されたことはあるが、今は完治している 診断されたことはあり、現在治療中である 診断されたことはあるが、放置している 診断されたことがない		
知識	歯肉炎・歯周病	-	-	-	●	●	-	-	-	-	-	-	-	-	×	検診中	「市の検診は知っているが、受診したことはない」と回答した40歳以上の方	検診中	今、歯や口の不調を感じないから歯周病だと思っていないから費用が負担になるから 歯科医院に行くのが面倒だから土曜や日曜に受診できないから 仕事・家事・育児・介護などが忙しいから過去に治療して完治したから 現在治療中だから その他		

歯と口腔の健康づくり推進計画(令和3~8年度)との関連 ※基本方針の●=R31に記載した項目に関連するもの、★=R7に追加予定の項目に該当するもの														今回(令和7年度実施)案							
大区分	小区分	基本方針1					基本方針2				指標への	指標名	対応	設問	対象	設問内容	回答形式	回答選択			
		乳幼	学童	思春	成人	高齢	障が	要介	妊産	入院									被虐	3	4
基礎情報	-	-	-	-	●	●	-	●	-	-	-	-	-	x	-	検討中		18歳以上	ご本人は、介護保険制度における要介護の認定を受けていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	受けていない 要支援1 要支援2 要介護1 要介護2 要介護3 要介護4 要介護5

# 歯と口に関するアンケート(事業所向け)項目(案)

前回(平成31年度実施)				歯と口の健康づくり推進計画(令和3年度)との関連				今回(令和7年度実施)案			
設問番号	設問内容	回答形式	回答選択	指標への関連	指標名	対応	設問番号	設問内容	回答形式	回答選択	
1	貴社の必要な業種に1つ✓を付けてください。	単一	農林水産業 製造業 建設業 卸売・小売業 運輸・通信業 サービス業 宿泊・飲食業 医療・福祉 その他	×	—	継続(前回同様)	1	貴社の必要な業種に1つ✓を付けてください。	単一	農林水産業 製造業 建設業 卸売・小売業 運輸・通信業 サービス業 宿泊・飲食業 医療・福祉 その他	
2	貴社の従業員数(非正規社員を含む)に1つ✓を付けてください。	単一	10人以下 11~29人 30~49人 50~99人 100~299人 300~499人 500~999人 1,000人以上	×	—	継続(前回同様)	2	貴社の従業員数(非正規社員を含む)に1つ✓を付けてください。	単一	10人以下 11~29人 30~49人 50~99人 100~299人 300~499人 500~999人 1,000人以上	
3	貴社の女性従業員比率に1つ✓を付けてください。	単一	19%以下 20~29% 30~39% 40~49% 50~59% 60~69% 70~79% 80%以上	×	—	継続(前回同様)	3	貴社の女性従業員比率に1つ✓を付けてください。	単一	19%以下 20~29% 30~39% 40~49% 50~59% 60~69% 70~79% 80%以上	
4	貴社の50歳以上の従業員比率に1つ✓を付けてください。	単一	10%以下 11~19% 20~29% 30~39% 40~49% 50%以上	×	—	継続(前回同様)	4	貴社の50歳以上の従業員比率に1つ✓を付けてください。	単一	10%以下 11~19% 20~29% 30~39% 40~49% 50%以上	
5	貴社が加入する被用者保険に1つ✓を付けてください。	単一	全国健康保険協会健康保険(協会けんぽ) 組合費健康保険(組合けんぽ) 共済組合 未加入(従業員ごと国民健康保険に加入してもらっている)	×	—	継続(前回同様)	5	貴社が加入する被用者保険に1つ✓を付けてください。	単一	全国健康保険協会健康保険(協会けんぽ) 組合費健康保険(組合けんぽ) 共済組合 未加入(従業員ごと国民健康保険に加入してもらっている)	
6	貴社では、昨年度、健康診断を実施していますか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	社内で実施している 勤務に応じて社内・社外に別れる 昨年度は実施しなかった	×	—	継続(前回同様)	6	貴社では、昨年度、健康診断を実施していますか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	社内で実施している 社外で実施している 勤務に応じて社内・社外に別れる 昨年度は実施しなかった	
7	貴社の健康診断では、歯科に関する健診(歯科健診)を実施していますか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	実施している 実施していない	○	—	継続(前回同様)	7	貴社の健康診断では、歯科に関する健診(歯科健診)を実施していますか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	実施している 実施していない	
8	貴社の健康診断や歯科健診は、勤務時間中に受診できますか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	全従業員一斉に勤務時間中に受診させている 一斉に受診できないので、調整して個別に勤務時間中に受診させている 各層に有給休暇を取得して、都合の良い時間で受診させている その他( )	×	—	継続(前回同様)	8	貴社の健康診断や歯科健診は、勤務時間中に受診できますか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	全従業員一斉に勤務時間中に受診させている 一斉に受診できないので、調整して個別に勤務時間中に受診させている 各層に有給休暇を取得して、都合の良い時間で受診させている その他( )	
9	貴社では、従業員の歯の病気に1つ✓を付けてください。	単一	歯科健診を受診している 健康診断時に自己申告させて把握している 健康診断への参加がなかった時には聞き取りをしている 歯の状況を把握していない	○	従業員の歯の病気に1つ✓を付けてください。	継続(前回同様)	9	貴社では、従業員の歯の病気に1つ✓を付けてください。	単一	歯科健診を受診させて把握している 健康診断時に自己申告させて把握している 健康診断への参加がなかった時には聞き取りをしている 歯の状況を把握していない	
10	静岡市では、40歳以上の市民を対象に低額で受けられる「歯病検診」を行っています。貴社では、従業員に対して、この歯病検診を告知・周知したことはありますか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	ある ない	×	—	継続(前回同様)	10	静岡市では、40歳以上の市民を対象に低額で受けられる「歯病検診」を行っています。貴社では、従業員に対して、この歯病検診を告知・周知したことはありますか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	ある ない	
11	貴社では、決まった時間に全従業員が体操(ラジオ体操、朝礼を兼ねるための体操や発声練習など)をしていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	毎日 週に3~4回 週に1~2回 月に1回 していない	×	—	継続(前回同様)	11	貴社では、決まった時間に全従業員が体操(ラジオ体操、朝礼を兼ねるための体操や発声練習など)をしていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	毎日 週に3~4回 週に1~2回 月に1回 していない	
12	貴社では、上司や同僚による健康状態のチェック(問診や測定器具を使ったチェックなど)をしていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	毎日 週に3~4回 週に1~2回 月に1回 していない	×	—	継続(前回同様)	12	貴社では、上司や同僚による健康状態のチェック(問診や測定器具を使ったチェックなど)をしていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	毎日 週に3~4回 週に1~2回 月に1回 していない	
13	貴社では、食事の後に歯みがきをしている人は従業員全体の何割くらいですか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	100% 80~99% 60~79% 40~59% 20~39% 19%以下	×	—	継続(前回同様)	13	貴社では、食事の後に歯みがきをしている人は従業員全体の何割くらいですか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	100% 80~99% 60~79% 40~59% 20~39% 19%以下	
14	貴社では、従業員に昼食後の歯みがきを推奨(社内や社外の定額制の歯磨き機、手洗い場への貼紙など)をしていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	推奨している 推奨していない	×	—	継続(前回同様)	14	貴社では、従業員に昼食後の歯みがきを推奨(社内や社外の定額制の歯磨き機、手洗い場への貼紙など)をしていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	推奨している 推奨していない	
15	貴社では、従業員に正しい歯みがき方法を、どのくらいの頻度で指導していますか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	1年に複数回以上 1年に1回 2~3年に1回 4年以上実施していない	×	—	継続(前回同様)	15	貴社では、従業員に正しい歯みがき方法を、どのくらいの頻度で指導していますか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	1年に複数回以上 1年に1回 2~3年に1回 4年以上実施していない	
16	貴社には、従業員が歯みがきできる場所が確保されていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	場所も蛇口数も確保できている 場所も確保できているが、蛇口数が足りない (他社と共用のため)場所は確保できていない その他( )	×	—	継続(前回同様)	16	貴社には、従業員が歯みがきできる場所が確保されていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	場所も蛇口数も確保できている 場所も確保できているが、蛇口数が足りない (他社と共用のため)場所は確保できていない その他( )	
17	貴社の経営理念や経営方針に従業員の健康に関する記述はありますか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	ある ない	×	—	継続(前回同様)	17	貴社の経営理念や経営方針に従業員の健康に関する記述はありますか。該当するものに1つ✓を付けてください。	単一	ある ない	
18	貴社では従業員の健康のために、どんな取り組みをしていますか。該当するものに全部✓を付けてください。	複数	社内に健康関連のポスターを掲示 従業員に健康関連のチラシを配布 社内に体重計を設置 社内に血圧計を設置 従業員に歩数計を配布(貸与) 社内に運動場や体育館などを確保 社内で運動会を実施 社内でイベントを実施 社内でゴルフ大会を実施 社内でボウリング大会を実施 社内でスポーツイベントを実施 社内で運動系サークル活動を許可 スポーツクラブの利用が無料 社員食堂で健康メニューの提供 提携飲食店で健康メニューが利用可能 体重計等の購入費用を補助 従業員自費での購入費用を補助 通勤用自転車等の購入費用を補助 勤務時間内で体操を実施 その他( )	×	—	継続(前回同様)	18	貴社では従業員の健康のために、どんな取り組みをしていますか。該当するものに全部✓を付けてください。	複数	社内に健康関連のポスターを掲示 従業員に健康関連のチラシを配布 社内に体重計を設置 社内に血圧計を設置 従業員に歩数計を配布(貸与) 社内に運動場や体育館などを確保 社内で運動会を実施 社内でイベントを実施 社内でゴルフ大会を実施 社内でボウリング大会を実施 社内でスポーツイベントを実施 社内で運動系サークル活動を許可 スポーツクラブの利用が無料 社員食堂で健康メニューの提供 提携飲食店で健康メニューが利用可能 体重計等の購入費用を補助 従業員自費での購入費用を補助 通勤用自転車等の購入費用を補助 勤務時間内で体操を実施 その他( )	
19	貴社では、経済産業省が推奨している「健康経営」に取り組んでいますか。該当するものに1つ✓を付けてください。 ※「健康経営」とは、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践すること。企業理念に基づき、従業員等への健康投資を行うことで、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化をもたらす、結果的に業績向上や株価向上につながることを期待されている。	単一	考え方を理解して、取り組んでいる 考え方を理解しているが、取り組んでいない 考え方を知らなかった	×	—	継続(前回同様)	19	貴社では、経済産業省が推奨している「健康経営」に取り組んでいますか。該当するものに1つ✓を付けてください。 ※「健康経営」とは、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践すること。企業理念に基づき、従業員等への健康投資を行うことで、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化をもたらす、結果的に業績向上や株価向上につながることを期待されている。	単一	考え方を理解して、取り組んでいる 考え方を理解しているが、取り組んでいない 考え方を知らなかった	
20	歯科医師や歯科衛生士が事業所に向向き、歯と口に関する相談や健康づくりについて周知する機会があるとしたら利用したいと思いませんか。該当するものに全部✓を付けてください。	複数	無料なら利用したい 業務と調整がつけば利用したい 実施する場所が確保できれば利用したい 利用したいと思わない	×	—	継続(前回同様)	20	歯科医師や歯科衛生士が事業所に向向き、歯と口に関する相談や健康づくりについて周知する機会があるとしたら利用したいと思いませんか。該当するものに全部✓を付けてください。	複数	無料なら利用したい 業務と調整がつけば利用したい 実施する場所が確保できれば利用したい 利用したいと思わない	
21	本市が取り組む、歯や口の健康づくりについて、普段、感じられていることがあれば、ご自由にお書きください。	自由記載	例、歯や口の健康づくりに関する会社への支援メニューを知りたい。	×	—	継続(前回同様)	21	本市が取り組む、歯や口の健康づくりについて、普段、感じられていることがあれば、ご自由にお書きください。	自由記載	例、歯や口の健康づくりに関する会社への支援メニューを知りたい。 例、ご自由にお書きください。	

静岡市 歯と口に関するアンケート調査  
報告書

令和元年度  
静岡市



## 目 次

<b>静岡市民向け調査</b> . . . . .	1
調査対象先の抽出方法 . . . . .	2
調査方法、集計処理 . . . . .	3
1) アンケート記入者 . . . . .	4
2) 年齢 . . . . .	4
3) 性別 . . . . .	5
4) 居住地 . . . . .	5
5) 過去1年間の歯科受診の有無 . . . . .	6
6) 過去1年間に歯科医院に行った理由・目的 . . . . .	7
7) かかりつけ歯科医の有無 . . . . .	8
8) かかりつけ歯科医がない理由 . . . . .	9
9) 歯科健診を受ける場所 . . . . .	10
10) 歯科健診に行く条件 . . . . .	11
11) 歯科に関する情報の入手先 . . . . .	12
12) 『8020運動』の認知度 . . . . .	13
13) むし歯や歯周病と口臭との関係性の認知度 . . . . .	14
14) 災害時における誤嚥性肺炎のリスクの認知度 . . . . .	15
15) 歯みがきの回数 . . . . .	16
16) 歯みがき時の出血の有無 . . . . .	17
17) 歯間清掃用補助用具の使用状況 . . . . .	18
18) フッ化物応用の使用状況 . . . . .	19
19) 家族や友人との食事摂取状況 . . . . .	20
20) 非常持ち出し袋に口腔衛生用品が入っている状況の有無 . . . . .	21
21) 歯みがきをする方法 . . . . .	22
22) 仕上げみがきをする頻度 . . . . .	23
23) 歯科医院に行くタイミング . . . . .	24
24) 園や学校での歯みがき状況 . . . . .	25
25) 『歯周病』や『歯肉炎』の診断状況 . . . . .	26
26) 静岡市歯周病検診の認知度 . . . . .	27
27) 静岡市歯周病検診を受けない理由 . . . . .	28
28) むせ予防・だ液分泌促進のための体操の認知度 . . . . .	29
29) 歯周病と全身の病気との関係性の認知度 . . . . .	30
30) 歯・口の健康と誤嚥性肺炎・認知症との関係性の認知度 . . . . .	31
31) オーラルフレイルの認知度 . . . . .	32
32) 訪問歯科診療の認知度 . . . . .	33
33) 要介護度の認定の有無 . . . . .	34
34) かんて食べる時の状況 . . . . .	35
市民向け調査票 . . . . .	37

<b>静岡市内事業所向け調査</b>	45
調査対象先の抽出方法	46
調査方法、集計処理	47
1) 業種	48
2) 従業員数	49
3) 女性従業員比率	50
4) 50歳以上の従業員比率	51
5) 被用者保険の種類	52
6) 健康診断の実施の有無	53
7) 健康診断における歯科健診の実施の有無	54
8) 健康診断や歯科健診の受診時間の状況	55
9) 従業員の歯の病気についての把握状況	56
10) 静岡市歯周病検診の告知・周知の状況	57
11) 定刻での体操の実施状況	58
12) 上司や同僚による健康状態のチェックの有無	59
13) 従業員の歯みがきの実施状況	60
14) 昼食後の歯みがき推奨の実施の有無	61
15) 正しい歯みがき方法の指導の有無	62
16) 歯みがきをする場所の状況	63
17) 経営理念や経営方針の健康に関する記述の有無	64
18) 健康に関する取組み状況	65
19) 健康経営の実施状況	66
20) 歯科医師や歯科衛生士による相談・講座の希望の有無	67
事業所向け調査票	69

# 静岡市民向け調査

## 【調査対象先の抽出方法】

- ① 本調査では、静岡市の住民基本台帳から2019年3月31日時点の1歳以上の日本人登録者68万5,620人を4つの年齢層と3つの行政区で構成比を算出した（図表1）。
- ② 調査サンプル4,500人を市内3区の年齢構成に合わせて抽出した（図表2）。
- ③ 健康づくり推進課の過去の同種調査の回答状況などを考慮して、年齢層別・地域別ごとに、基本抽出数を補正して最終抽出数を決定した（図表3）。

図表1 静岡市民の3区別 年齢層の比率

年齢区分	葵区	駿河区	清水区	市内合計
子ども期（1～11歳）	3.5%	3.0%	3.0%	9.5%
思春期（12～19歳）	2.2%	1.9%	2.1%	6.2%
成人期（20～64歳）	19.3%	16.8%	17.7%	53.8%
高齢期（65歳以上）	11.2%	8.2%	11.1%	30.5%
合計	36.2%	29.9%	33.9%	100.0%

図表2 静岡市民の3区別・年齢層別の基本抽出数

年齢区分	葵区	駿河区	清水区	市内合計
子ども期（1～11歳）	158人	135人	135人	428人
思春期（12～19歳）	99人	86人	95人	280人
成人期（20～64歳）	869人	756人	797人	2,422人
高齢期（65歳以上）	504人	369人	500人	1,373人
合計	1,630人	1,346人	1,527人	4,503人

図表3 過去の調査実績等に基づく抽出数調整後の最終抽出数

年齢区分	葵区	駿河区	清水区	市内合計数
子ども期（1～11歳）	▼ 8人 150人	▼ 5人 130人	▼ 5人 130人	▼ 18人 410人
思春期（12～19歳）	+ 51人 150人	+ 44人 130人	+ 35人 150人	+ 130人 430人
成人期（20～64歳）	+ 11人 880人	+ 14人 770人	+ 13人 810人	+ 38人 2,460人
高齢期（65歳以上）	▼ 54人 450人	▼ 69人 300人	▼ 50人 450人	▼ 173人 1,200人
合計	± 0人 1,630人	▼ 16人 1,330人	+ 13人 1,540人	▼ 3人 4,500人

## 【調査方法】

- ① 抽出した4,500人の市民に対して、8月5日に郵送でアンケート調査票を発送した。回答期限を8月21日に設定したが、10月末まで回答があった1,739人で集計作業を行った（図表4）。
- ② 年齢層別回収率は、抽出時と回答時の年齢区分が一部異なるため、思春期と成人期は推定値で算出した（図表5）。

図表4 アンケート発送・回収状況

発送数	4,500人
回収数	1,739人
回収率	38.6%

図表5 年齢層別回収率（思春期と成人期は推定値）

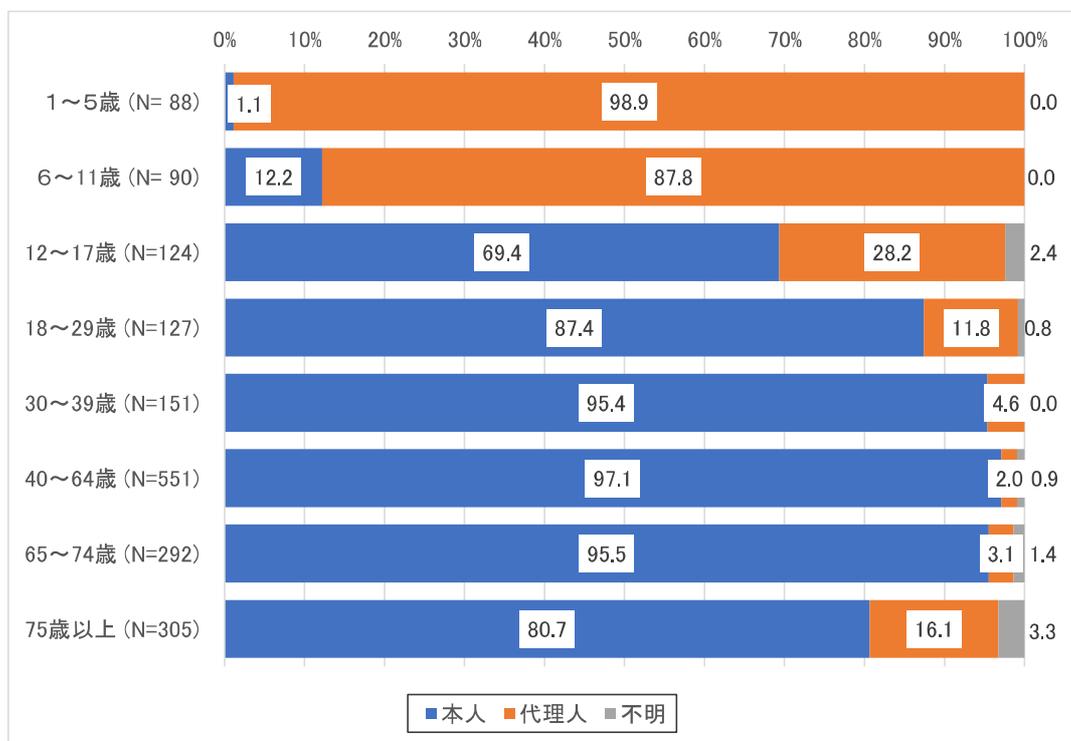
年齢層	抽出数	有効回答数	回収率
子ども期（1～11歳）	410	178	43.4%
思春期（12～19歳）	430	145	33.8%
成人期（20～64歳）	2,460	808	32.8%
高齢期（65歳以上）	1,200	597	49.8%
計	4,500	1,728	38.4%

## 【集計処理】

- ① 当該質問に年齢等で回答権がない場合には、記入があっても「非該当」として取り扱った。
- ② “回答が未記入”、もしくは“指定回答数を上回る回答”があった場合には、すべてを「不明」として取り扱った。
- ③ 「非該当」は、有効回答として認めない。
- ④ 回答比率の合計は、端数処理（四捨五入）している関係で、表示した比率の単純合計の値が100%にならない場合がある。  
(例. 選択肢3つの質問に3人が別々の選択肢を選んだ場合、各項目の比率33.3%、合計値は100.0%となる)
- ⑤ 2ページの「年齢区分」をさらに細分化した 2) の回答肢により、層別分析を行った。

## 1) アンケート記入者

アンケートの記入者を教えてください（単数回答）



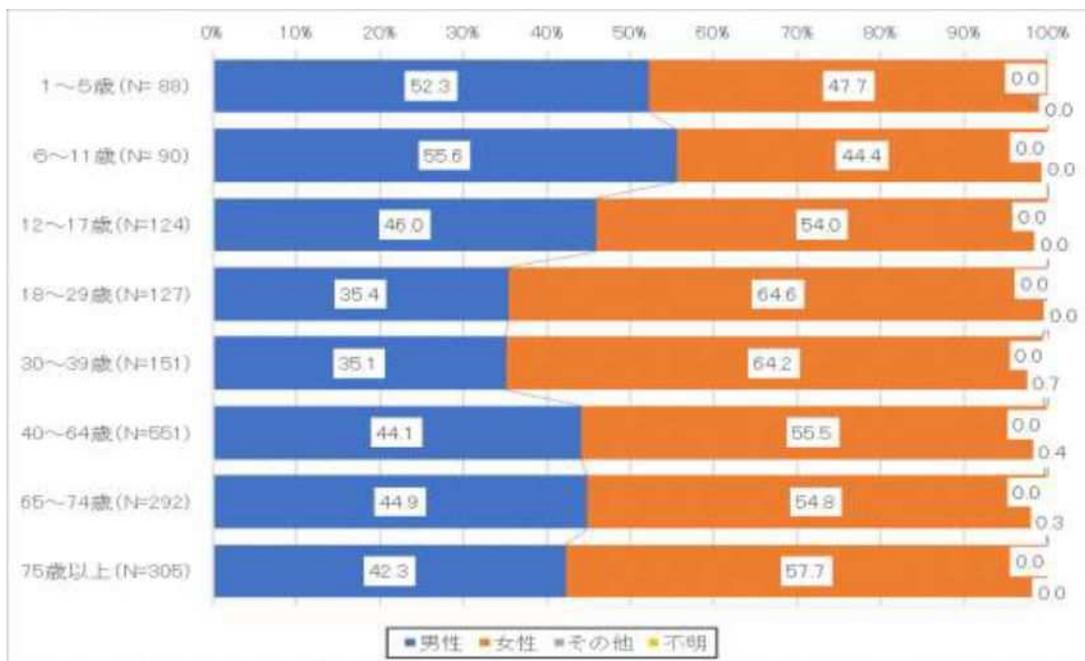
## 2) 年齢

2019年4月1日時点の年齢を教えてください（単数回答）

年齢区分	回答数
1～5歳（未就学児）	88
6～11歳（小学生）	90
12～17歳（中学生・高校生）	124
18～29歳	127
30～39歳	151
40～64歳	551
65～74歳	292
75歳以上	305
小計	1,728
不明	11
非該当	0
合計	1,739

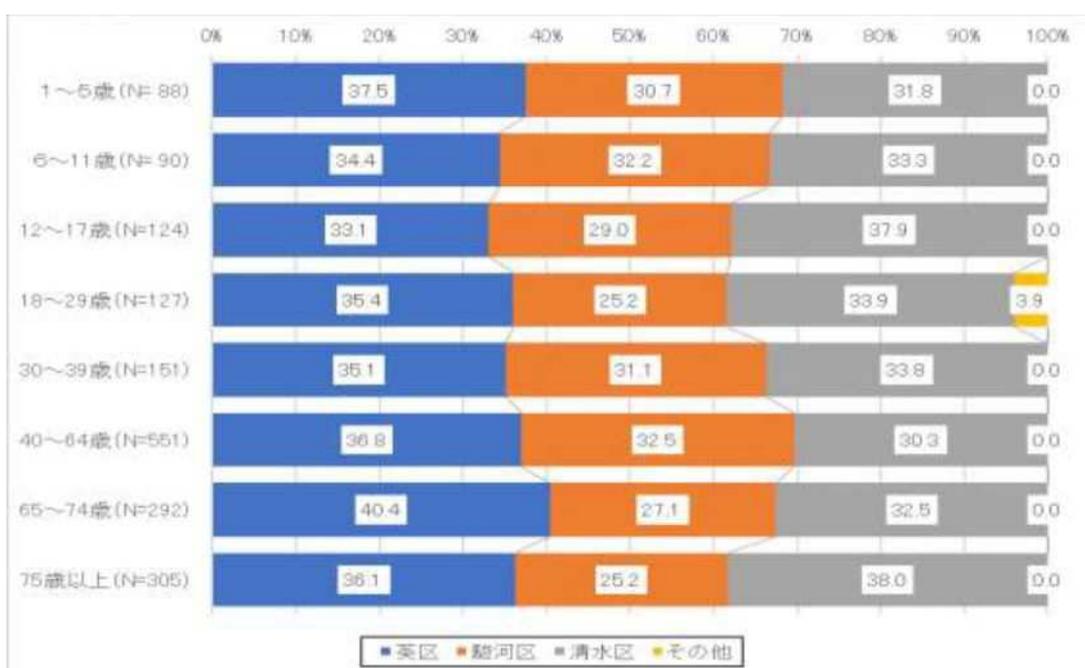
### 3) 性別

性別を教えてください(単数回答)



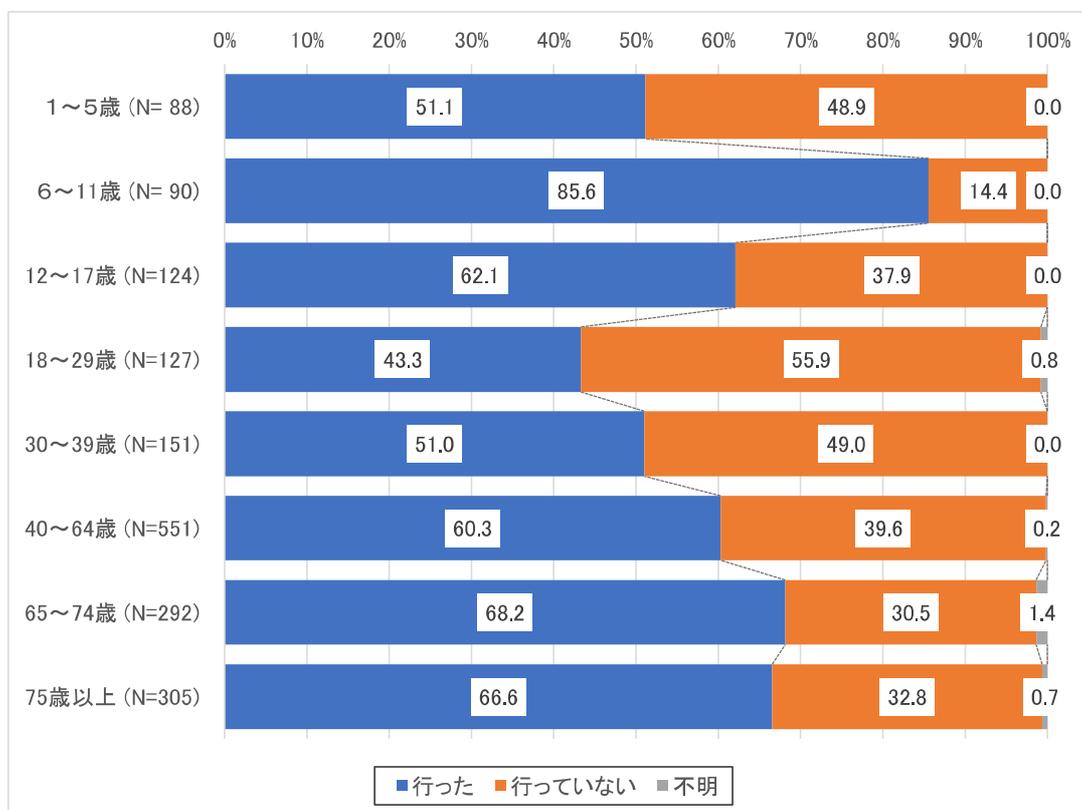
### 4) 居住地

居住地を教えてください(単数回答)



## 5) 過去1年間の歯科受診の有無

2018年7月～2019年6月の間で、歯科医院に行きましたか（単数回答）

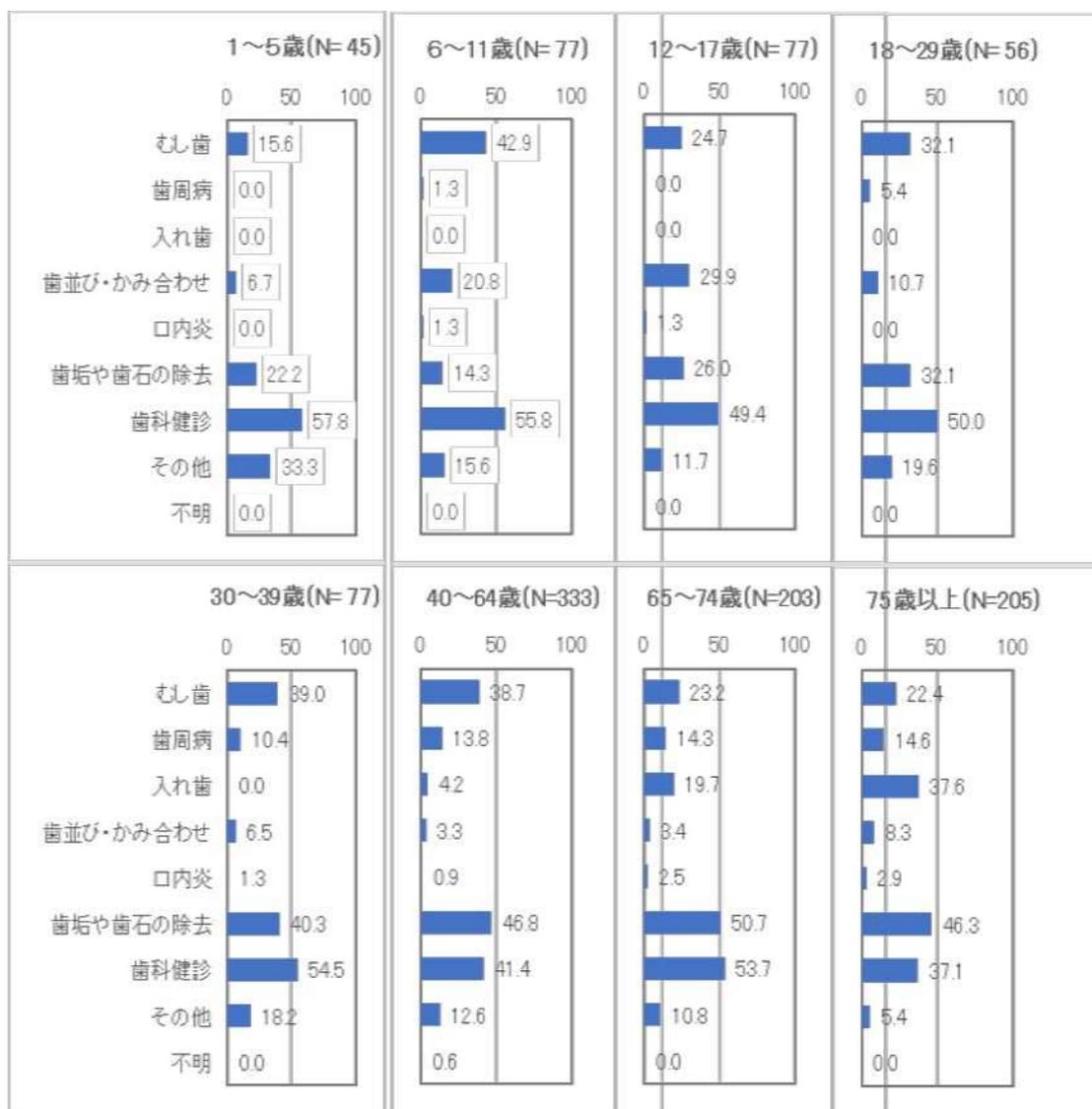


過去1年間に歯科医院へ「行った」と回答した人の割合は、“6～11歳”が85.6%で最も高く、“18～29歳”が43.3%で最も低かった。

## 6) 過去1年間に歯科医院に行った理由・目的

前問(問5)において「行った」を選んだ人のみ回答

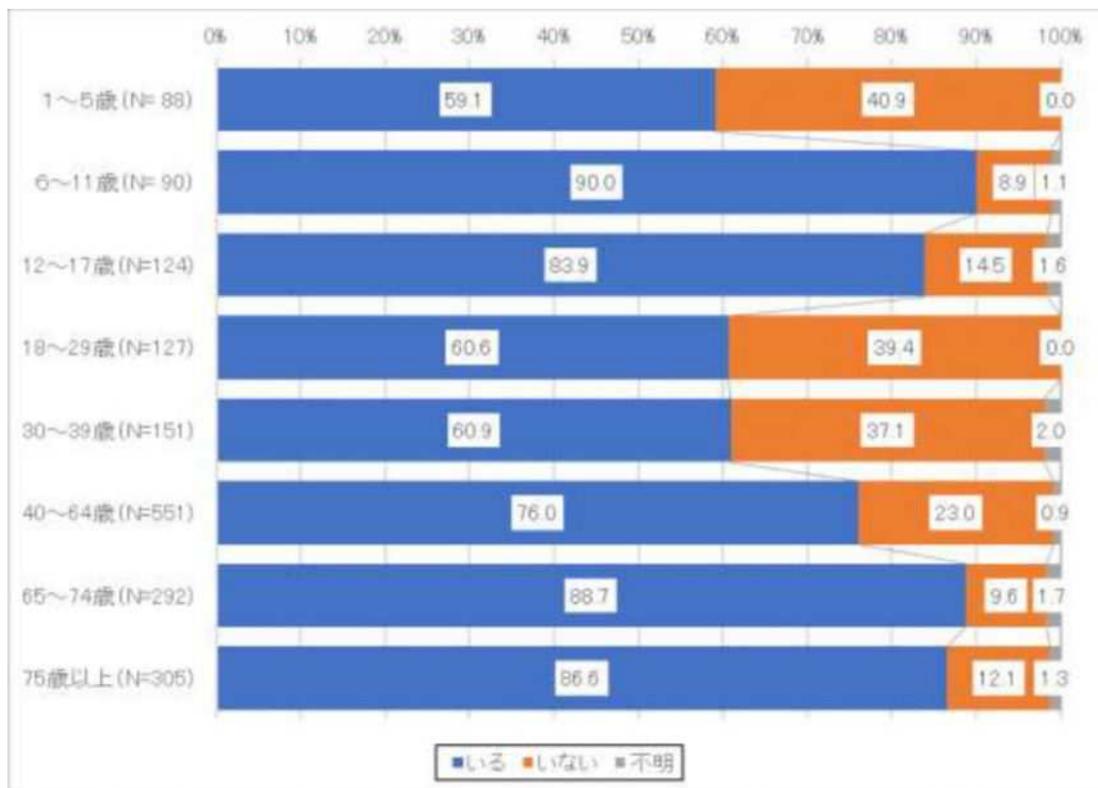
歯科医院に行った理由あるいは目的である病名や治療、健診などを教えてください  
(複数回答)



過去1年間に歯科医院へ行った理由・目的は、“40~64歳” “75歳以上” 以外の年齢層では、「歯科健診」と回答した割合が最も高かった。

## 7) かかりつけ歯科医の有無

歯や口に関して治療や相談ができる歯科医（いわゆる『かかりつけ歯科医』）がいますか（単数回答）

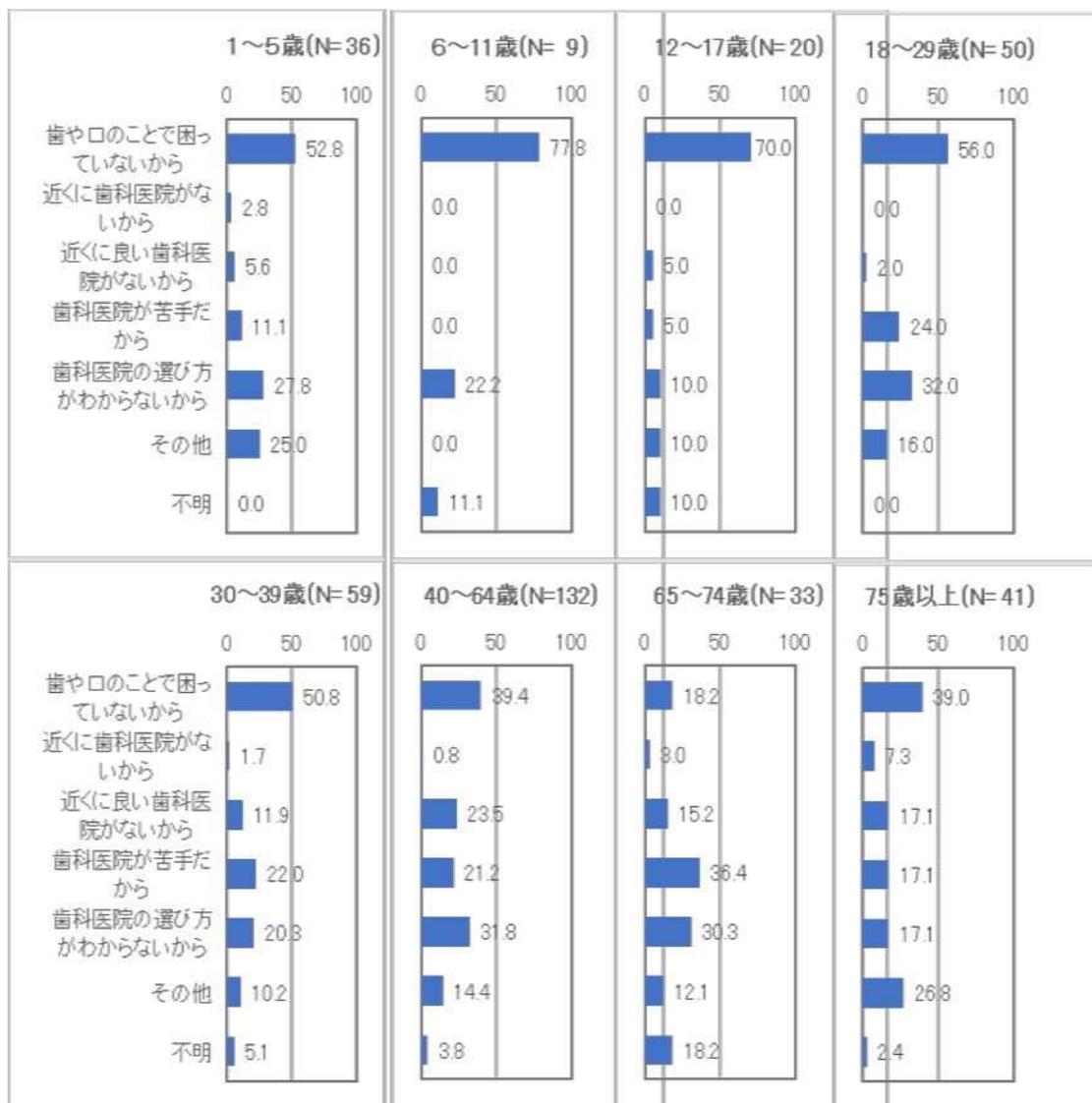


かかりつけ歯科医が「いる」と回答した人の割合は、“6～11歳”が90.0%で最も高く、“18～29歳”“30～39歳”では60%台だった。

## 8) かかりつけ歯科医がない理由

前問（問7）において「いない」を選んだ人のみ回答

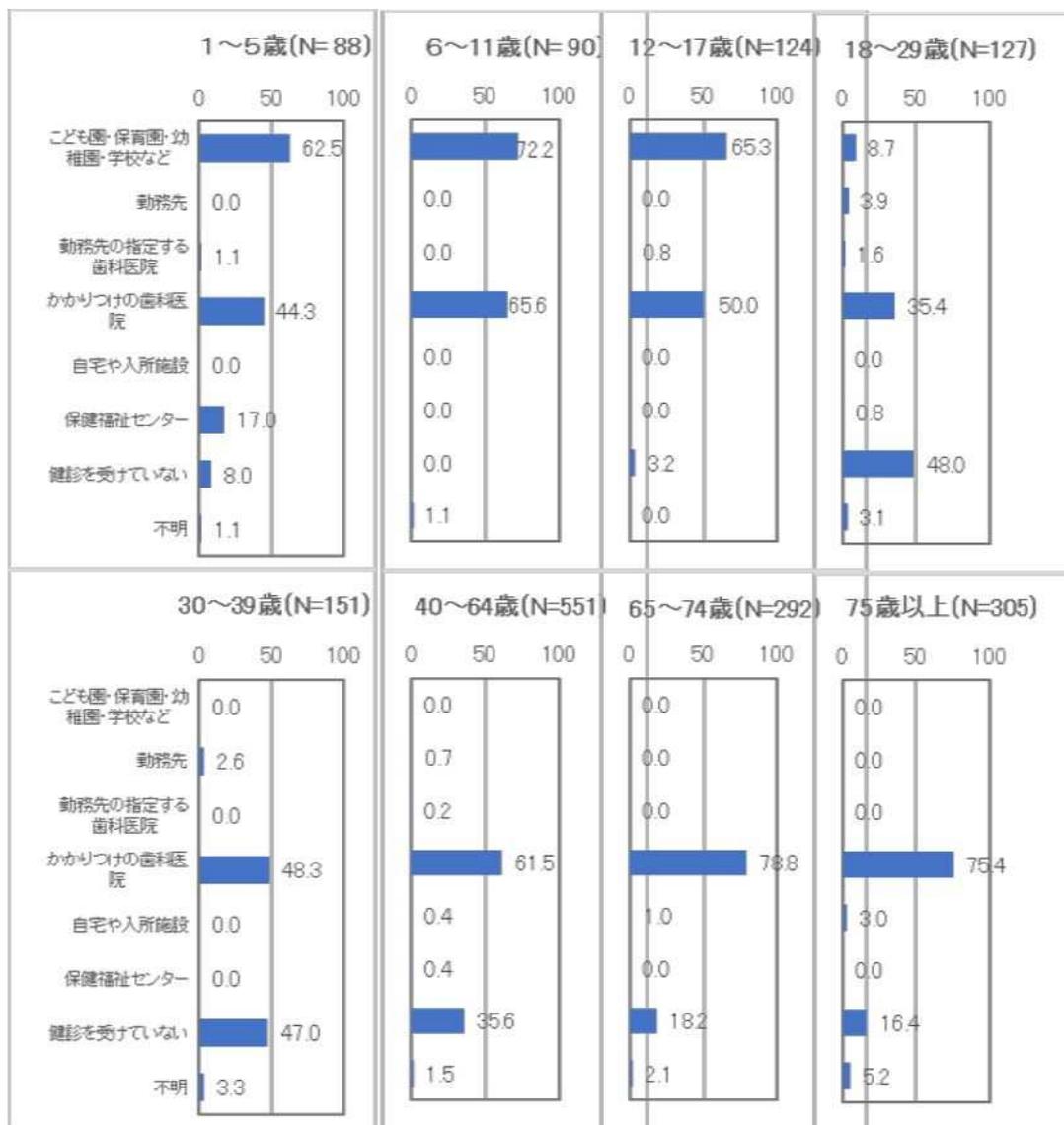
『かかりつけ歯科医』がない理由を教えてください（複数回答）



かかりつけ歯科医がないと回答した人の割合が60%台の“18～29歳” “30～39歳”では、「歯や口のことで困っていないから」の他に、「歯科医院が苦手だから」「歯科医院の選び方がわからないから」などと回答した割合が高かった。

## 9) 歯科健診を受ける場所

歯や口の状態をチェックする『歯科健診』をどこで受けていますか（複数回答）

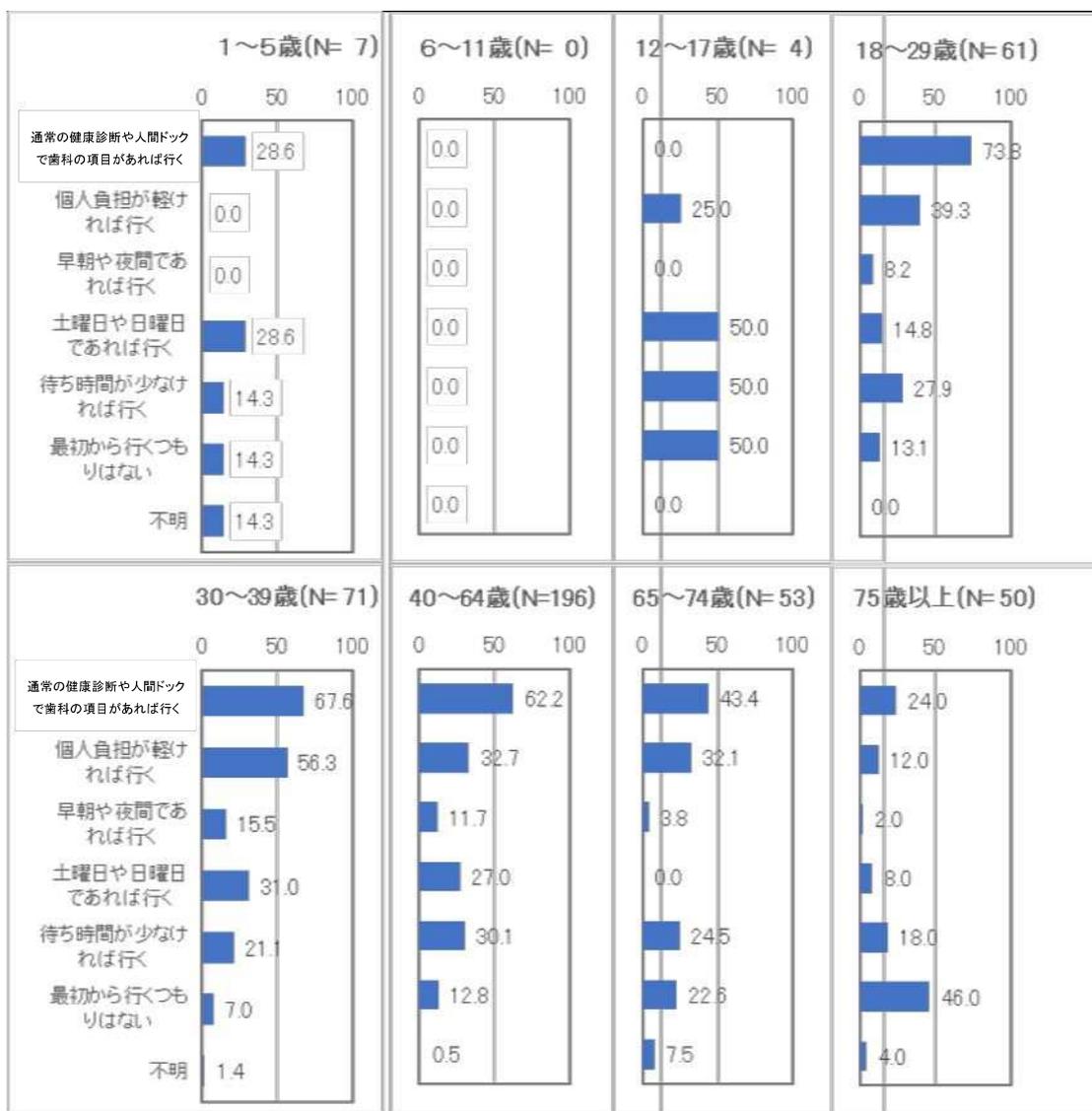


歯科健診を受ける場所として、“1～5歳” “6～11歳” “12～17歳” では、「子ども園・保育園・幼稚園・学校など」と回答した割合が最も高く、“40～64歳” “65～74歳” “75歳以上” では、「かかりつけの歯科医院」と回答した割合が最も高かった。

“18～29歳” “30～39歳” では、他の年齢層に比べて「健診を受けていない」と回答した割合が高かった。

## 10) 歯科健診に行く条件

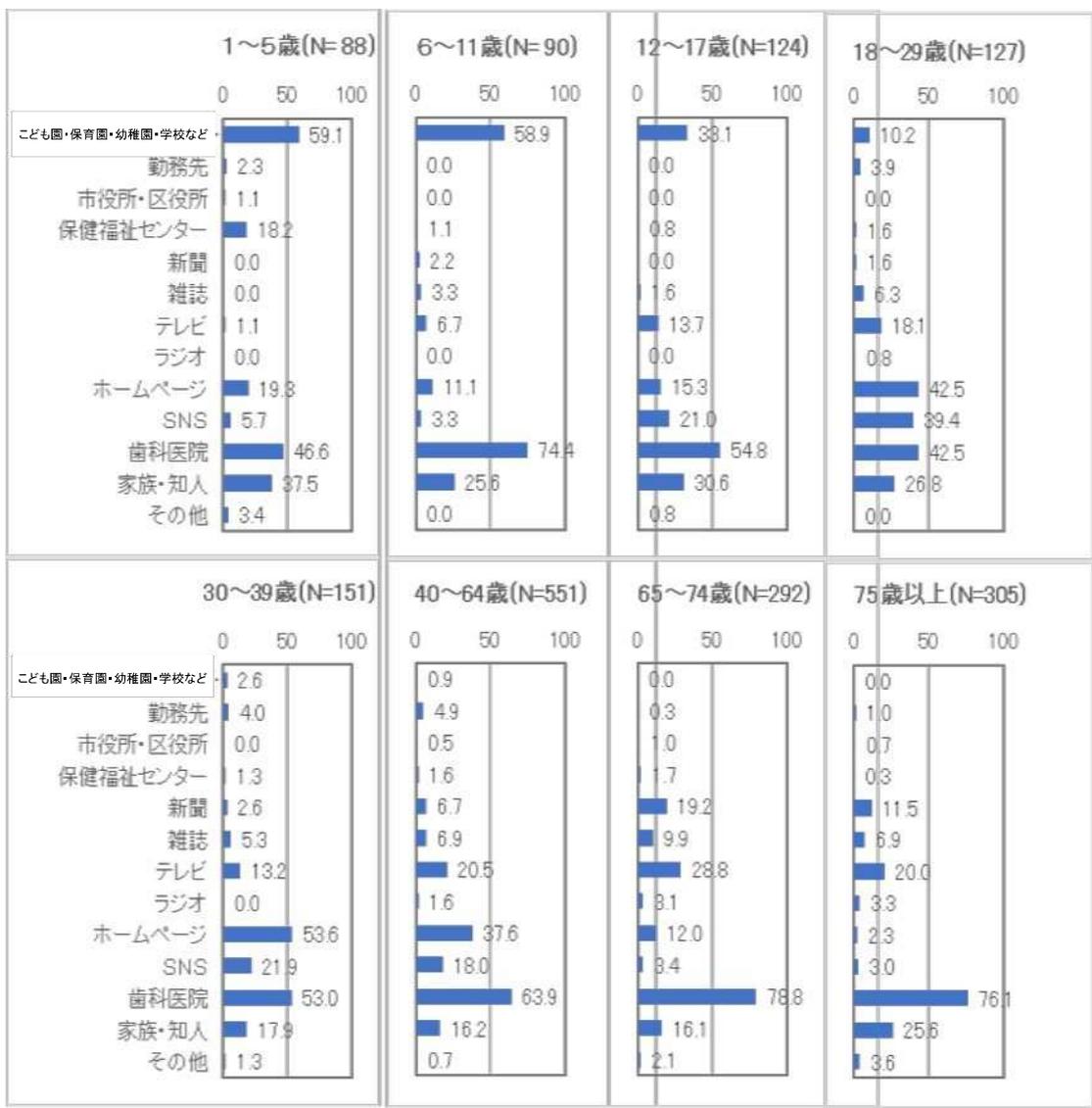
前問（問9）において「健診を受けていない」を選んだ人のみ回答  
 どのような条件が整えば、歯科健診に行こうと思いますか（複数回答）



歯科健診に行く条件として、「歯科健診を受けていない」と回答した人の割合が高かった“18~29歳”“30~39歳”では、「通常健康診断や人間ドックで歯科の項目があれば行く」と回答した割合が最も高く、次いで「個人負担が軽ければ行く」「土曜日や日曜日であれば行く」「待ち時間が少なければ行く」などとなっていた。

## 11) 歯科に関する情報の入手先

『歯みがき』や『むし歯』に関することを知りたい時、どこから情報を入手しますか  
(複数回答)

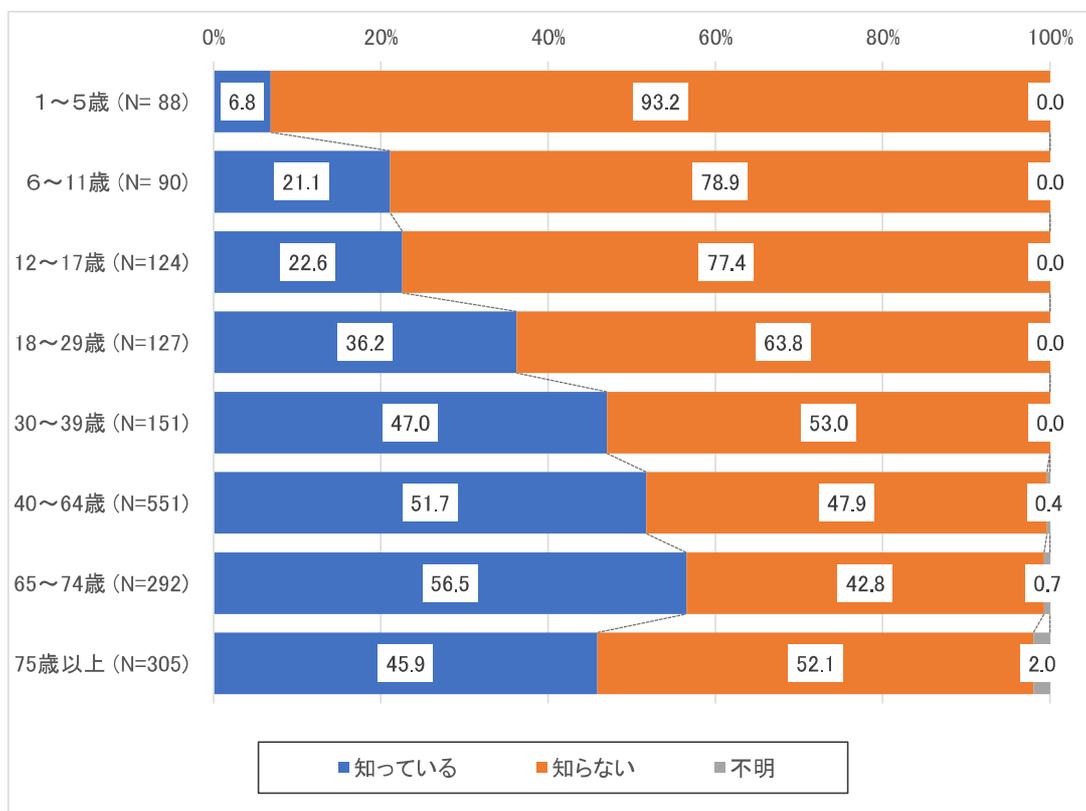


情報の入手先として、“1～5歳” “30～39歳”を除いて、「歯科医院」と回答した割合が最も高かった。

かかりつけ歯科医がないと回答した人の割合が60%台の“18～29歳” “30～39歳”では、「歯科医院」の他に「ホームページ」「SNS」と回答した割合が高かった。

## 12) 『8020運動』の認知度

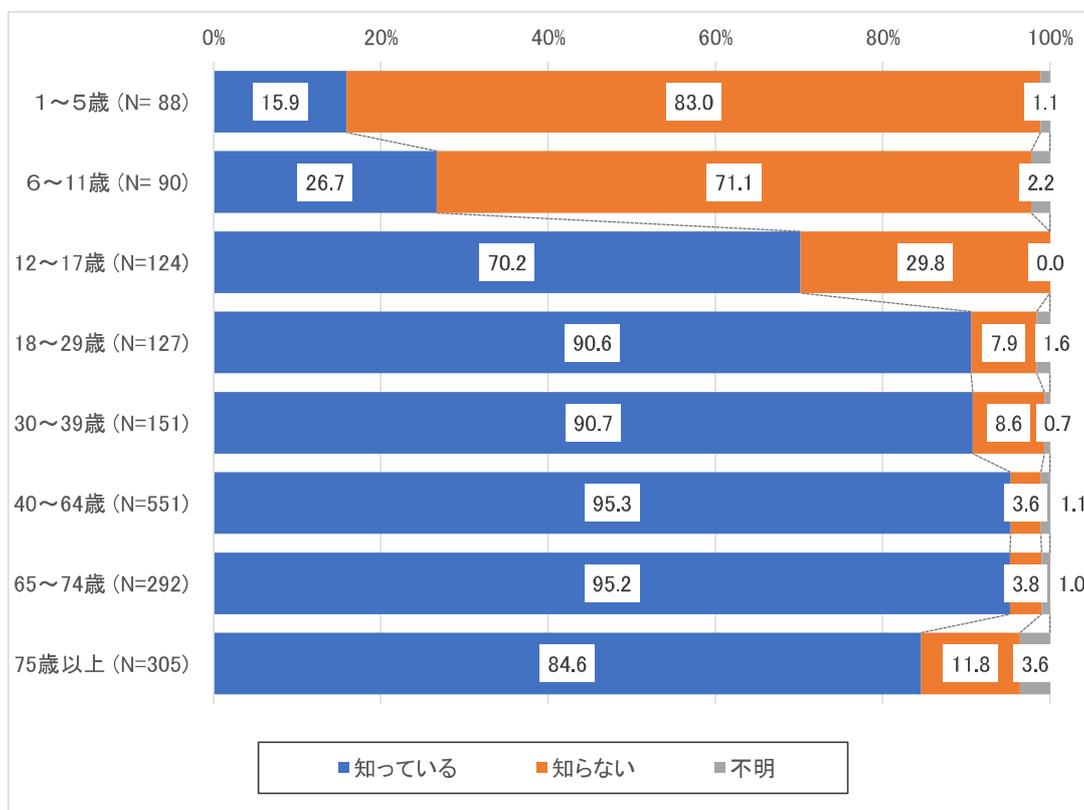
歯と口に関する『8020運動』<sup>はちまるにいます</sup>という取り組みを知っていますか（単数回答）



『8020運動』を「知っている」と回答した人の割合は、“75歳以上”を除いて、年齢層が上がるほど、高かった。

### 13) むし歯や歯周病と口臭との関係性の認知度

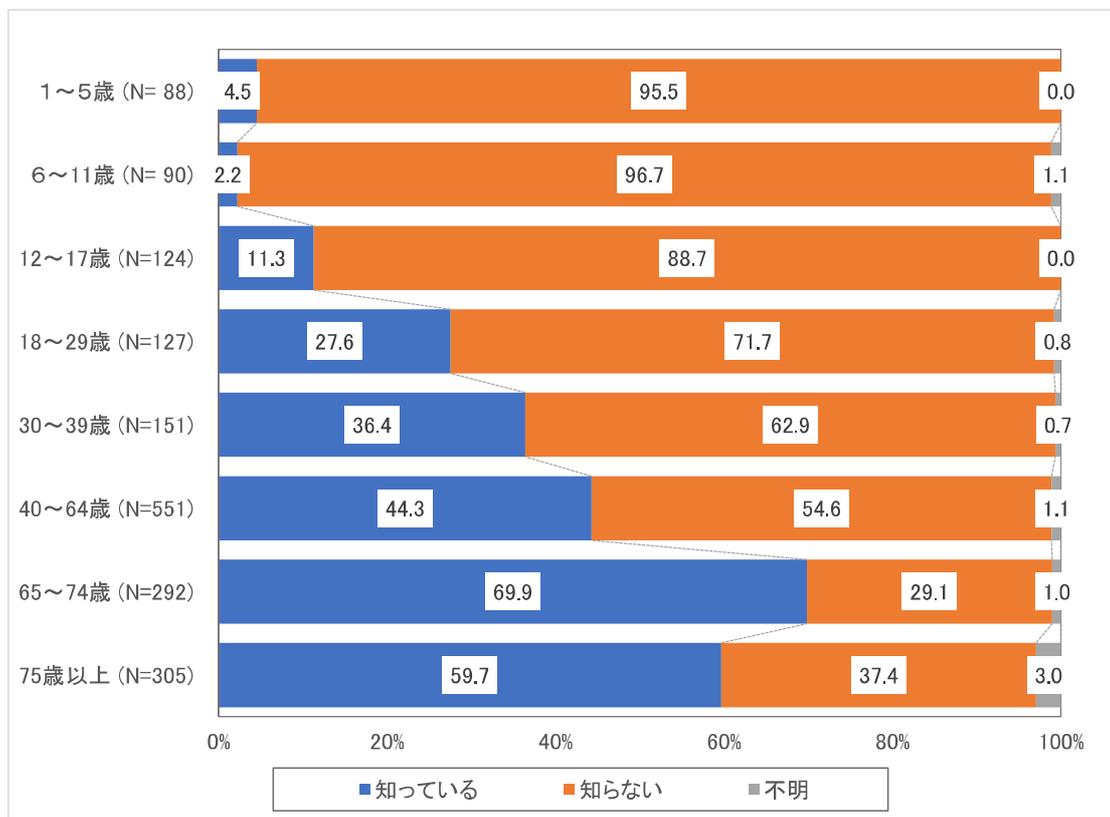
『むし歯や歯周病が口臭の原因になる場合がある』ことを知っていますか（単数回答）



口臭の原因になる場合があることを「知っている」と回答した人の割合は、“40～64歳”が95.3%、“65～74歳”が95.2%で、他の年齢層より高かった。

#### 14) 災害時における誤嚥性肺炎のリスクの認知度

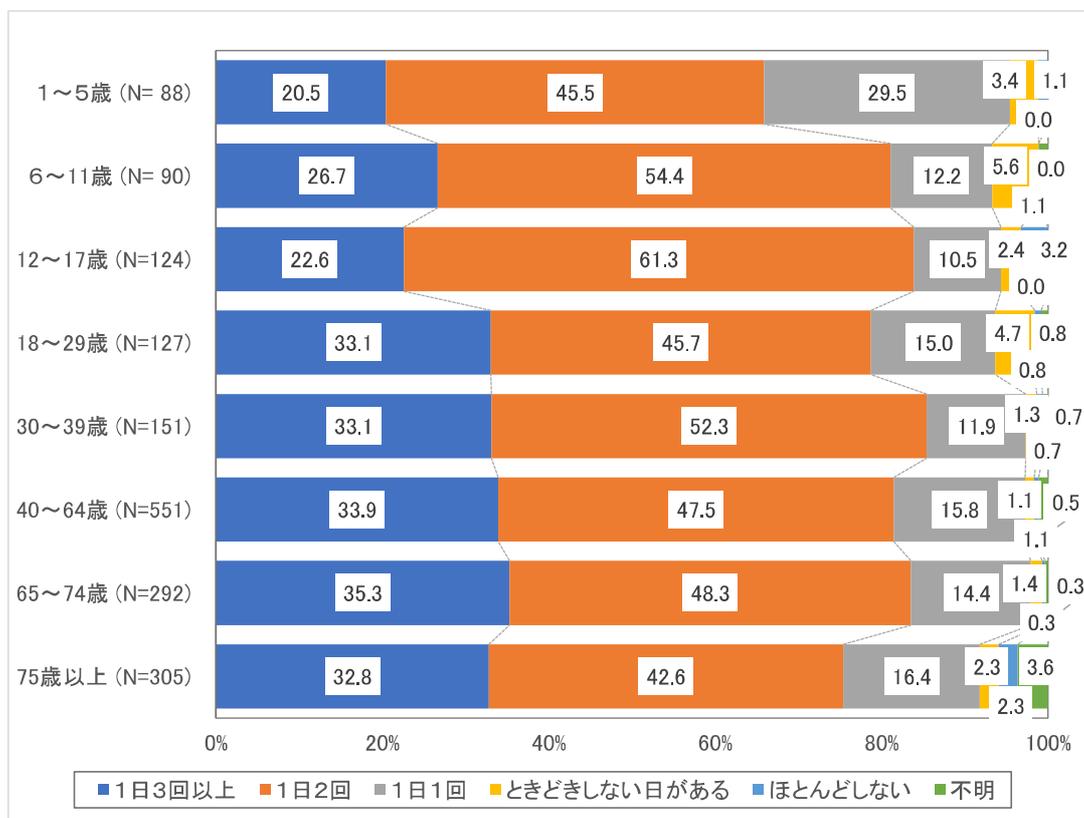
「災害時に十分な口腔ケアができないと誤嚥(ごえん)性肺炎になる可能性がある」ことを知っていますか (単数回答)



誤嚥性肺炎になる可能性があることを「知っている」と回答した人の割合は、“65～74歳”が69.9%で最も高かった。

## 15) 歯みがきの回数

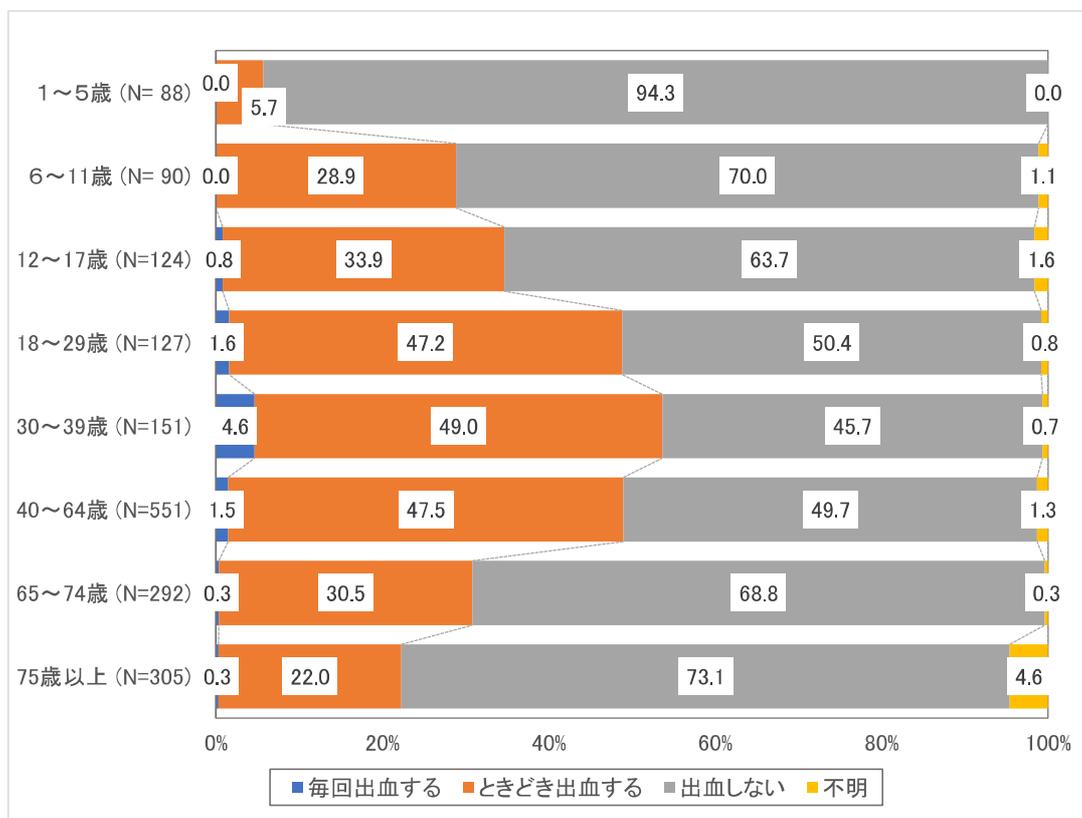
歯みがきをしますか（単数回答）



いずれの年齢層においても、「1日2回」と回答した人の割合が最も高かった。

## 16) 歯みがき時の出血の有無

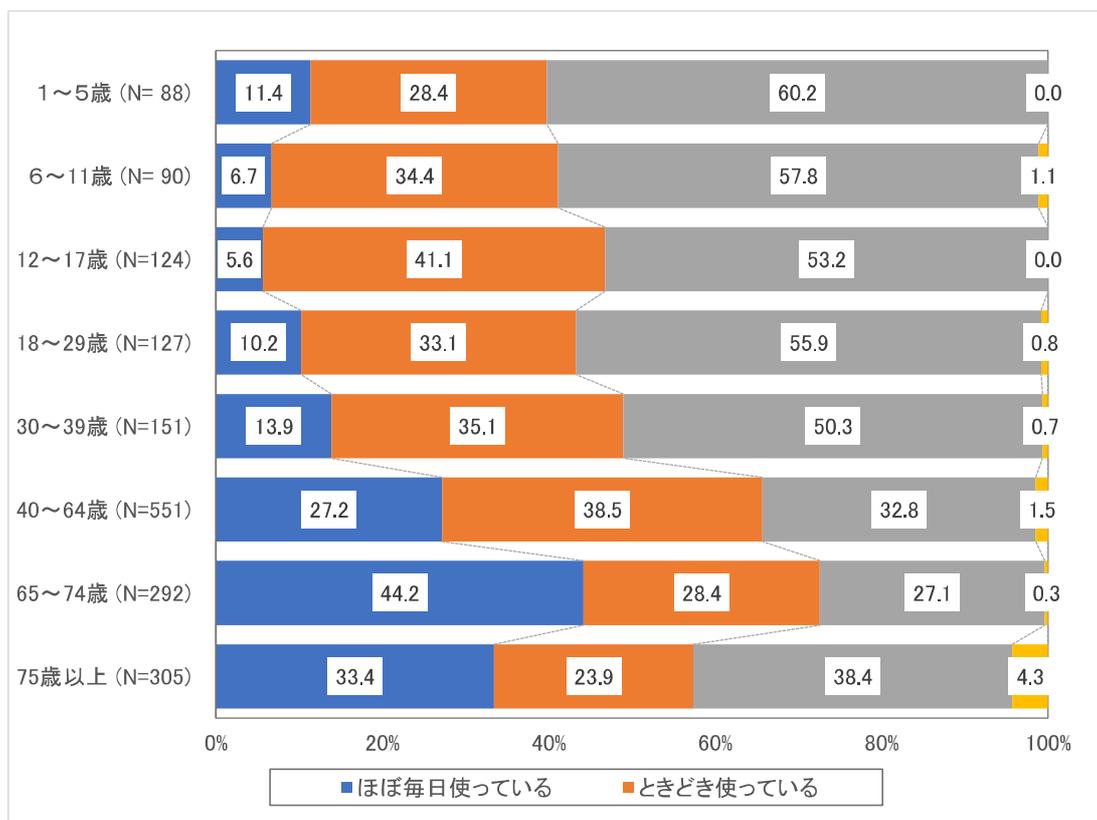
歯みがきをしていて出血することはありますか (単数回答)



“18～29歳” “30～39歳” “40～64歳”で「毎回出血する」「ときどき出血する」と回答した人の割合が他の年齢層より高かった。

## 17) 歯間清掃用補助用具の使用状況

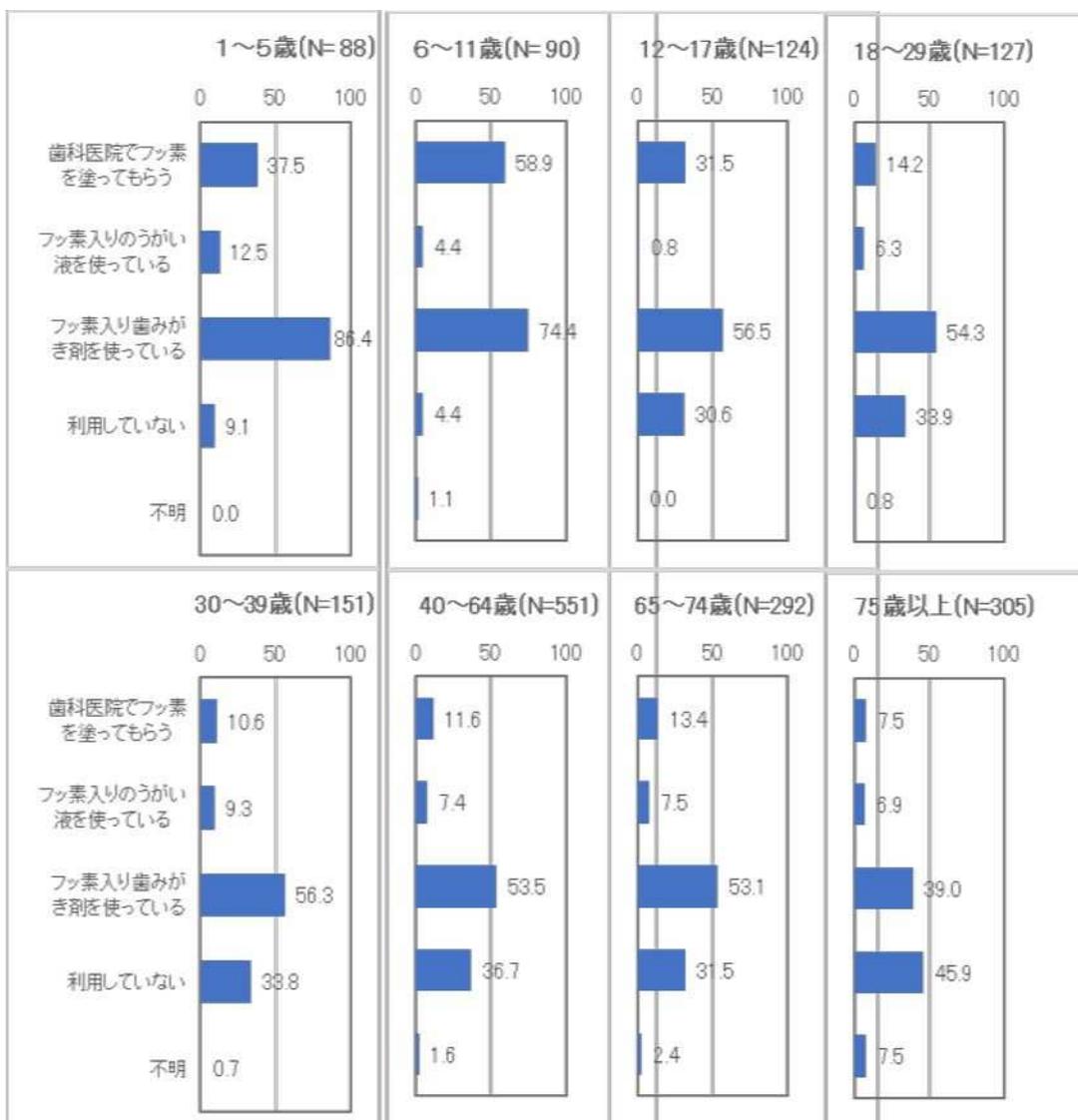
「デンタルフロス（糸ようじ）」や「歯間ブラシ」を使っていますか（単数回答）



デンタルフロスや歯間ブラシを「ほぼ毎日使っている」と回答した人の割合は、“65～74歳”が44.2%で最も高かった。

## 18) フッ化物応用の使用状況

むし歯予防のために、フッ素を使った製品などで歯のケアをしていますか（複数回答）

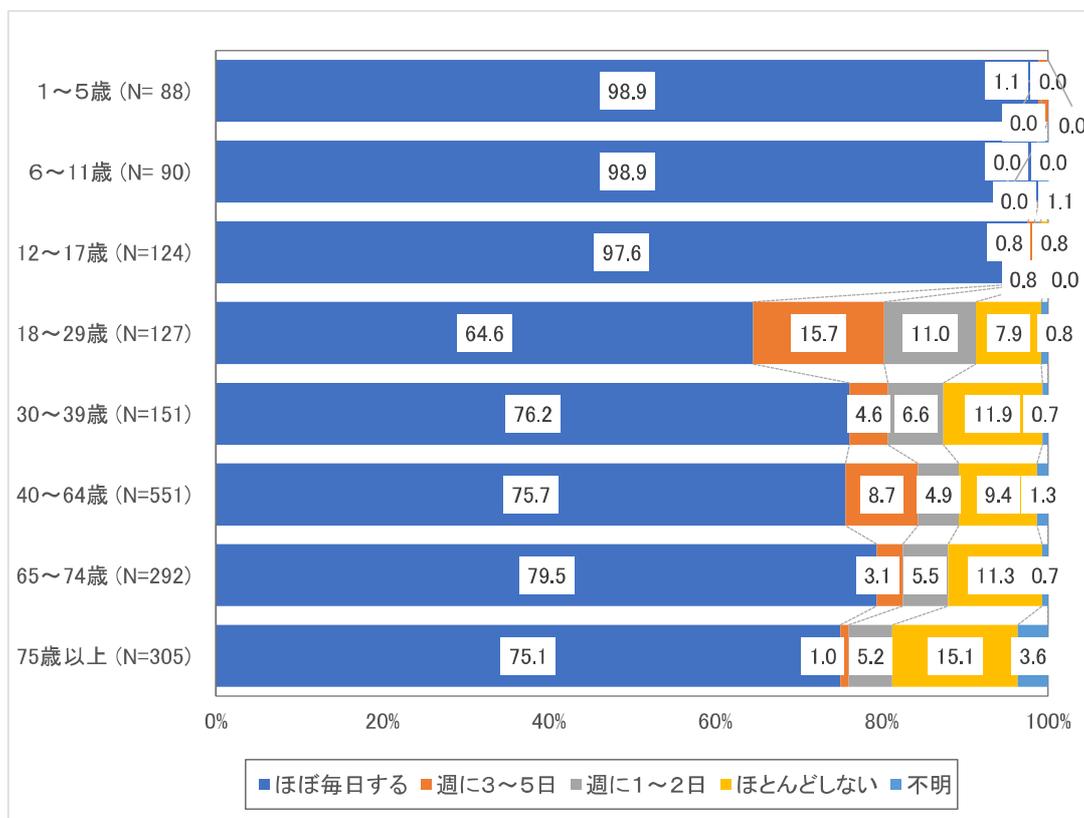


フッ化物応用の使用状況は、“75歳以上”以外の年齢層で「フッ素入り歯みがき剤を使っている」と回答した割合が最も高かった。

“75歳以上”は、「利用していない」と回答した割合が最も高かった。

## 19) 家族や友人との食事摂取状況

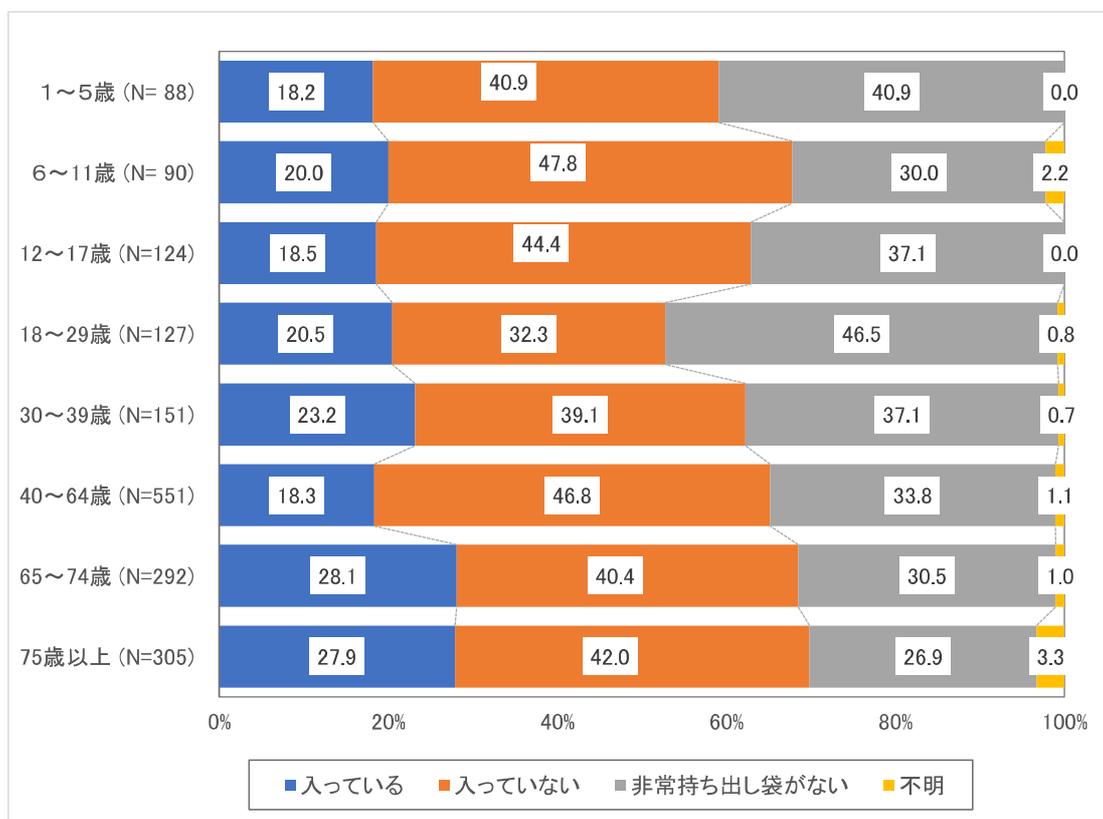
1日1食以上、家族や友人とともに食事をしますか（単数回答）



家族や友人とともに食事を「ほぼ毎日する」と回答した人の割合は、“18~29歳”が64.6%で最も低かった。

## 20) 非常持ち出し袋に口腔衛生用品が入っている状況の有無

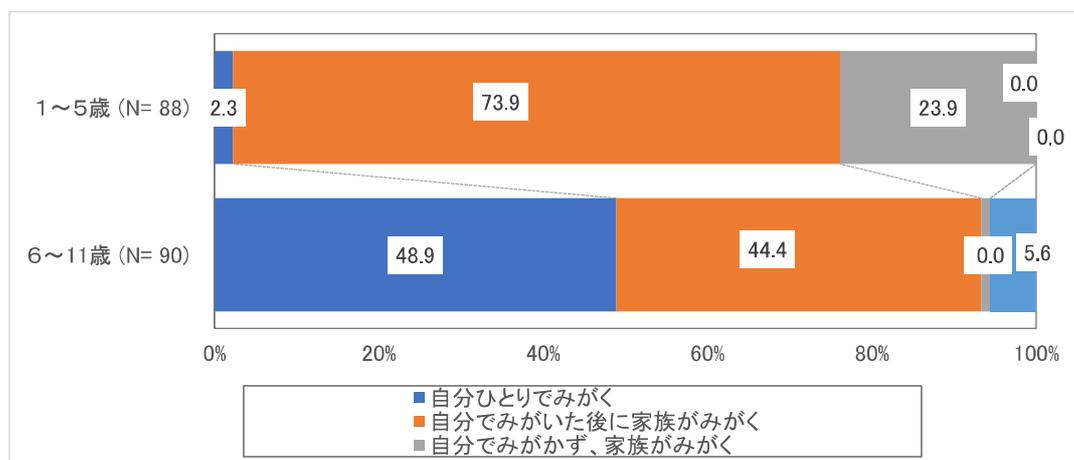
お宅では非常時の『非常持ち出し袋』の中に、歯ブラシや液体歯みがきが入っていますか（単数回答）



『非常持ち出し袋』の中に、歯ブラシや液体歯みがきが「入っている」と回答した人の割合は、“65～74歳”が28.1%、“75歳以上”が27.9%で、他の年齢層よりも高かった。

## 21) 歯みがきをする方法

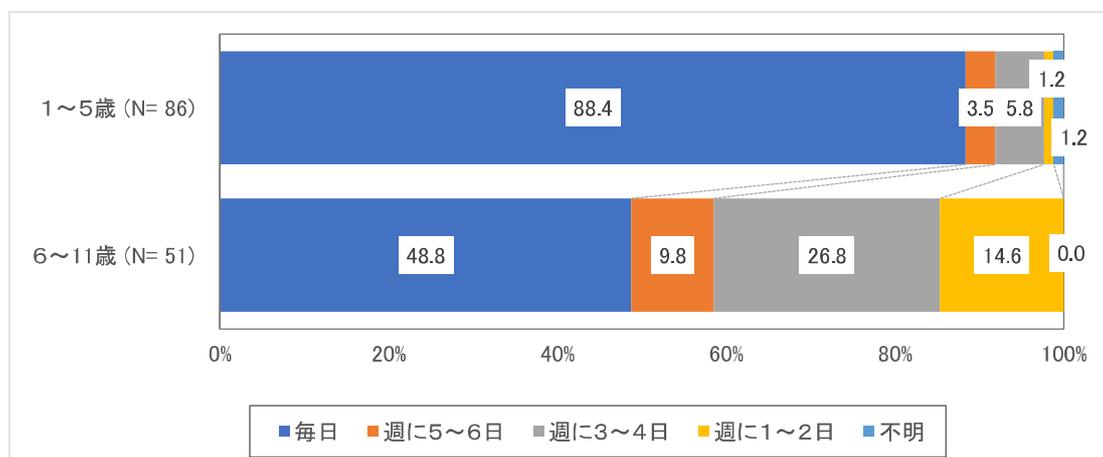
【小学生以下】歯みがきは、どのようにしていますか（単数回答）



歯みがきは、「自分でみがいた後に家族がみがく」と回答した人の割合が、“1~5歳”で73.9%だったのに対し、“6~11歳”は44.4%だった。

## 22) 仕上げみがきをする頻度

前問（問21）において「自分でみがいた後に、家族がみがく」と「自分でみがかず、家族がみがく」を選んだ人のみ回答  
【小学生以下】家族がみがくのは、週に何回くらいですか（単数回答）

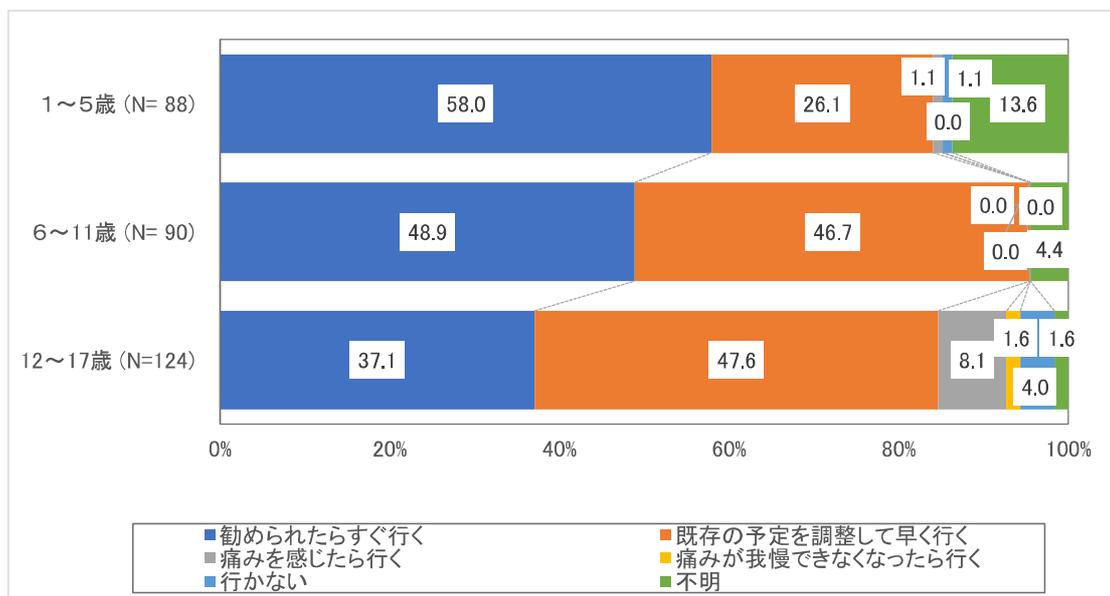


家族がみがくのは、「毎日」と回答した人の割合は、“1～5歳”で88.4%、“6～11歳”で48.8%だった。

## 23) 歯科医院に行くタイミング

【小学生以下は保護者】 【中学生・高校生は本人】

歯科健診を受けてご本人が治療を勧められた場合、どのくらい期間で歯科医院に行きますか（単数回答）

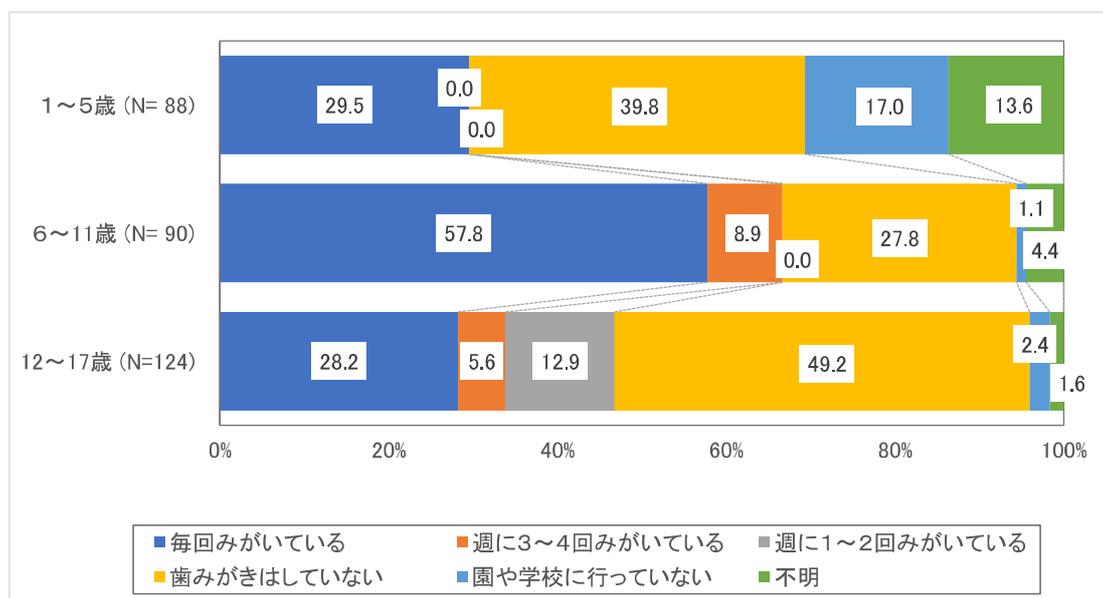


「勧められたらすぐ行く」と回答した人の割合が、“1～5歳”では58.0%、“6～11歳”では48.9%だった。

“12～17歳”では「既存の予定を調整して早く行く」と回答した人の割合の方が高かった。

## 24) 園や学校での歯みがき状況

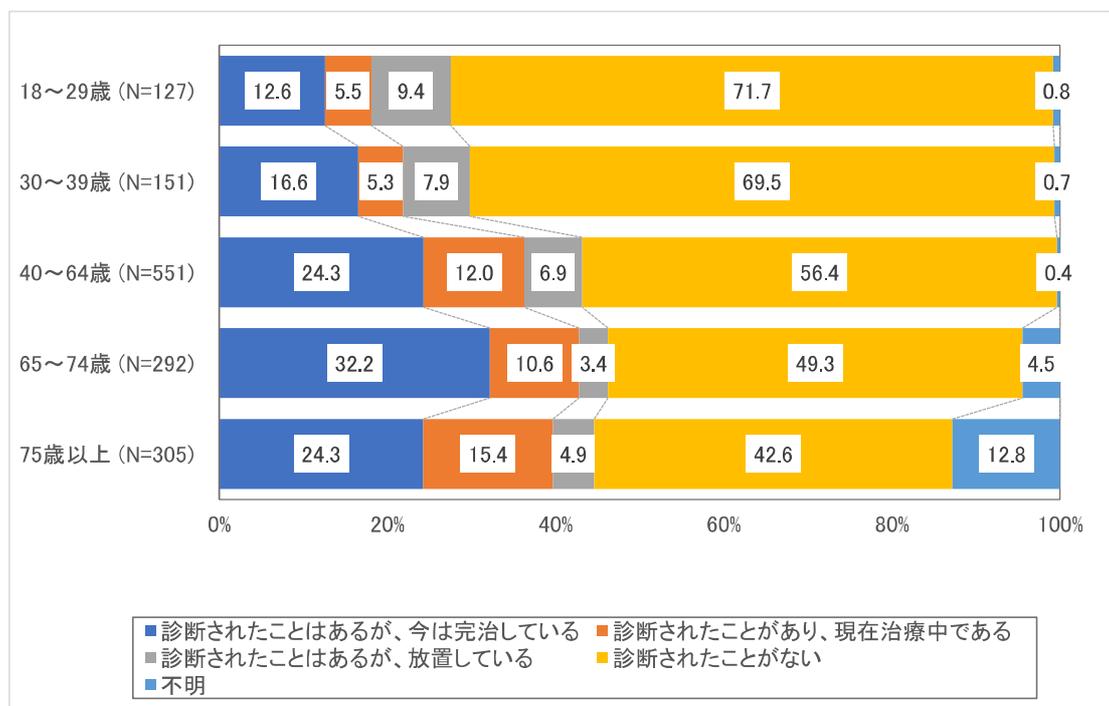
【小学生以下は保護者】 【中学生・高校生は本人】  
園や学校で昼食後、歯みがきをしていますか（単数回答）



園や学校での歯みがき状況では、「歯みがきしていない」と回答した人の割合が、“12～17歳”では49.2%であり、他の年齢層より高かった。

## 25) 『歯周病』や『歯肉炎』の診断状況

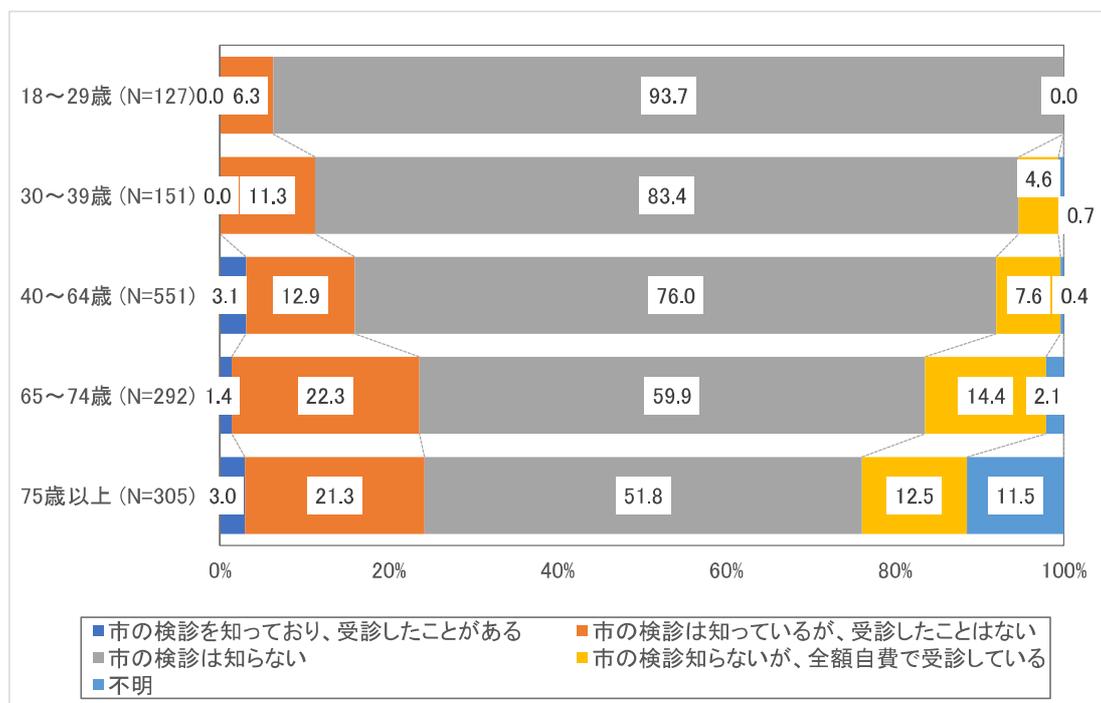
【18歳以上】 これまでに歯科検診などで歯科医師から『歯周病』や『歯肉炎』と診断されたことがありますか（単数回答）



『歯周病』や『歯肉炎』と「診断されたことはあるが、今は完治している」、「診断されたことがあり、現在治療中である」と回答した人を合わせた割合は、“65～74歳”が最も高かった。

## 26) 静岡市歯周病検診の認知度

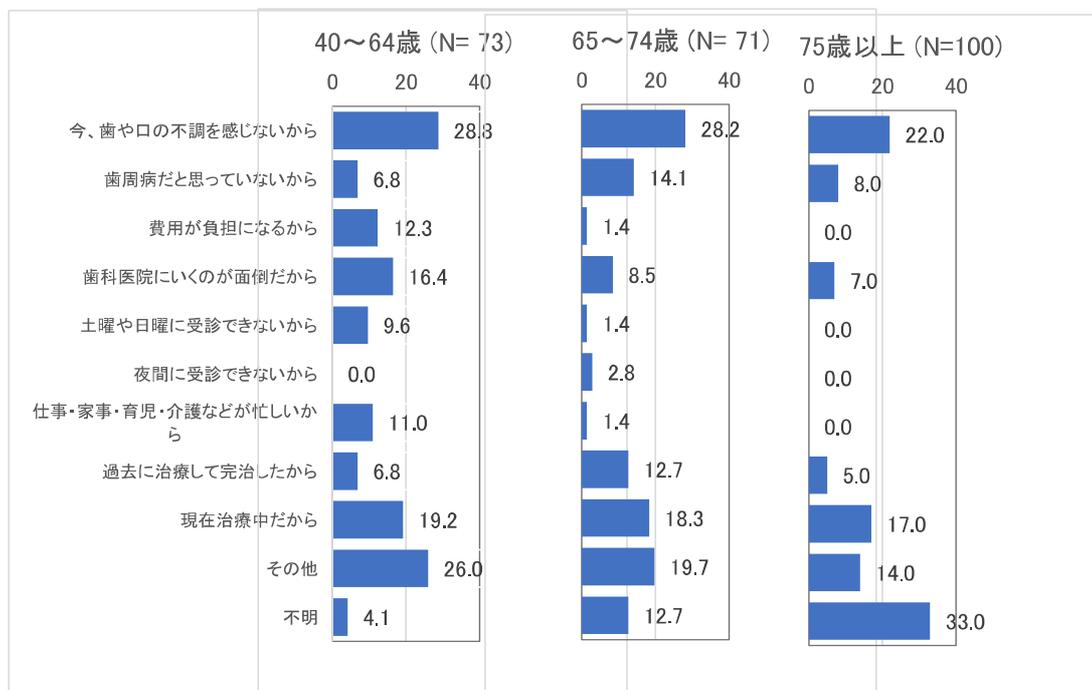
【18歳以上】 静岡市が40歳以上の市民を対象に低額で実施している『歯周病検診』を知っていますか（単数回答）



40歳以上の年齢層では、“40～64歳”で「市の検診は知らない」と回答した人の割合が76.0%で最も高かった。

## 27) 静岡市歯周病検診を受けない理由

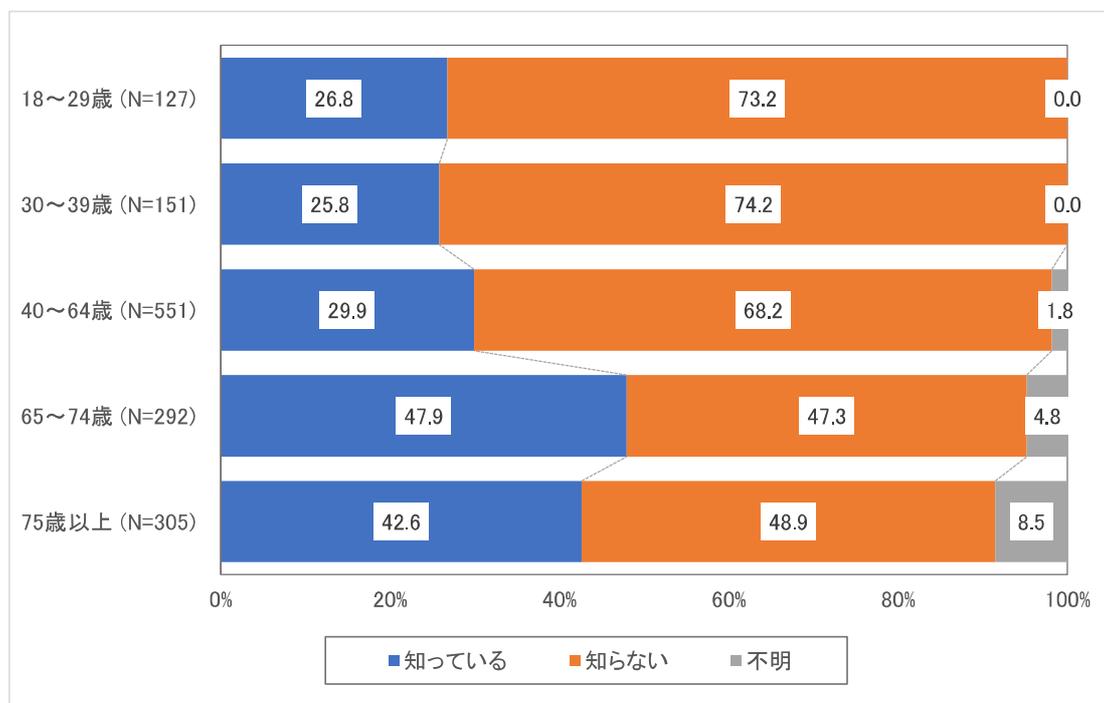
前問（問26）において「市の検診は知っているが、受診したことはない」を選んだ人のみ回答  
 【40歳以上】歯周病検診を受診しない理由を教えてください（複数回答）



歯周病検診を受診しない理由は、“40～64歳”と“65～74歳”では「今、歯や口の不調を感じないから」と回答した人の割合が最も高かった。

## 28) むせ予防・だ液分泌促進のための体操の認知度

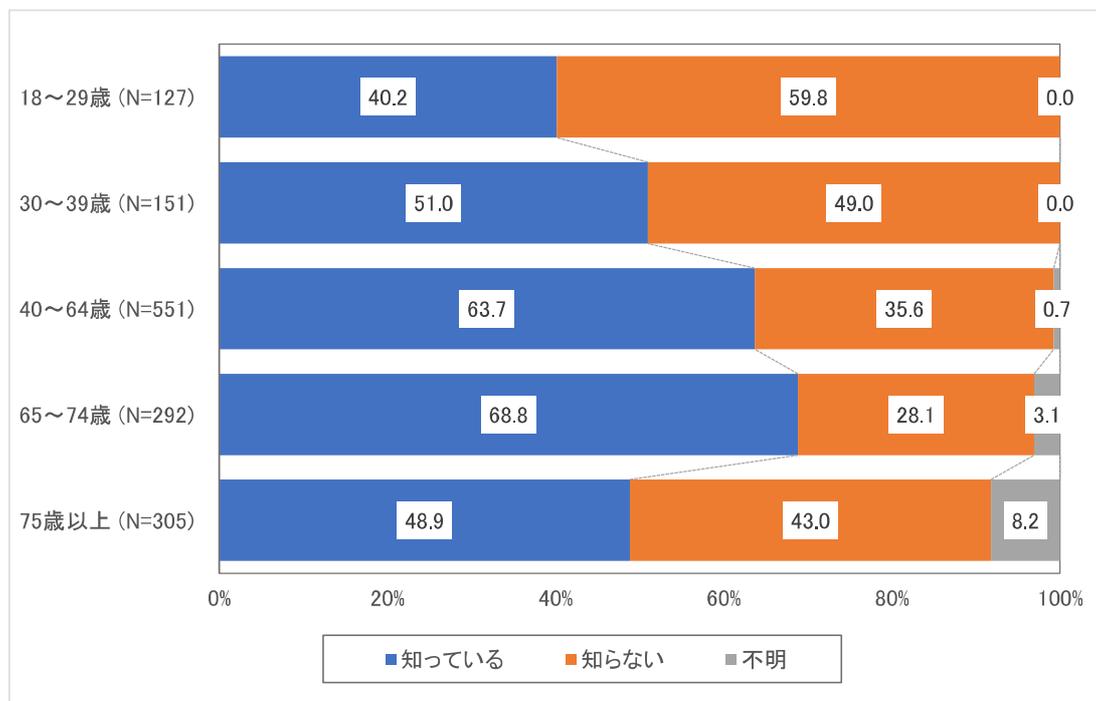
【18歳以上】 むせの予防やだ液の分泌を促進させるために、くちびる、頬、舌などを動かす体操があることを知っていますか（単数回答）



むせ予防・だ液分泌促進のための体操を知っていると回答した人の割合は、“65～74歳”が47.9%で最も高く、“30～39歳”が25.8%で最も低かった。

## 29) 歯周病と全身の病気との関係性の認知度

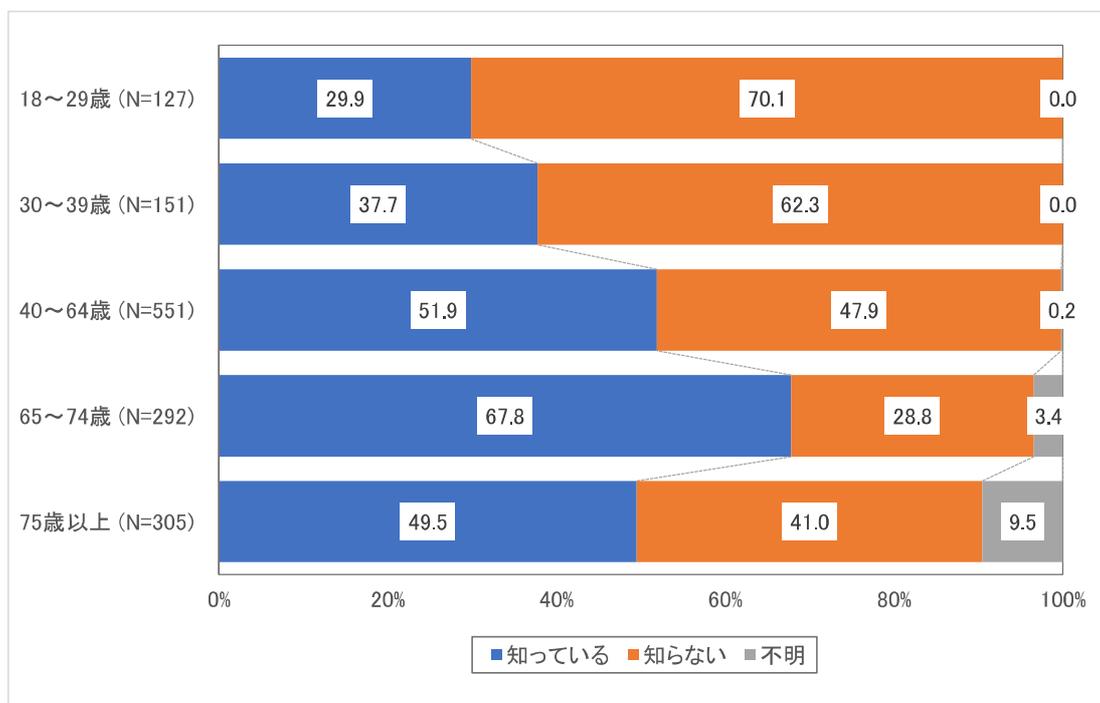
【18歳以上】『歯周病』がいろいろな病気（腎臓病・糖尿病・脳梗塞・心筋梗塞・狭心症・低体重児出産など）の症状を悪化させる場合があることを知っていますか（単数回答）



『歯周病』がいろいろな病気の症状を悪化させることを知っているという回答した人の割合は、“40～64歳” “65～74歳”では、6割以上を占めており、他の年齢層よりも高かった。

### 30) 歯と口の健康と誤嚥性肺炎・認知症との関係性の認知度

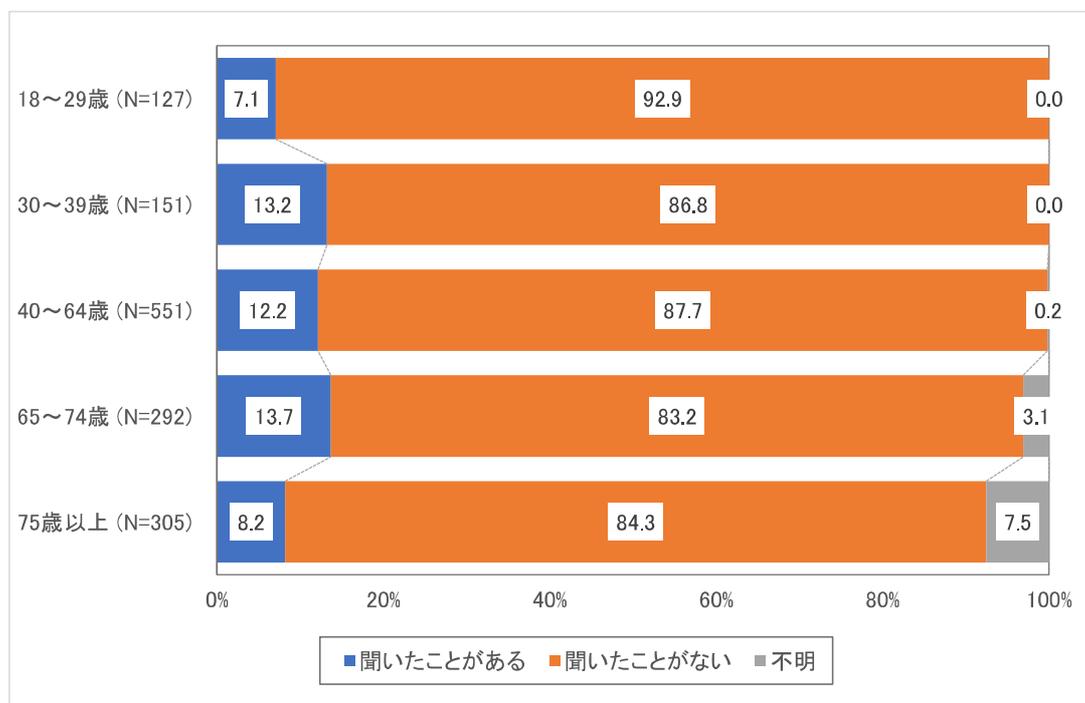
【18歳以上】歯と口が健康な状態を保てないと、誤嚥性肺炎や認知症の症状を悪化させる場合があることを知っていますか（単数回答）



歯と口の健康と誤嚥性肺炎・認知症との関連を「知っている」と回答した人の割合は、“65～74歳”が67.8%で最も高く、“18～29歳”が29.9%で最も低かった。

### 31) オーラルフレイルの認知度

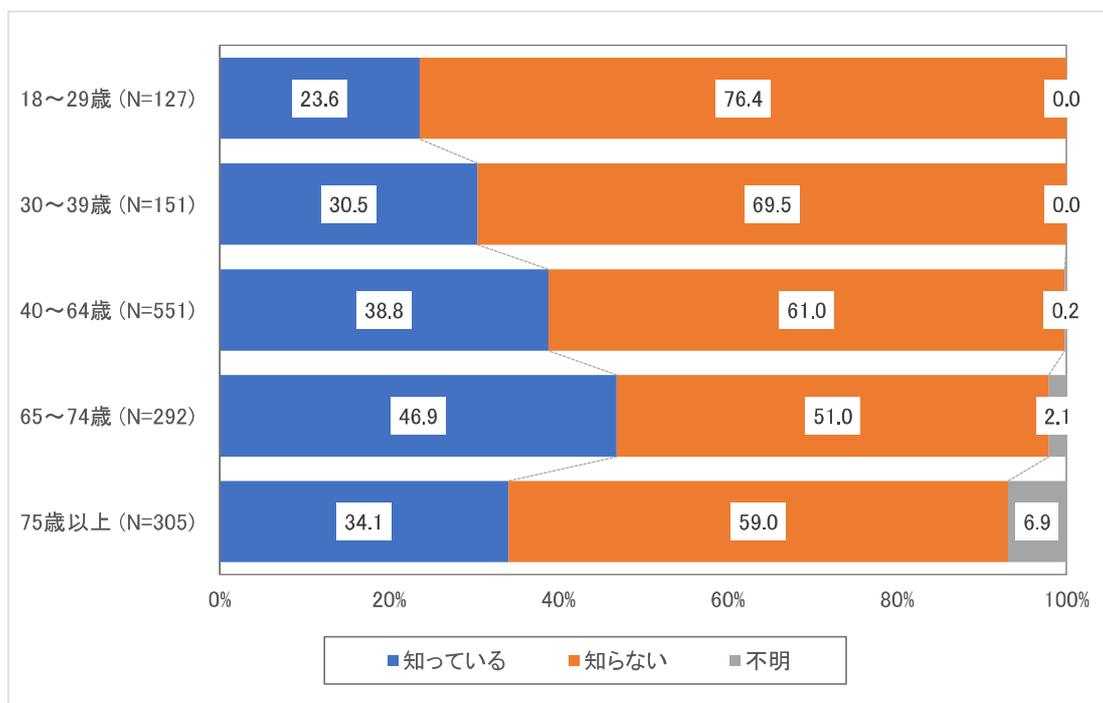
【18歳以上】『オーラルフレイル』という言葉を知っていますか（単数回答）



『オーラルフレイル』という言葉を知っていないと回答した人の割合は、全ての年齢層で8割以上を占めた。

### 32) 訪問歯科診療の認知度

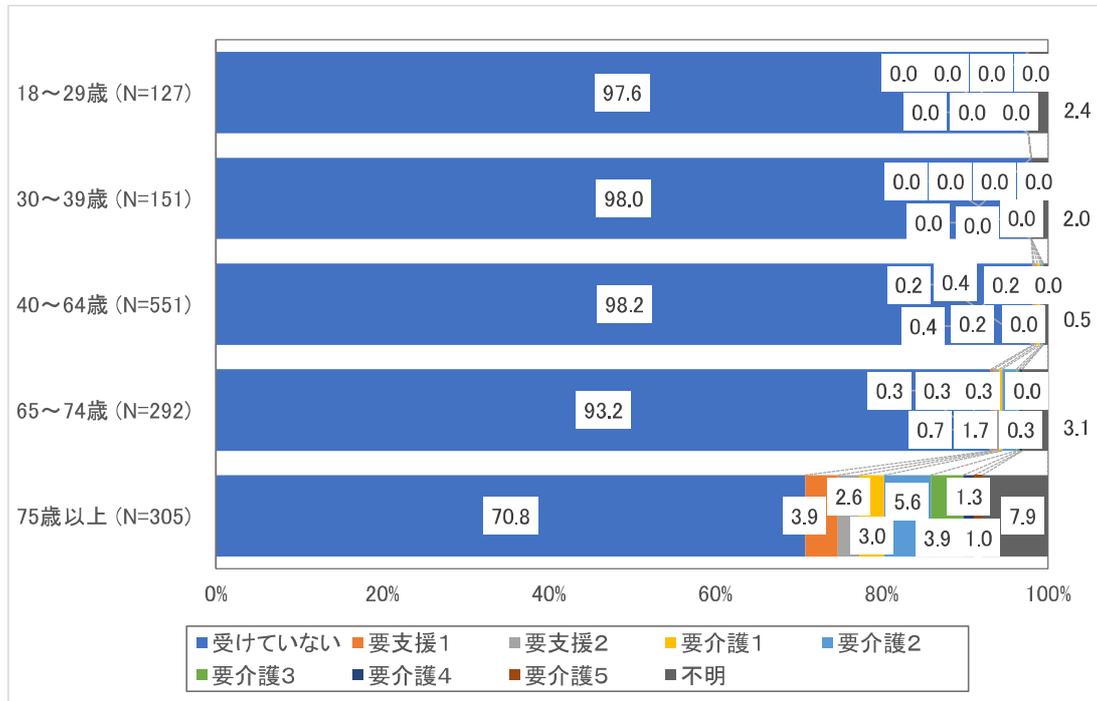
【18歳以上】寝たきりなどで歯科医院への通院が困難な場合に、歯科医師や歯科衛生士が訪問して、歯のケアや治療をすることができることを知っていますか（単数回答）



通院困難者に対する訪問による歯科治療等について「知っている」と回答した人の割合は、“65～74歳”が46.9%で最も高く、“18～29歳”が23.6%で最も低かった。

### 33) 要介護度の認定の有無

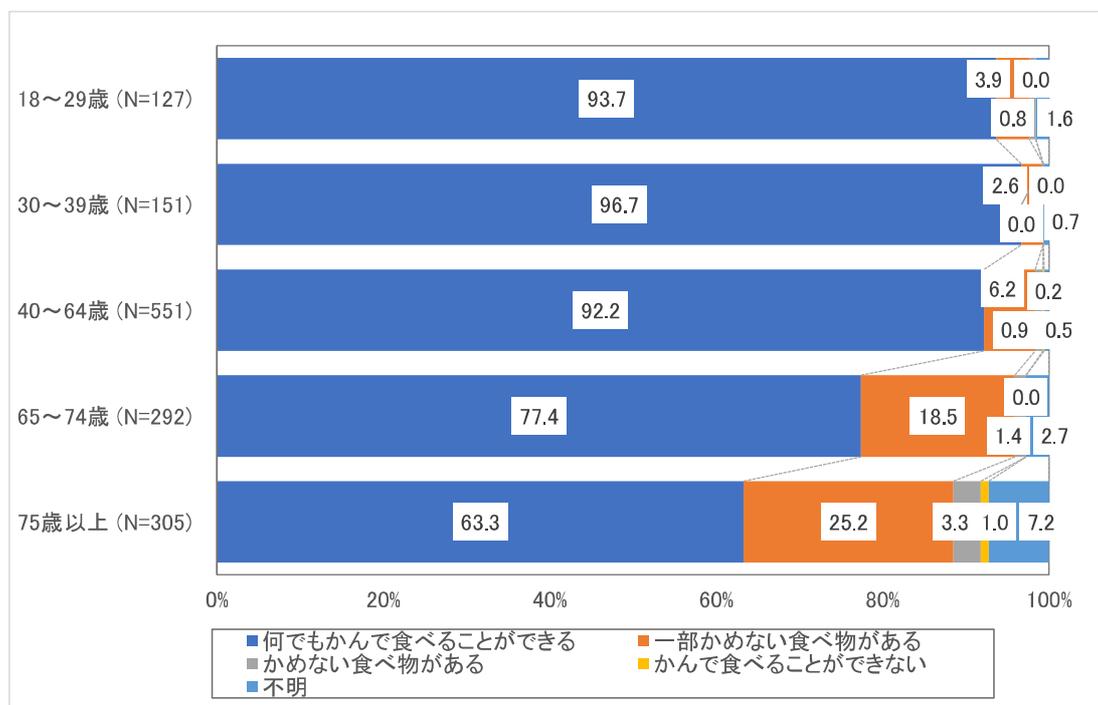
【18歳以上】介護保険制度における要介護の認定を受けていますか（単数回答）



要支援または要介護の認定を受けていると回答した人の割合は、“65～74歳”では3.7%、“75歳以上”では21.3%だった。

### 34) かねで食べる時の状況

【18歳以上】何でもかねで食べることができますか（単数回答）



18～64歳の成人期では「何でもかねで食べることができる」と回答した人の割合は、9割以上を占めており、65歳以上の高齢期より高かった。



## 静岡市 歯と口に関するアンケート調査 ご協力をお願い

市民の皆様には、日頃から市の保健福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて静岡市では、“健康長寿のまち”の実現に向け、市民の皆様が生涯にわたり歯と口の健康を維持できるよう、今年4月に『静岡市歯と口腔の健康づくりの推進に関する条例』を施行し、市民、行政、関係者等が“オール静岡市”で歯と口の健康づくりを推進することになりました。

それに合わせ、城東保健福祉エリアに口腔保健支援センターを開設し、「歯と口の健康は、全身の健康の原点」という考えのもと、健康寿命延伸のための様々な取組を実施し、「健康長寿世界一の都市」を目指しています。

そのため、2020年度には「静岡市歯と口腔の健康づくりの推進に関する計画」を作成する予定であり、その基礎資料として、このたび、市民の皆様にご協力をお願いすることになりました。

つきましては、お忙しいところ誠にお手数ですが、本調査の趣旨をご理解のうえ、調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

### <調査票について>

- 1 この調査票は、無作為抽出した静岡市民 4,500人を対象に発送しております。
- 2 調査結果は、今後の市政運営の貴重な資料として活用させていただきます。
- 3 ご回答いただいた内容は、外部に漏れたり、他の目的に使用されたりすることはありません。
- 4 ご記入いただいた調査票は、**2019年8月21日(水)**までに、同封の封筒に入れて、切手を貼らずにご投函ください。

### <調査票記入時のお願い>

- 1 お名前を書いていただく必要はありません。
- 2 調査票に回答される方は、封筒の宛名の方をお願いします。ただし、ご本人が小学生以下の場合、また、病気やけがなどで、記入が難しい方は、代理の方がご本人についてご回答くださいますようお願い申し上げます。
- 3 ご記入は、濃い鉛筆やボールペンなど、はっきり読み取れる筆記用具をご使用ください。
- 4 ご回答は、あてはまる選択肢の□の中に✓をつけてください。
- 5 問20までは、すべての方にご回答をお願いします。
- 6 問21以降は、年代別にお答えいただく質問ですので、ご本人が該当する年代の質問にご回答ください。

2019年8月

静岡市長 田辺 信宏

(保健福祉長寿局健康福祉部健康づくり推進課)

### <問合せ先>

静岡市 健康づくり推進課 口腔保健支援センター  
担当：  
電話：

- 問1 このアンケートの記入者は、封筒の宛名にお名前が記載されている“ご本人”ですか。該当するものに1つ✓を付けてください。
- 本人  代理人
- 問2 今年（2019年）4月1日時点のご本人の年齢に1つ✓を付けてください。
- 1～5歳（未就学児）  6～11歳（小学生）  
 12～17歳（中学生・高校生）  18～29歳  
 30～39歳  40～64歳  
 65～74歳  75歳以上
- 問3 ご本人の性別に1つ✓を付けてください。
- 男性  女性  その他
- 問4 ご本人の居住地に1つ✓を付けてください。
- 葵区  駿河区  
 清水区  その他
- 問5 ご本人は、この1年（2018年7月～2019年6月）で、歯科医院に行きましたか。該当するものに1つ✓を付けてください。
- 行った ⇒ 問6へ  行っていない ⇒ 問7へ
- 問6 前問で「行った」を選んだ方に伺います。ご本人が歯科医院に行った理由あるいは目的である病名や治療、健診など、該当するものに全部✓を付けてください。
- むし歯  歯周病  入れ歯  
 歯並び・かみ合わせ  口内炎  歯垢や歯石の除去  
 歯科健診  その他（ ）
- 問7 ご本人は、歯や口に関して治療や相談ができる歯科医（いわゆる“かかりつけ歯科医”）がいますか。該当するものに1つ✓を付けてください。
- いる ⇒ 問9へ  いない ⇒ 問8へ



- 問13 ご本人は、「むし歯や歯周病が口臭の原因になる場合がある」ことを知っていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。
- 知っている  知らない
- 問14 ご本人は、「災害時に十分な口腔ケアができないと誤嚥性肺炎<sup>ごえん</sup>\*になる可能性がある」ことを知っていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。
- ※…飲み込む力や咳をする力が弱くなることで、食べ物やだ液などが誤って気管に入り、発症する肺炎
- 知っている  知らない
- 問15 ご本人は、「歯みがき」をしますか。該当するものに1つ✓を付けてください。
- 1日3回以上  1日2回  1日1回  
 ととききしない日がある  ほとんどしない
- 問16 ご本人は、歯みがきをしていて出血することはありますか。該当するものに1つ✓を付けてください。
- 毎回出血する  とときき出血する  
 出血しない
- 問17 ご本人は、「デンタルフロス（糸ようじ）」や「歯間ブラシ」を使っていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。
- ほぼ毎日使っている  とときき使っている  
 使っていない
- 問18 ご本人は、むし歯予防のために、フッ素を使った製品などで歯のケアをしていますか。該当するものに全部✓を付けてください。
- 歯科医院でフッ素を塗ってもらう  
 フッ素入りのうがい液を使っている  
 フッ素入り歯みがき剤を使っている  
 利用していない
- 問19 ご本人は、1日1食以上、家族や友人とともに食事をしますか。該当するものに1つ✓を付けてください。
- ほぼ毎日する  週に3～5日  
 週に1～2日  ほとんどしない

- 問20 ご本人のお宅では、非常時の「非常持ち出し袋」の中に、歯ブラシや液体歯みがきが入っていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。
- 入っている  入っていない
- 非常持ち出し袋がない

**【全年代共通の質問は、これで終了です。】**

このあとの質問は、ご本人が該当する年代の質問にのみお答えください。

【小学生以下】 ⇒ 問21～問24へ

【中学生・高校生】 ⇒ 問23、問24へ

【18歳以上】 ⇒ 問25～問34へ

**問21・問22はご本人が小学生以下の方がお答えください。**

- 問21 ご本人の歯みがきは、どのようにしていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。
- 自分ひとりでみがく ⇒ 問23へ
- 自分でみがいた後に、家族がみがく ⇒ 問22へ
- 自分でみがかず、家族がみがく ⇒ 問22へ
- ほとんどみがかない ⇒ 問23へ
- 問22 前問で「自分でみがいた後に、家族がみがく」と「自分でみがかず、家族がみがく」を選んだ方に伺います。家族がみがくのは、週に何回くらいですか。該当するものに1つ✓を付けてください。
- 毎日  週に5～6回
- 週に3～4回  週に1～2回

**問23・問24は、小学生以下の方は保護者が、中学生・高校生の方はご本人がお答えください**

問23 歯科健診を受けてご本人が治療を勧められた場合、どのくらいの期間で歯科医院に行きますか。該当するものに1つ✓を付けてください。

- 勧められたらすぐに行く       既存の予定を調整して早く行く  
 痛みを感じたら行く       痛みが我慢できなくなったら行く  
 行かない

問24 園や学校で昼食後、歯みがきをしていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。

- 毎回みがいている       週に3～4回みがいている  
 週に1～2回みがいている       歯みがきはしていない  
 園や学校に行っていない

**問25～問34は、ご本人が18歳以上の方がお答えください。**

問25 ご本人は、これまでに歯科検診などで歯科医師から「歯周病」や「歯肉炎」と診断されたことがありますか。該当するものに1つ✓を付けてください。

- 診断されたことはあるが、今は完治している  
 診断されたことがあり、現在治療中である  
 診断されたことはあるが、放置している  
 診断されたことがない

問26 ご本人は、静岡市が40歳以上の市民を対象に低額で実施している「歯周病検診」を知っていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。

- 市の検診を知っており、受診したことがある ⇒ 問28へ  
 市の検診は知っているが、受診したことはない ⇒ 問27へ  
 市の検診は知らない ⇒ 問28へ  
 市の検診は知らないが、全額自費で受診している ⇒ 問28へ



問33 ご本人は、介護保険制度における要介護の認定を受けていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。

- |                                 |                               |                               |
|---------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 受けていない | <input type="checkbox"/> 要支援1 | <input type="checkbox"/> 要支援2 |
| <input type="checkbox"/> 要介護1   | <input type="checkbox"/> 要介護2 | <input type="checkbox"/> 要介護3 |
| <input type="checkbox"/> 要介護4   | <input type="checkbox"/> 要介護5 |                               |

問34 ご本人は、何でもかんで食べることができますか。該当するものに1つ✓を付けてください。

- 何でもかんで食べることができる
- 一部かめない食べ物がある
- かめない食べ物が多い
- かんで食べることができない

問35 本市が取り組む、歯や口の健康づくりについて、普段、感じられていることがあれば、ご自由にお書きください。

例. 幼稚園や保育園の段階で、歯磨きやうがいを習慣化させてほしい。

お忙しいところ、アンケートのご協力、ありがとうございました。  
調査票を同封の封筒に入れ、8月21日(水)までに切手を貼らずにご投函ください。

## 静岡市内事業所向け調査

## 【調査対象先の抽出方法】

- ① 本調査では、平成28年経済センサス―活動調査―から、本調査の業種分類に沿った静岡市内事業所の業種比率を算出（図表1）。
- ② 静岡経済研究所が発行する「2019 静岡県会社要覧」より、静岡市内を所在地とする1,218事業所を、本アンケート調査で設定した8つの業種に分類。
- ③ 調査サンプル数である500先に合わせて、業種ごとの抽出事業所数を算出して、業種ごとに乱数を発生させて必要数を抽出（図表2）。

図表1 静岡市内の事業所数

業 種	事業所数	事業比率	
A 農業, 林業	49	0.14	→ 農林水産業
B 漁業	19	0.05	
C 鉱業, 採石業, 砂利採取業	5	0.01	→ 建設業
D 建設業	3,340	9.49	
E 製造業	3,366	9.56	→ 製造業
F 電気・ガス・熱供給・水道業	21	0.06	→ サービス業
G 情報通信業	344	0.98	→ 運輸・通信業
H 運輸業, 郵便業	812	2.31	
I 卸売業, 小売業	9,768	27.75	→ 卸売・小売業
J 金融業, 保険業	703	2.00	→ サービス業
K 不動産業, 物品賃貸業	2,123	6.03	
L 学術研究, 専門・技術サービス業	1,563	4.44	
M 宿泊業, 飲食サービス業	4,097	11.64	→ 宿泊・飲食業
N 生活関連サービス業, 娯楽業	3,014	8.56	→ その他
O 教育, 学習支援業	1,064	3.02	
P 医療, 福祉	2,386	6.78	→ 医療・福祉
R サービス業 (他に分類されないもの)	163	6.69	→ サービス業
合 計	35,194	100.00	

資料：総務省「平成28年経済センサス」

図表2 静岡県会社要覧からの業種別抽出数

業 種	抽出数
農林水産業	1
製造業	48
建設業	47
卸売・小売業	139
運輸・通信業	17
サービス業	160
宿泊・飲食業	17
医療・福祉	23
その他	48
合 計	500

資料：静岡経済研究所「2019静岡県会社要覧」

## 【調査方法】

- ① 抽出した500社の静岡市内事業所に対して、7月31日に郵送でアンケート発送した。回答期限を8月21日に設定したが、10月末まで回答があった243社で集計作業を行った。

図表3 アンケート発送・回収状況

発送数	500社
回収数	243社
回収率	48.6%

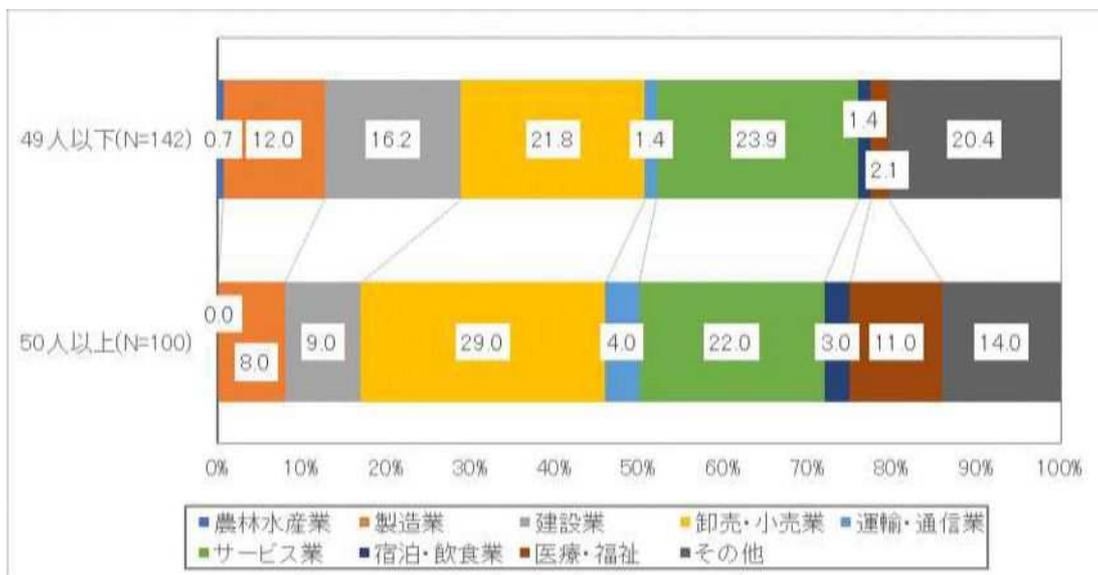
※…10月末日到着分まで

## 【集計処理】

- ① 当該質問に年齢等で回答権がない場合には、記入があっても「非該当」として取り扱った。
- ② “回答が未記入”、もしくは“指定回答数を上回る回答”があった場合には、すべてを「不明」として取り扱った。
- ③ 「非該当」は、有効回答として認めない。
- ④ 回答比率の合計は、端数処理（四捨五入）している関係で、表示した比率の単純合計の値が100%にならない場合がある。  
(例. 選択肢3つの質問に3人が別々の選択肢を選んだ場合、各項目の比率33.3%、合計値は100.0%となる)
- ⑤ 事業所規模「従業員数 49人以下／50人以上」の2区分で層別分析をおこなった。

## 1) 業種

主要な業種を教えてください（単数回答）

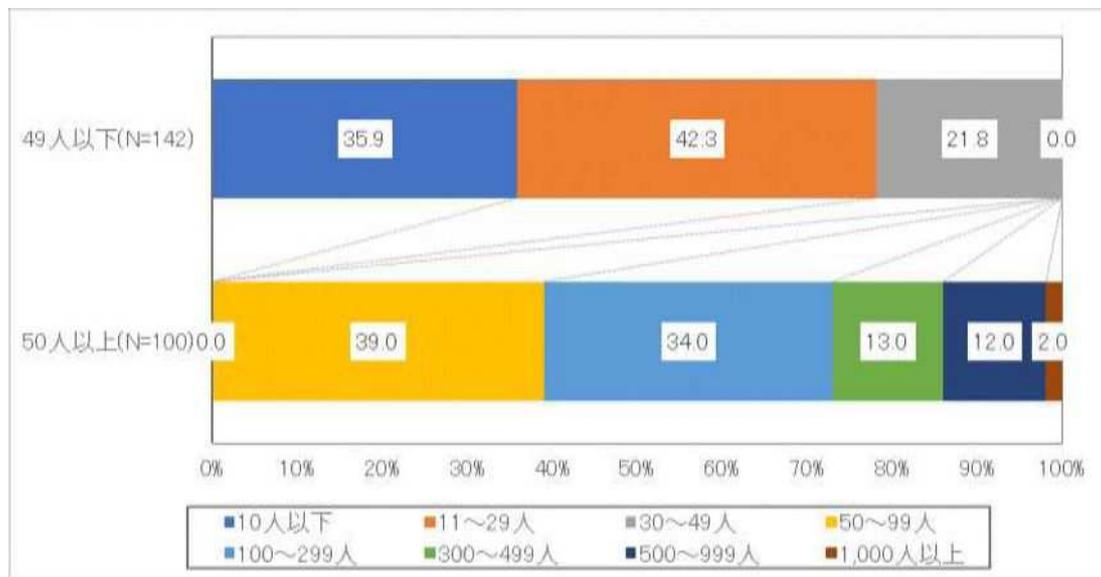


“49人以下の事業所”では、「サービス業」が23.9%と最も高く、次いで「卸売・小売業」が21.8%、「その他」が20.4%だった。

“50人以上の事業所”では、「卸売・小売業」が29.0%と最も高く、次いで「サービス業」が22.0%、「その他」が14.0%だった。

## 2) 従業員数

従業員数（非正規社員を含む）を教えてください（単数回答）

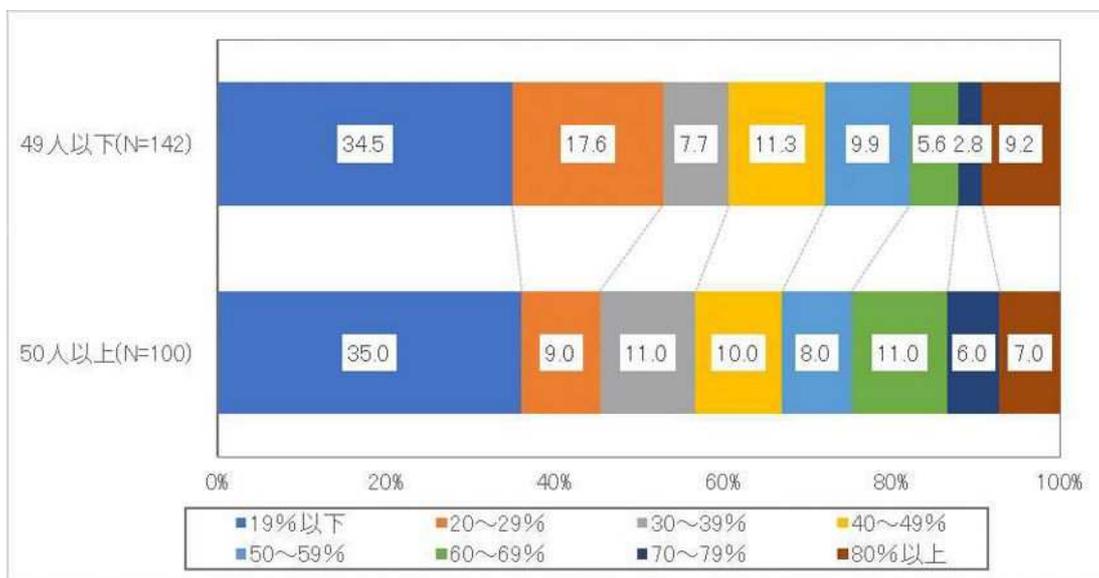


“49人以下の事業所”では、「11~29人」の割合が42.3%と最も高く、次いで「10人以下」が35.9%だった。

“50人以上の事業所”では、「50~99人」の割合が39.0%と最も高く、次いで「100~299人」が34.0%だった。

### 3) 女性従業員比率

女性従業員比率を教えてください(単数回答)

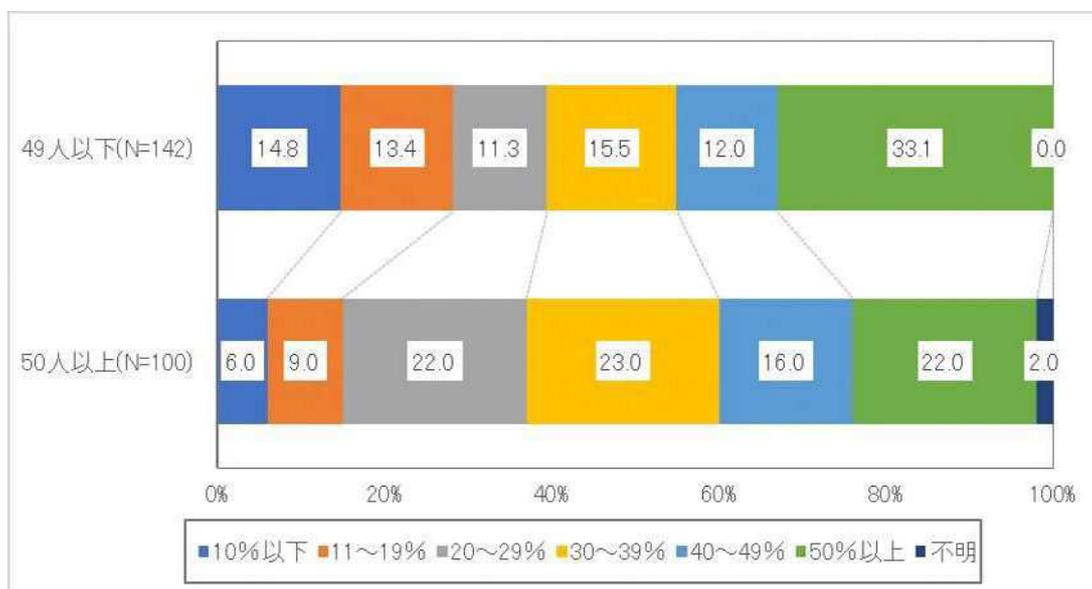


“49人以下の事業所” “50人以上の事業所” とともに「19%以下」が最も高かった。

“49人以下の事業所” では、「19%以下」「20~29%」を合わせると、52.1%で全体の半数以上を占めた。

#### 4) 50歳以上の従業員比率

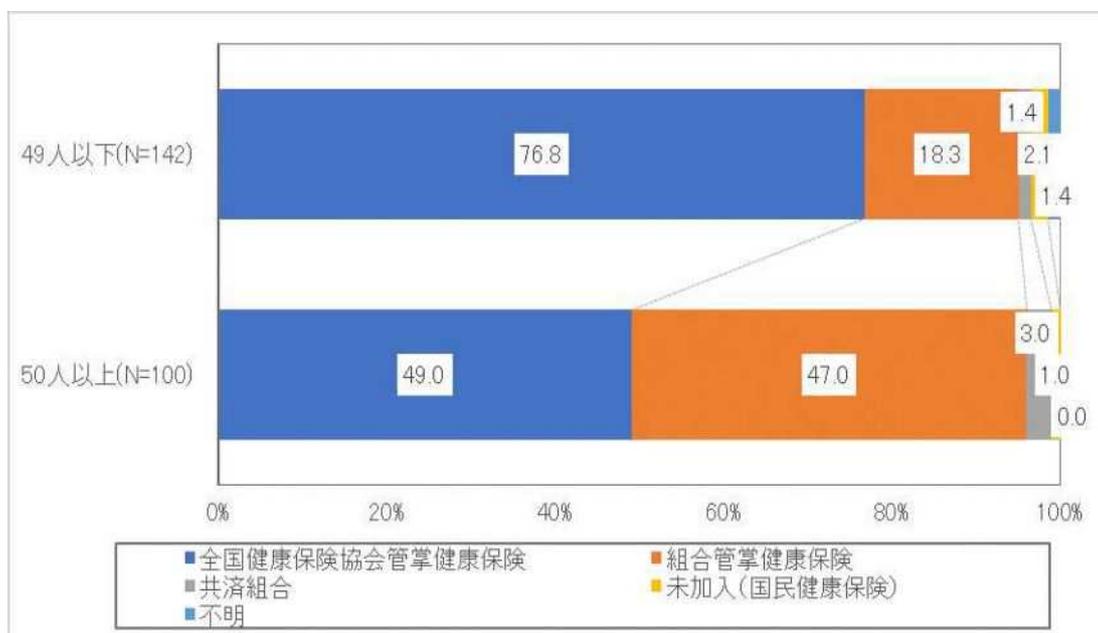
50歳以上の従業員比率を教えてください(単数回答)



“49人以下の事業所”では、「50%以上」の割合が33.1%と最も高かった。  
“50人以上の事業所”では、「30~39%」の割合が23.0%と最も高かった。

## 5) 被用者保険の種類

貴社が加入する被用者保険を教えてください(単数回答)

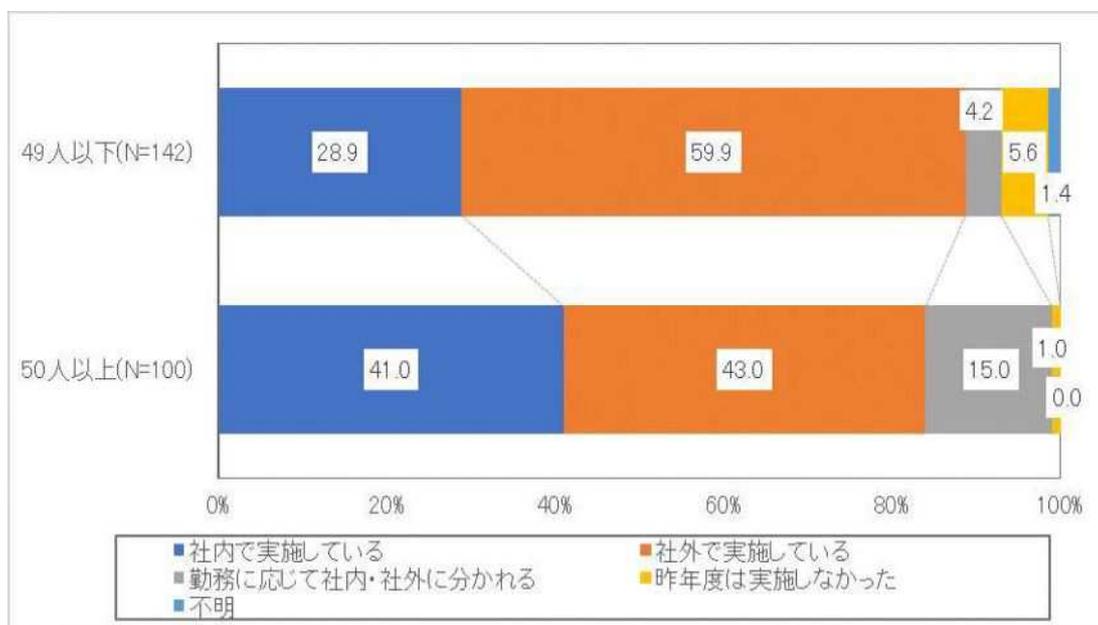


“49人以下の事業所”では、全体の7割以上が「全国健康保険協会管掌健康保険（協会けんぽ）」だった。

“50人以上の事業所”は、「全国健康保険協会管掌健康保険（協会けんぽ）」の割合が49.0%、「組合管掌健康保険（組合けんぽ）」の割合が47.0%だった。

## 6) 健康診断の実施の有無

昨年度、健康診断を実施していますか（単数回答）

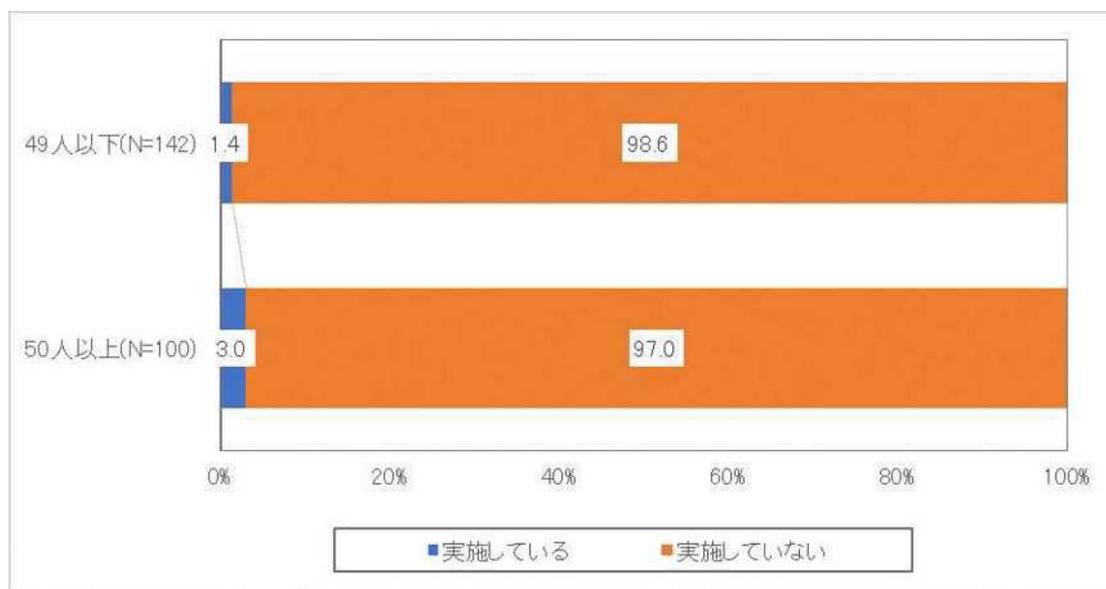


“49 人以下の事業所” では、「社外で実施している」の割合が 59.9%で最も高かった。

“50 人以上の事業所” では、「社内で行っている」の割合が 41.0%、「社外で実施している」の割合が 43.0%だった。

## 7) 健康診断における歯科健診の実施の有無

貴社の健康診断では、歯科に関する健診（歯科健診）を実施していますか（単数回答）

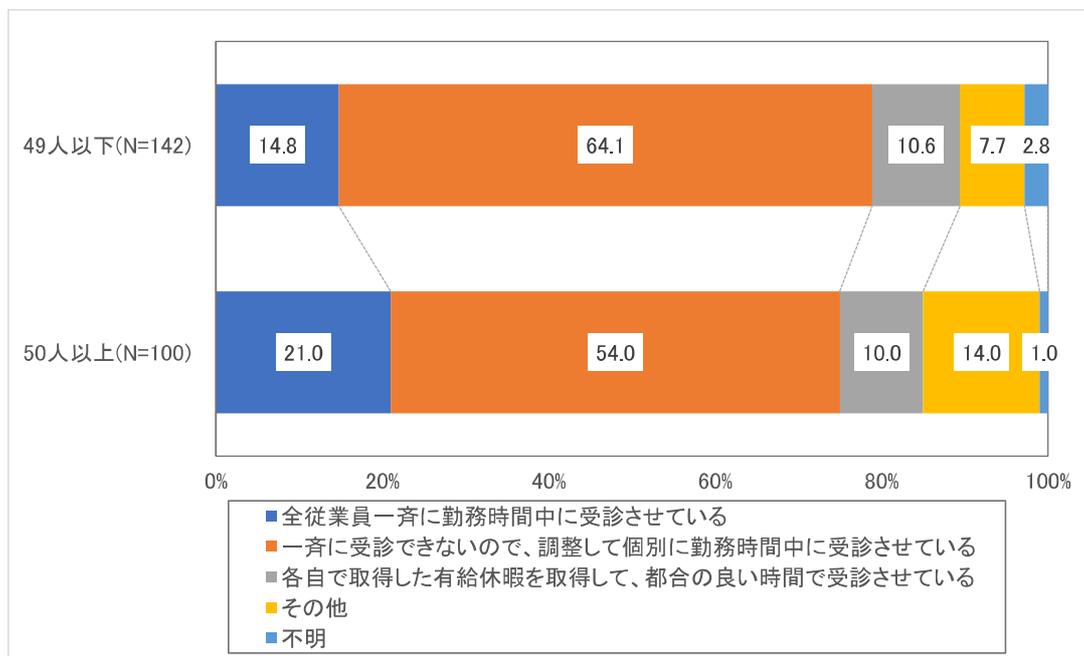


歯科健診を実施していると回答した事業所は“49人以下の事業所”“50人以上の事業所”ともに、3.0%以下だった。

（“49人以下の事業所”では、142社中2社、“50人以上の事業所”では100社中3社で、歯科健診を実施していると回答した。）

## 8) 健康診断や歯科健診の受診時間の状況

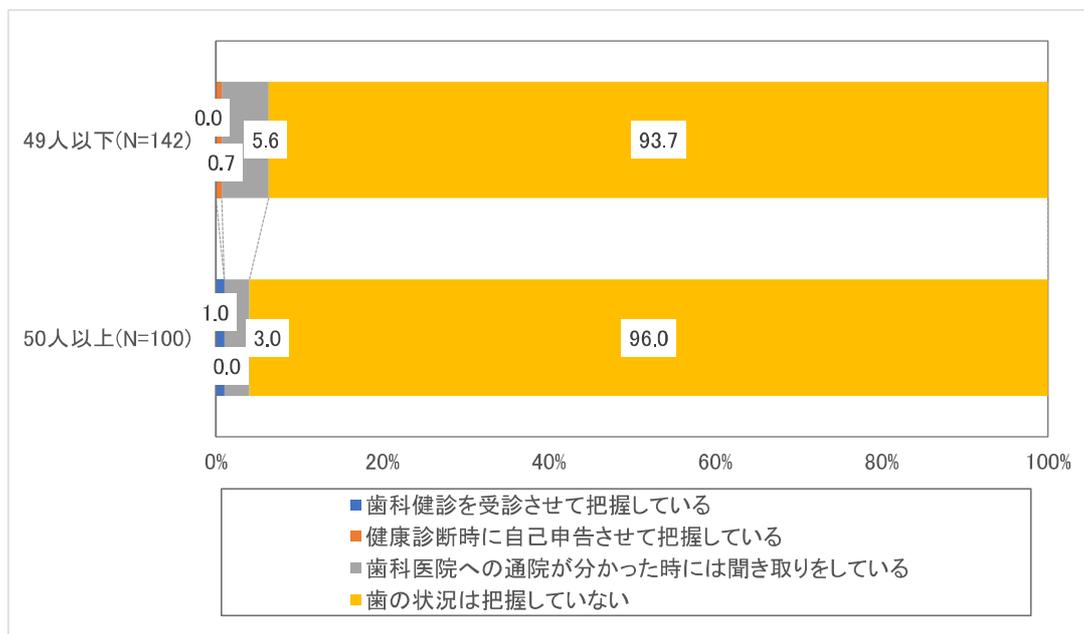
健康診断や歯科健診は、勤務時間中に受診できますか（単数回答）



“49人以下の事業所” “50人以上の事業所” とともに、「一斉に受診できないので、調整して個別に勤務時間中に受診させている」と回答した割合が最も高かった。

## 9) 従業員の歯の病気についての把握状況

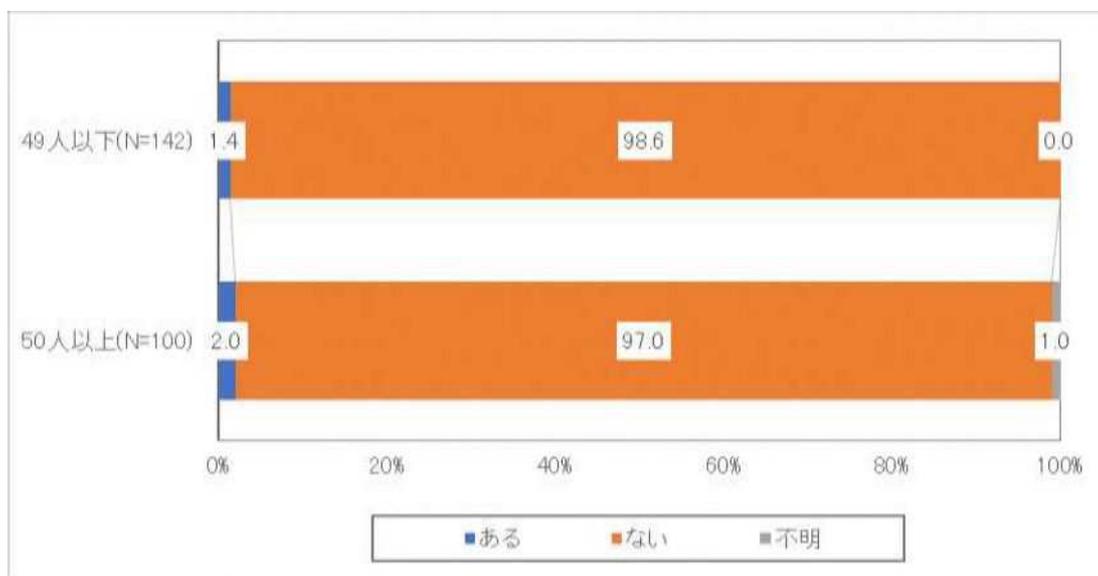
従業員の歯の病気について把握していますか（単数回答）



“49人以下の事業所” “50人以上の事業所” とともに、「歯の状況は把握していない」と回答した割合が全体の9割以上だった。

## 10) 静岡市歯周病検診の告知・周知の状況

静岡市では、40歳以上の市民を対象に低額で受けられる『歯周病検診』を行っています。事業所として、従業員に対して制度を告知・周知したことはありますか（単数回答）

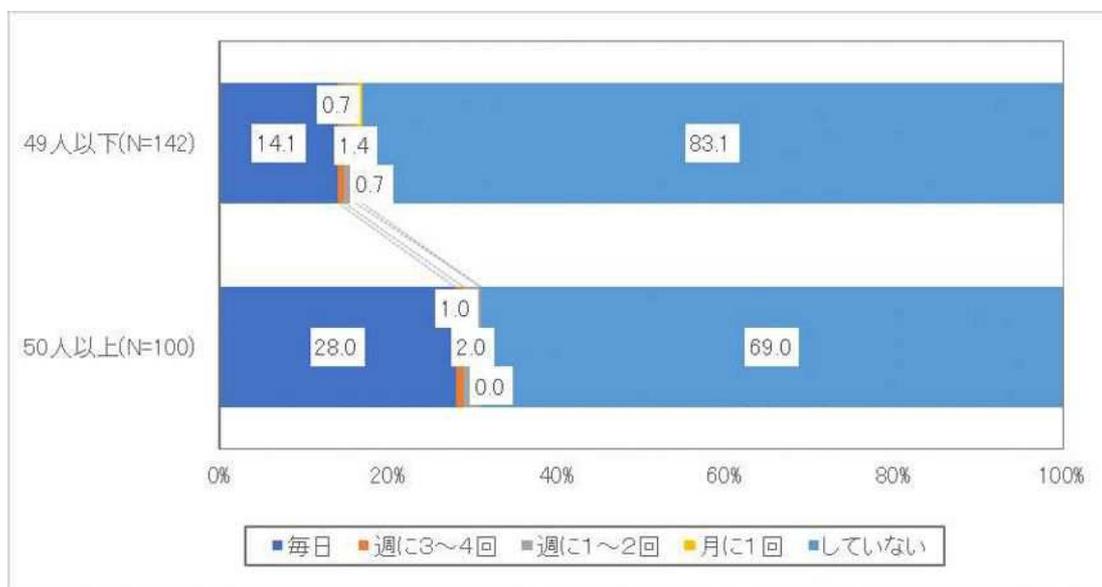


制度の告知・周知をしたことがあると回答した事業所は、“49人以下の事業所” “50人以上の事業所”ともに、2.0%以下と低かった。

（“49人以下の事業所”は、142社中2社、“50人以上の事業所”は100社中2社で、静岡市歯周病検診の告知・周知をしたことがあると回答した。）

## 11) 定刻での体操の実施状況

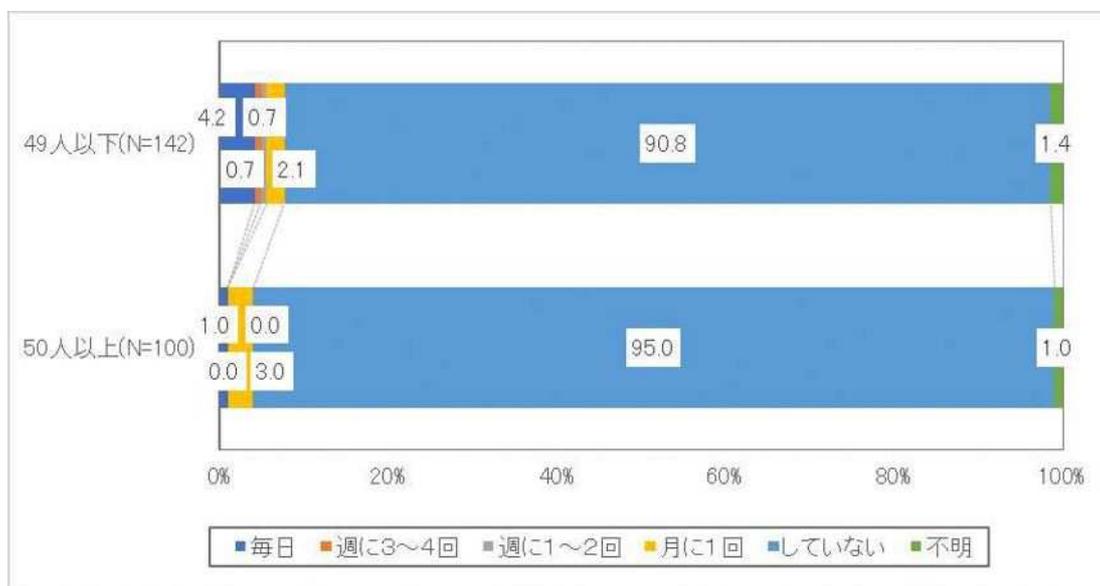
決まった時間に全従業員が体操（ラジオ体操、表情を豊かにするための体操や発声練習など）をしていますか（単数回答）



「決まった時間に全従業員が体操をしている」と回答した割合は、“49人以下の事業所”が16.9%、“50人以上の事業所”が31.0%だった。

## 12) 上司や同僚による健康状態のチェックの有無

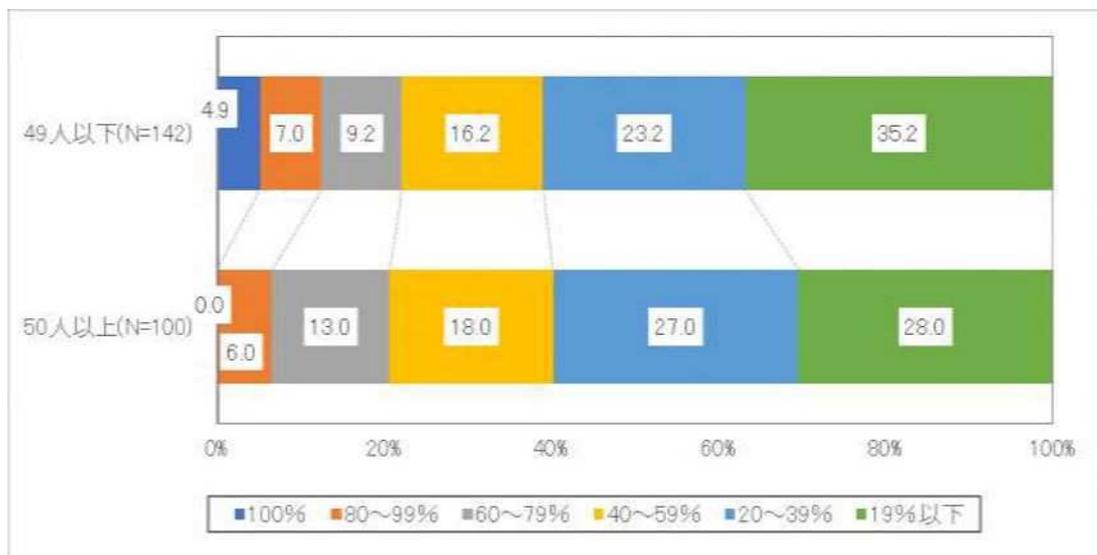
上司や同僚による健康状態のチェック（問診や測定器具を使ったチェックなど）をしていますか（単数回答）



上司や同僚による健康状態のチェックをしていると回答した割合は、“49人以下の事業所”が7.7%、“50人以上の事業所”が4.0%だった。

### 13) 従業員の歯みがきの実施状況

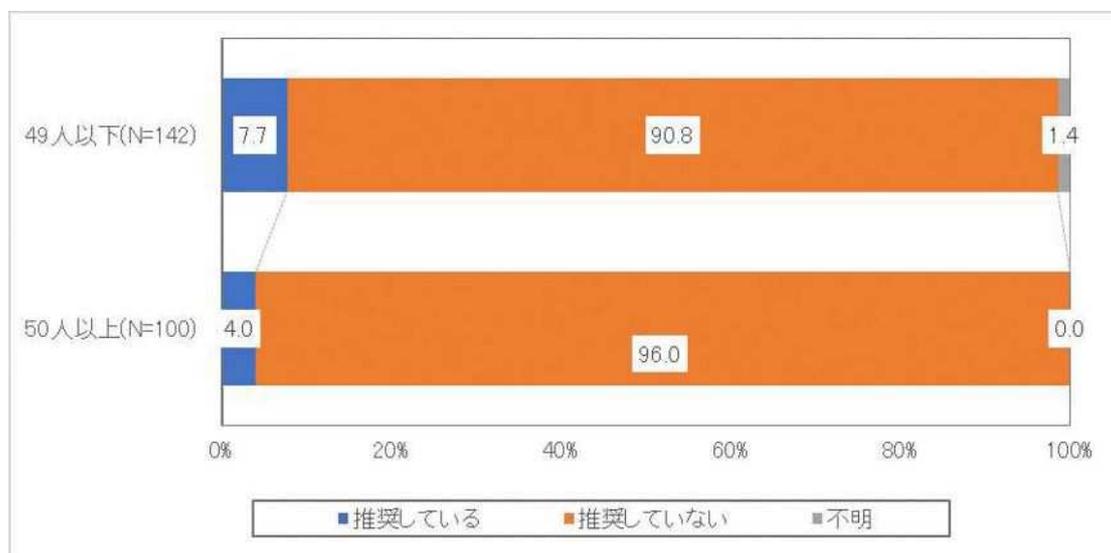
食事の後に歯みがきしている人は従業員の何割くらいですか（単数回答）



食事の後に歯みがきしている従業員の割合は“49人以下の事業所”“50人以上の事業所”ともに、「19%以下」が最も高かった。

#### 14) 昼食後の歯みがき推奨の実施の有無

従業員に昼食後の歯みがきを推奨（社内報や朝礼時の定期的な周知、手洗い場への貼紙など）をしていますか（単数回答）

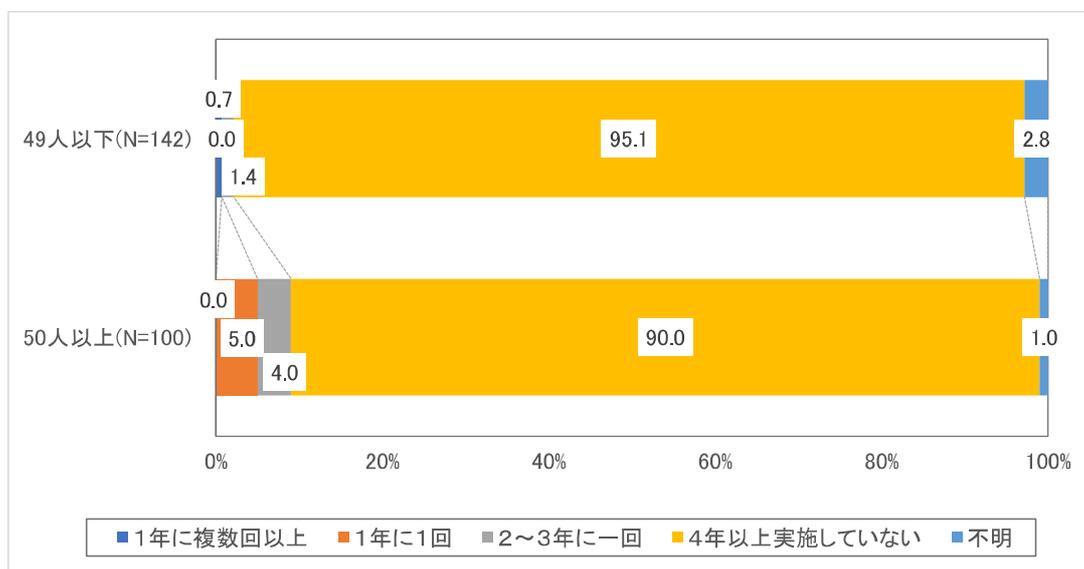


従業員への昼食後の歯みがきを推奨していると回答した割合は、“49人以下の事業所”が7.7%、“50人以上の事業所”が4.0%で、“49人以下の事業所”の方が高かった。

（“49人以下事業所”では、142社中11社、“50人以上の事業所”では、100社中4社で、昼食後の歯みがきを推奨していると回答した。）

### 15) 正しい歯みがき方法の指導の有無

従業員に正しい歯みがき方法を、どのくらいの頻度で指導していますか（単数回答）

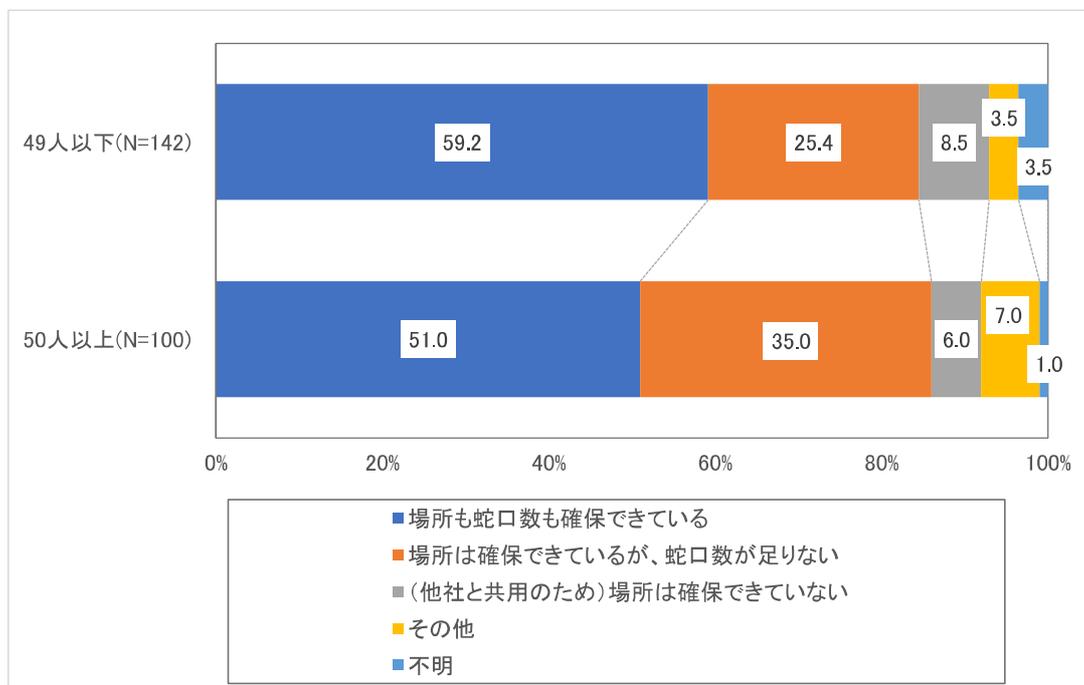


“49人以下の事業所” “50人以上の事業所” とともに、「4年以上実施していない」と回答した割合が90%以上だった。

（“49人以下事業所” では、142社中1社、“50人以上の事業所” では、100社中5社で、1年に1回以上、正しい歯みがき方法の指導をしていると回答した。）

## 16) 菌みがきをする場所の状況

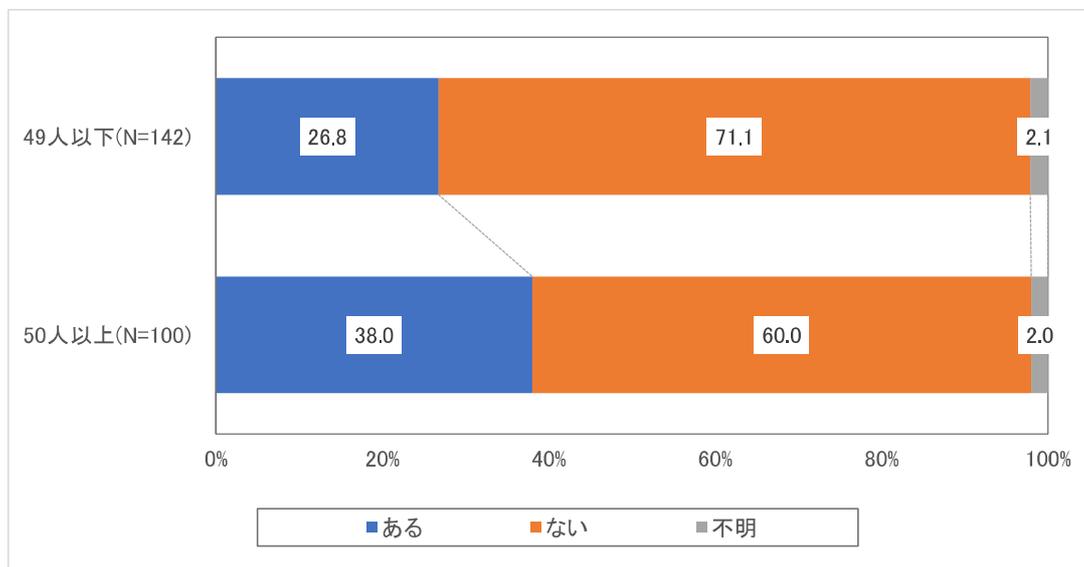
従業員が菌みがきする場所が確保できていますか（単数回答）



“49人以下の事業所” “50人以上の事業所” とともに、「場所も蛇口数も確保できている」と回答した割合が50%以上だった。

### 17) 経営理念や経営方針の健康に関する記述の有無

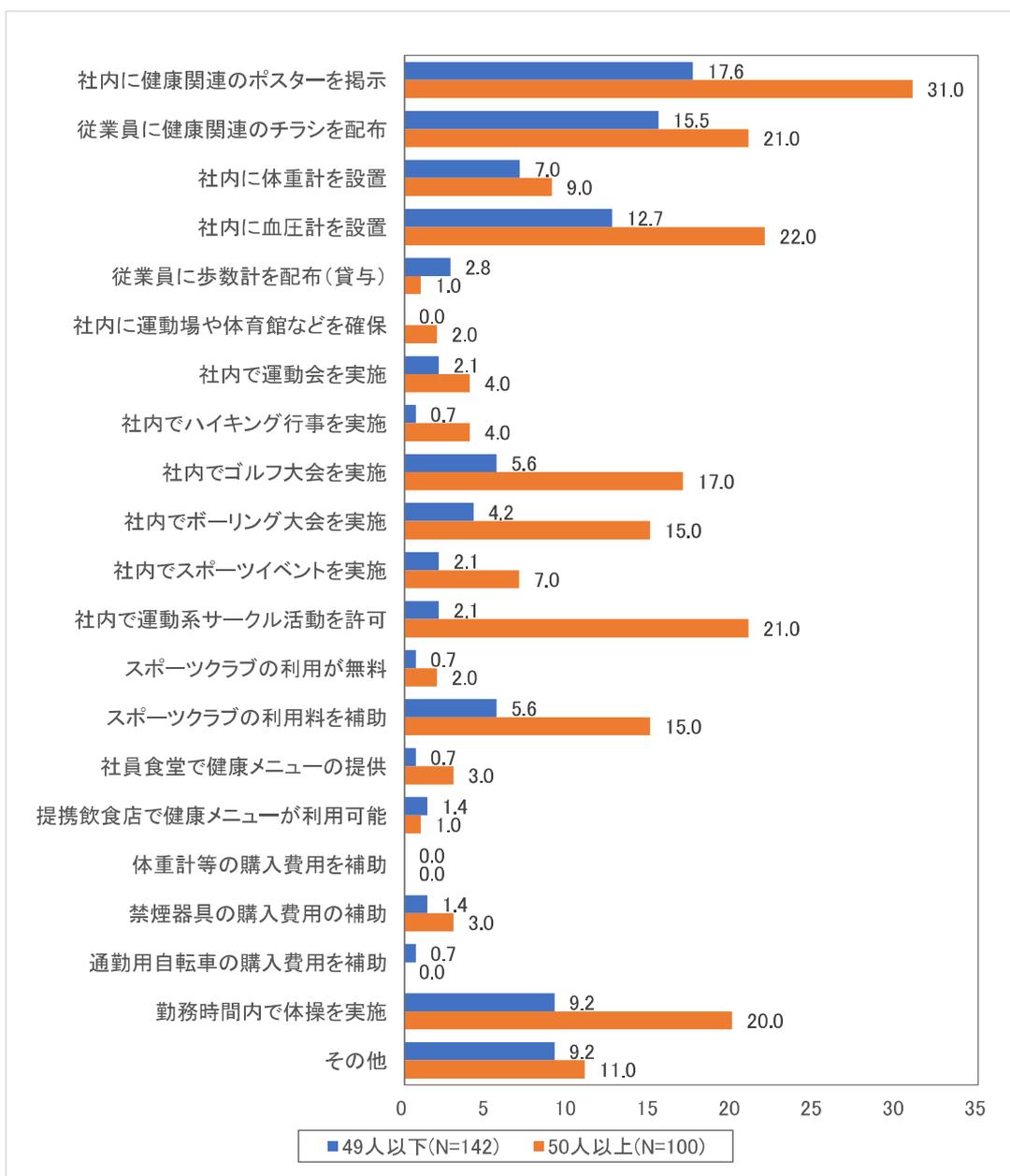
経営理念や経営方針に従業員の健康に関する記述はありますか（単数回答）



経営理念や経営方針に健康に関する記述があると回答した割合は、“49人以下の事業所”が26.8%、“50人以上の事業所”が38.0%だった。

## 18) 健康に関する取組み状況

従業員の健康のために、どんな取り組みをしていますか（複数回答）

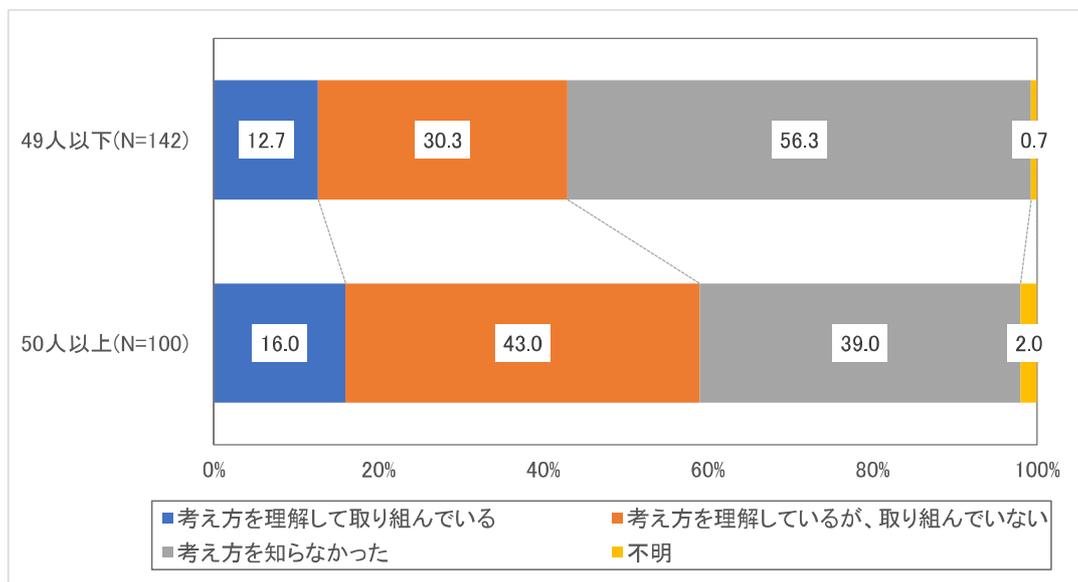


“49人以下の事業所”では、「社内に健康関連のポスターを掲示」が17.6%と最も高く、次いで「従業員に健康関連のチラシを配布」が15.5%、「社内に血圧計を設置」が12.7%だった。

“50人以上の事業所”では、「社内に健康関連のポスターを掲示」が31.0%で最も高く、次いで「社内に血圧計を設置」が22.0%、「従業員に健康関連のチラシを配布」・「社内で運動系サークル活動を許可」が21.0%だった。

## 19) 健康経営の実施状況

経済産業省が推奨している「健康経営」を実践していますか（単数回答）

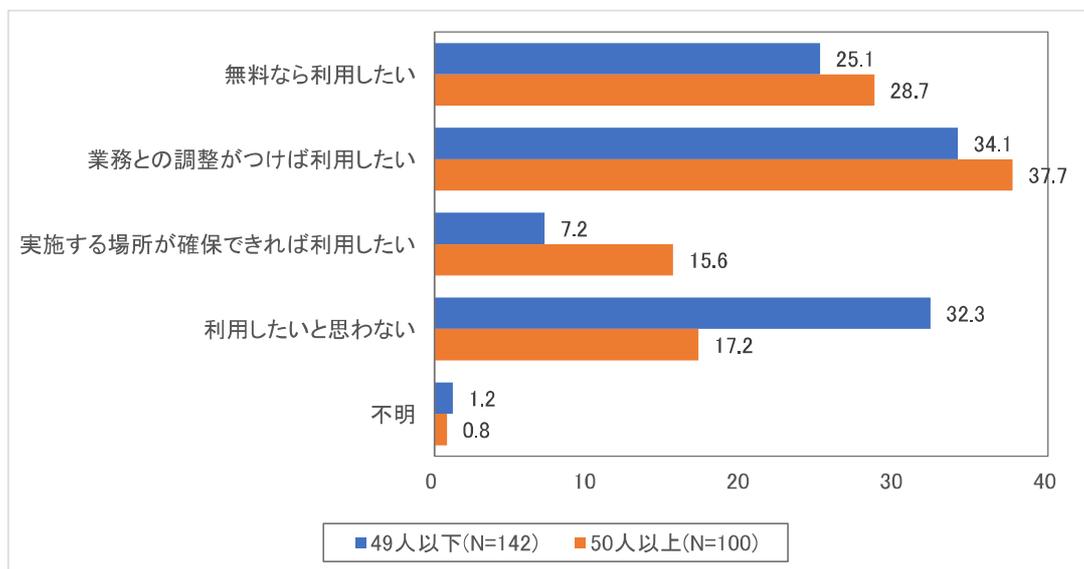


健康経営の「考え方を理解して取り組んでいる」と回答した割合は、“49人以下の事業所”が12.7%、“50人以上の事業所”が16.0%だった。

“49人以下事業所”では、「考え方を知らなかった」と回答した割合の方が高かった。

## 20) 歯科医師や歯科衛生士による相談・講座の希望の有無

歯科医師や歯科衛生士が事業所に出向き、歯と口に関する相談や健康づくりについて周知する講座があるとしたら利用したいと思いますか（複数回答）



“49人以下の事業所”では、「業務との調整がつけば利用したい」が34.1%で、「無料なら利用したい」が25.1%だった。

“50人以上の事業所”では、「業務との調整がつけば利用したい」が37.7%で、「無料なら利用したい」が28.7%だった。

「利用したいと思わない」と回答した割合は、“50人以上の事業所”よりも“49人以下の事業所”の方が高かった。



## 静岡市 歯と口に関するアンケート調査 ご協力をお願い

市内事業所の皆様には、日頃から市の保健福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて静岡市では、“健康長寿のまち”の実現に向け、市民が生涯にわたり歯と口の健康を維持できるよう、今年4月に『静岡市歯と口腔の健康づくりの推進に関する条例』を施行し、市民、行政、事業所等関係者が“オール静岡市”で歯と口の健康づくりを推進することになりました。

それに合わせ、城東保健福祉エリアに口腔保健支援センターを開設し、「歯と口の健康は、全身の健康の原点」という考えのもと、健康寿命延伸のための様々な取組を実施し、「健康長寿世界一の都市」を目指しています。

そのため、2020年度には「静岡市歯と口腔の健康づくりの推進に関する計画」を作成する予定であり、その基礎資料として、このたび、市内事業所の皆様に「アンケート調査」をお願いすることになりました。

つきましては、お忙しいところ誠にお手数ですが、本調査の趣旨をご理解のうえ、調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

### <調査票ご記入にあたってのお願い>

1. アンケートの回答は、総務担当（給与・厚生、保健衛生）の方がお答えください。
2. ご回答は、あてはまる選択肢の前にある□のなかに✓をつけてください。
3. 本調査は、会社名等を伺いませんので個社の回答内容が外部に漏れることはありません。また、回答内容を受けて行政指導をすることはありません。実態に即して、ありのままをご記入ください。
4. ご記入いただいた調査票は、2019年8月19日(月)までに、同封しました返信用封筒に入れて、切手を貼らずにご投函ください。

2019年8月

静岡市長 田辺 信宏

(保健福祉長寿局健康福祉部健康づくり推進課)

### <問合せ先>

静岡市 健康づくり推進課 口腔保健支援センター

担当：

電話：

- 問1 貴社の主要な業種に1つ✓を付けてください。
- |                                 |                                 |                                |
|---------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 農林水産業  | <input type="checkbox"/> 製造業    | <input type="checkbox"/> 建設業   |
| <input type="checkbox"/> 卸売・小売業 | <input type="checkbox"/> 運輸・通信業 | <input type="checkbox"/> サービス業 |
| <input type="checkbox"/> 宿泊・飲食業 | <input type="checkbox"/> 医療・福祉  | <input type="checkbox"/> その他   |
- 問2 貴社の従業員数（非正規社員を含む）に1つ✓を付けてください。
- |                                   |                                   |                                   |
|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 10人以下    | <input type="checkbox"/> 11～29人   | <input type="checkbox"/> 30～49人   |
| <input type="checkbox"/> 50～99人   | <input type="checkbox"/> 100～299人 | <input type="checkbox"/> 300～499人 |
| <input type="checkbox"/> 500～999人 | <input type="checkbox"/> 1,000人以上 |                                   |
- 問3 貴社の女性従業員比率に1つ✓を付けてください。
- |                                 |                                 |                                 |
|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 19%以下  | <input type="checkbox"/> 20～29% | <input type="checkbox"/> 30～39% |
| <input type="checkbox"/> 40～49% | <input type="checkbox"/> 50～59% | <input type="checkbox"/> 60～69% |
| <input type="checkbox"/> 70～79% | <input type="checkbox"/> 80%以上  |                                 |
- 問4 貴社の50歳以上の従業員比率に1つ✓を付けてください。
- |                                 |                                 |                                 |
|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 10%以下  | <input type="checkbox"/> 11～19% | <input type="checkbox"/> 20～29% |
| <input type="checkbox"/> 30～39% | <input type="checkbox"/> 40～49% | <input type="checkbox"/> 50%以上  |
- 問5 貴社が加入する被用者保険に1つ✓を付けてください。
- 全国健康保険協会管掌健康保険（協会けんぽ）
  - 組合管掌健康保険（組合けんぽ）
  - 共済組合
  - 未加入（従業員ごと国民健康保険に加入してもらっている）
- 問6 貴社では、昨年度、健康診断を実施していますか。該当するものに1つ✓を付けてください。
- |   |                                      |
|---|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 社内で実施している        | <input type="checkbox"/> 社外で実施している   |
| <input type="checkbox"/> 勤務に応じて社内・社外に分かれる | <input type="checkbox"/> 昨年度は実施しなかった |
- 問7 貴社の健康診断では、歯科に関する健診（歯科健診）を実施していますか。該当するものに1つ✓を付けてください。
- |                                 |                                  |
|---------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 実施している | <input type="checkbox"/> 実施していない |
|---------------------------------|----------------------------------|

- 問8 貴社の健康診断や歯科健診は、勤務時間中に受診できますか。該当するものに1つ✓を付けてください。
- 全従業員一斉に勤務時間中に受診させている
- 一斉に受診できないので、調整して個別に勤務時間中に受診させている
- 各自で有給休暇を取得して、都合の良い時間で受診させている
- その他（ ）
- 問9 貴社では、従業員の歯の病気について把握していますか。該当するものに1つ✓を付けてください。
- 歯科健診を受診させて把握している
- 健康診断時に自己申告させて把握している
- 歯科医院への通院が分かった時には聞き取りをしている
- 歯の状況は把握していない
- 問10 静岡市では、40歳以上の市民を対象に低額で受けられる「歯周病検診」を行っています。事業所として、従業員に対して、この歯周病検診を告知・周知したことはありますか。該当するものに1つ✓を付けてください。
- ある  ない
- 問11 貴社では、決まった時間に全従業員が体操（ラジオ体操、表情を豊かにするための体操や発声練習など）をしていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。
- 毎日  週に3～4回  週に1～2回
- 月に1回  していない
- 問12 貴社では、上司や同僚による健康状態のチェック（問診や測定器具を使ったチェックなど）をしていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。
- 毎日  週に3～4回  週に1～2回
- 月に1回  していない
- 問13 貴社では、食事の後に歯みがきしている人は従業員の何割くらいですか。該当するものに1つ✓を付けてください。
- 100%  80～99%  60～79%
- 40～59%  20～39%  19%以下

問14 貴社では、従業員に昼食後の歯みがきを推奨（社内報や朝礼時の定期的な周知、手洗い場への貼紙など）をしていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。

- 推奨している  推奨していない

問15 貴社では、従業員に正しい歯みがき方法を、どのくらいの頻度で指導していますか。該当するものに1つ✓を付けてください。

- 1年に複数回以上  1年に1回  
 2～3年に1回  4年以上実施していない

問16 貴社には、従業員が歯みがきする場所が確保できていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。

- 場所も蛇口数も確保できている  
 場所は確保できているが、蛇口数が足りない  
 （他社と共用のため）場所は確保できていない  
 その他（ ）

問17 貴社の経営理念や経営方針に従業員の健康に関する記述はありますか。該当するものに1つ✓を付けてください。

- ある  ない

問18 貴社では従業員の健康のために、どんな取り組みをしていますか。該当するものに全部✓を付けてください。

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 社内に健康関連のポスターを掲示 | <input type="checkbox"/> 従業員に健康関連のチラシを配布   |
| <input type="checkbox"/> 社内に体重計を設置       | <input type="checkbox"/> 社内に血圧計を設置         |
| <input type="checkbox"/> 従業員に歩数計を配布（貸与）  | <input type="checkbox"/> 社内に運動場や体育館などを確保   |
| <input type="checkbox"/> 社内で運動会を実施       | <input type="checkbox"/> 社内でハイキング行事を実施     |
| <input type="checkbox"/> 社内でゴルフ大会を実施     | <input type="checkbox"/> 社内でボウリング大会を実施     |
| <input type="checkbox"/> 社内でスポーツイベントを実施  | <input type="checkbox"/> 社内で運動系サークル活動を許可   |
| <input type="checkbox"/> スポーツクラブの利用が無料   | <input type="checkbox"/> スポーツクラブの利用料を補助    |
| <input type="checkbox"/> 社員食堂で健康メニューの提供  | <input type="checkbox"/> 提携飲食店で健康メニューが利用可能 |
| <input type="checkbox"/> 体重計等の購入費用を補助    | <input type="checkbox"/> 禁煙器具の購入費用の補助      |
| <input type="checkbox"/> 通勤用自転車の購入費用を補助  | <input type="checkbox"/> 勤務時間内で体操を実施       |
| <input type="checkbox"/> その他（ ）          |  |

問19 貴社では、経済産業省が推奨している「健康経営<sup>※</sup>」に取り組んでいますか。該当するものに1つ✓を付けてください。

- 考え方を理解して、取り組んでいる
- 考え方を理解しているが、取り組んでいない
- 考え方を知らなかった

※…「健康経営」とは、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践すること。企業理念に基づき、従業員等への健康投資を行うことで、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化をもたらし、結果的に業績向上や株価向上につながると期待されている。

問20 歯科医師や歯科衛生士が事業所に出向き、歯と口に関する相談や健康づくりについて周知する講座があるとしたら利用したいと思いませんか。該当するものに全部✓を付けてください。

- 無料なら利用したい
- 業務との調整がつけば利用したい
- 実施する場所が確保できれば利用したい
- 利用したいと思わない

問21 本市が取り組む、歯や口の健康づくりについて、普段、感じられていることがあれば、ご自由にお書きください。

例、歯や口の健康づくりに関する会社への支援メニューを知りたい。

**【 質問は、すべて終了です 】**

お忙しいところ、アンケートのご協力、ありがとうございました。  
調査票を同封の封筒に入れ、8月19日(月)までに切手を貼らずにご投函ください。



静岡市 歯と口に関するアンケート調査 報告書  
(令和2年3月 発行)

発 行 静岡市 保健福祉長寿局 健康福祉部  
健康づくり推進課 (口腔保健支援センター)  
〒420 - 0846 静岡市葵区城東町24番1号  
電話 054-249-3175 FAX 209-1063

編 集 一般社団法人 静岡経済研究所  
〒420 - 0853 静岡市葵区追手町1番13号  
電話 054-250-8750